

10年間の歩み

(平成25年度～令和4年度)

定期総会

定期総会

平成 25 年度

平成25年

第60回定期総会資料

日 時 平成25年6月6日(木) 午後3時30分より
会 場 東京国際フォーラム ホールD-5
総会次第

開会の辞

会長挨拶

表彰

総会議事運営報告

議長選出

議事録署名人選出、書記及び採決係任命

議 事

【第一号議案】 平成24年度事業経過報告

【第二号議案】 平成24年度決算報告

【第三号議案】 平成24年度監査報告

【第四号議案】 平成25年度事業計画(案)

【第五号議案】 平成25年度予算(案)

【第六号議案】 その他 本会名称変更案

諸規定変更報告

【第七号議案】 平成25・26年度役員改選について

議長解任

閉会の辞

日本赤十字放射線技師会

表 彰

会員各位

日本赤十字放射線技師会
会 長 清水 文孝
表彰委員長 戸口 豊宏

日本赤十字放射線技師会表彰規定により、顕著な功績があったので表彰します。

1. 功労賞（第2条の1）

| | | |
|------------|--------|-----------|
| 盛岡赤十字病院 | 岩井 貢 | |
| 仙台赤十字病院 | 高橋 和義 | |
| 水戸赤十字病院 | 海老沢 平司 | |
| 足利赤十字病院 | 茂木 常男 | |
| 前橋赤十字病院 | 鈴木 繁 | |
| 小川赤十字病院 | 小川 清 | |
| 長岡赤十字病院 | 捧 和雄 | |
| 長野赤十字病院 | 八町 淳 | |
| 安曇野赤十字病院 | 関 利明 | |
| 浜松赤十字病院 | 北野 光浩 | |
| 舞鶴赤十字病院 | 谷口 憲二 | |
| 京都第一赤十字病院 | 河原 貴史 | |
| 京都第二赤十字病院 | 辻 秀憲 | |
| 姫路赤十字病院 | 上水 徹也 | |
| 広島赤十字・原爆病院 | 田中丸 芳樹 | |
| 松山赤十字病院 | 西田 史生 | |
| 長崎原爆諫早病院 | 小楠 弘幸 | (敬称略 順不同) |

2. 奨励賞（第2条の2）

| | | |
|---------|--------|-----------|
| 個人の一部 | | |
| 深谷赤十字病院 | 清水 邦昭 | |
| 伊勢赤十字病院 | 大山 泰 | |
| 高槻赤十字病院 | 渡邊 良彦 | |
| 庄原赤十字病院 | 宇山 浩文 | |
| 松山赤十字病院 | 高橋 奈津樹 | (敬称略 順不同) |
| 施設の一部 | | |
| 那須赤十字病院 | | |

3. 感謝状（第2条の3）

石巻赤十字病院
福島赤十字病院
前橋赤十字病院
さいたま赤十字病院
飯山赤十字病院
名古屋第二赤十字病院
伊勢赤十字病院
京都第二赤十字病院
神戸赤十字病院
広島赤十字・原爆病院
高松赤十字病院
唐津赤十字病院
日本赤十字社長崎原爆病院

(順不同)

4. 60周年記念事業 感謝状

東洋メディック株式会社
EIZO 株式会社
GE ヘルスケアジャパン株式会社
エーザイ株式会社
キャノンライフケアソリューションズ株式会社
ケアストリームヘルス株式会社
コヴィディエングループジャパン
コドニックス・リミテッド株式会社
コニカミノルタヘルスケア株式会社
シーメンス・ジャパン株式会社
テルモ株式会社
ユーロメディテック株式会社
株式会社AZE
株式会社栗原医療機器店
株式会社千代田テクノル
株式会社島津製作所
株式会社日立メディコ
丸文通商株式会社
第一三共株式会社
中外テクノス株式会社
朝日レントゲン工業株式会社
東芝メディカルシステムズ株式会社
日本メジフィジックス株式会社

日本メドラッド株式会社
日本電子硝子株式会社
富士フィルムR I ファーマ株式会社
富士フィルムメディカル株式会社
富士製薬工業
石黒メディカルシステム株式会社
有限会社ムツダ商会 (順不同)

【第一号議案】 平成 24 年度事業経過報告

1. 総括

震災 2 年。爪痕は、未だ復旧、復興に障害として残り、遅々として進まぬ状況を呈しているようである。そして、年末の選挙にて政権が替わり、経済政策など様々な手法を繰り出そうとしているが、その歩みは本当に災害地に向いているか、一抹の不安を覚える。また、原発も終息の域を出ていないことは、抑え込めないもどかしさだけが影を落としているかもしれない。避難されている大勢の方々のお気持ちを思うと、一刻も早い終息宣言が待たれる。

本会の活動は、余波の影響も少なからず残っているが、役員各位の努力の下速やかに運営されたと思っている。そして、この 2 年間は、「継続と躍進」、「連携と連動」をテーマに会の運営を実施してきた。そのテーマを実践する根幹につながる当方の持論として、「ブロックの活性化」、「分科会の活性化」があった。それらは、本会の運営や本会の活性につながるものとの考えの中、役員諸氏の努力をいただいた。そのような中、全国 7 ブロックでの研修会が年度内に全てにおいて開催されたことは、これまでなかったことであり、大いに喜ばしいことであった。ブロック理事、開催施設の皆様に感謝申し上げる。そして、施設の枠にとどまらない会員間の交流ができたことは、本社の方針にもある「もっとクロス」ではなかったかと思っている。また、今年度は、北海道ブロック以外の 6 ブロックにて、お話をする機会を与えていただけたことは、会の方針をお話できる場でもあり、学術総会でのアンケートの報告もお話しできたことは大いに有意義であったと思う。更に、会員諸氏のご意見を伺える機会でもあり、今後もブロック研修会への招聘をお願いしたい。

分科会活動は、如何だろうと自問する。結論としては、未成熟な状況を打破できていないとの結論に達する。その課題は山積し見えてきていることを踏まえ、それには役員の頑張りが必要であり、分科会世話人の方々の後押しができるよう、次年度以降の対応をしっかりと行かなければならないと思っている。

本会の最大の事業である学術総会では、多くの会員の参加のもと盛大に開催できたこと、医療安全知恵の輪への投稿では滞ることなく執筆をいただけたこと、すべてにおいて会員諸氏に感謝申し上げたい。しかし、ユビキタス技師会の本幹であるホームページの運用は、止まってしまっている感があり、今後の最大の課題となるものと思っている。

いずれにしても、揺れるから始まった 1 年であり、そして躍ると題したこの一年は、なかなかスムーズに躍ることができなかつたと思うが、牛歩のごとくではあったが進むことができたと思っている。しかし、まだまだ未熟な運営であったことは否めず、一つの結果と捉え、役員各位の、会員各位へ感謝を述べたい。

最後に、ブロック研修会の中でお話しさせていただいていることであるが、「施設の一員ではなく赤十字の御旗に集いし約60,000人の職員の一人であること」を会員の皆様に周知していただき、平成24年度の総括とする。

2. 総務部活動報告

(1) 第59回日本赤十字放射線技師定期総会の開催

第59回日本赤十字放射線技師定期総会を平成24年5月31日(木)東京国際フォーラムD-5にて開催した。清水会長挨拶の後、先般亡くなられた当技師会の名誉会員である小成田様、瀬山様、また東日本大震災で亡くなられた多くの方々のご冥福を祈って、全員で黙とうが捧げられ、その後表彰へと続いた。議事に先立ち定期総会は、会員参加者118名、総会委任状1087名、総計1205名を得ており、成立することを確認した。議長には原町赤十字病院 萩原健氏、熊本健康管理センター 長野勝廣氏の2名が選出され、平成23年度事業経過報告、決算報告、監査報告、平成24年度事業計画案、予算案について全てが審議され承認決議した。

(2) 理事会、定期総会の設定及び議事録の作成

常任理事会を3回、全国理事会を1回、下記のとおり開催し検討事項及び提案事項について審議決定し、それらについて全て議事録を作成した。

第1回常任理事会

平成24年7月13日(金) 13:00~17:00 日本赤十字社本社 203号会議室

第2回常任理事会

平成24年10月26日(金) 13:00~17:00 神戸赤十字病院 研修室

第3回常任理事会

平成25年2月8日(金) 13:00~17:00 日本赤十字社本社 202号会議室

平成24年度全国理事会

平成25年4月19日(金) 13:00~17:00 浜松町トラスト会議室

(3) 医療安全対策部会

今年度より発足した、本社医療事業部医療安全課管轄の医療安全対策部会に本会の久保田副会長が参加し、医療安全推進について協議また検討を行った。

第1回部会

平成24年9月3日(月) 14:00~16:00 日赤本社304会議室

第2回部会

平成25年1月25日(金) 13:30~15:30 日赤本社202会議室

3. 会員動向報告

会員数1352名 (平成25年3月31日現在)

平成24年度退会者数46名

平成24年度入会者数87名

4. 福利厚生報告

慶弔規定に基づき、祝電 2 通、弔電 2 通を送付した。

久保田副会長が八町氏（長野赤十字病院技師長）の葬儀に参列、弔問した。

5. 学術部活動報告

(1) 平成 24 年日本赤十字放射線技師学術総会開催

平成 24 年 5 月 31 日（木）、6 月 1 日（金）の 2 日間、東京国際フォーラム ホール D-5 において、会員 118 名の出席の元、平成 24 年日本赤十字放射線技師学術総会を開催した。以下に内容を示す。
本社講演「赤十字病院の現状と課題」

医療事業部 次長 飯嶋 喜史 様

特別講演「東日本大震災における石巻赤十字病院の対応」

石巻赤十字病院 第 1 放射線技術課長 及川 順一 様

教育講演「チーム医療におけるノンテクニカルスキルの重要性」

大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 部長・病院教授

中島 和江 様

会員研究発表

第一部（4 演題）座長 宇田 暢樹 氏（小川）

第二部（3 演題）座長 加藤 秀之 氏（松江）

第三部（4 演題）座長 細川 博明 氏（松山）

* 会員研究発表 最優秀賞・優秀賞受賞者

最優秀発表賞：松山赤十字病院 高橋 奈津樹様

優秀発表賞：深谷赤十字病院 富田 欣治様、武蔵野赤十字病院 藤岡 由紀様

分科会報告

災害医療：駒井 一洋 氏（名古屋第二）、坂井 征一郎氏（唐津）、森 幹司 氏（長崎原爆）

CT：河本 勲則 氏（京都第二）

医療情報：加藤 秀之 氏（松江）

(2) ホームページ活動

学術関連の資料・報告をホームページに掲載した。内容は以下の通り。

2012 年 04 月 14 日 【CT 分科会】逐次近似法を使いこなそう

2012 年 06 月 12 日 【学術部】平成 24 年度日本赤十字放射線技師学術総会
イブニングセミナー スライド掲載

2012 年 06 月 17 日 【学術部】平成 24 年度日本赤十字放射線技師学術総会
ランチョンセミナー①のスライド掲載

2012 年 08 月 03 日 【掲示板】台風 4 号による電源喪失

2012 年 09 月 21 日 【学術・総会】平成 24 年度日本赤十字放射線技師学術総会 研究発表 座長集
約および後抄録、特別講演「東日本大震災における石巻赤十字病院の対応」の講演資料掲載

2012 年 10 月 31 日 【放射線治療分科会】標準計測法 12

2012 年 11 月 06 日 【学術・総会】第 48 回日本赤十字社医学会総会に参加して

2012 年 11 月 19 日 【学術・総会】「医学会総会に参加して」

(3) 分科会報告

【CT分科会】

- ①HPに、“逐次近似法を使いこなそう”を掲載
- ②24年度学術総会にて、分科会活動での発表
- ③ジェネリック造影剤の使用状況の調査を行っている
- ④ワークステーションに関する企画を検討した
- ⑤CT検査被ばく線量を評価するシステム(WAZAARI)を検討し、HPに掲載予定

【MRI分科会】

拡散強調画像に関する研究を推進中

【医療情報分科会】

- ① 24年度学術総会にて、分科会活動での発表
- ② 医療用画像モニターの観察実験による評価を推進中

【乳房画像分科会】

- ① マンモグラフィ認定施設の掲載更新
- ② 各施設の業務状況のアンケートを検討中

【核医学分科会】

具体的な活動はできませんでした

【放射線治療分科会】

“標準測定法01と標準測定法12の違い“のHPへの掲載

6. 災害医療支援部活動報告

東日本大震災被災地への医療機器貸出支援を災害期間終了の平成25年3月末まで継続しました。また、国内外の災害医療及び放射線被ばく医療などの災害医療支援への啓蒙活動を実施しました。詳細は以下の通りです。

(1) 契約条件である『災害期間』の3月末終了に伴い、貸出支援を収束中

- ①超音波装置は、3月上旬貸出先の医療機関が買い上げました。
- ②ポータブル型X線装置+FCRシステムと画像表示装置の1セットについては、これら装置を4月以降も使用しながら、貸出先の仮設診療所が買い上げを検討中です。

(2) 平成24年学術総会において、分科会報告を実施

医療機器貸出支援活動、放射線被ばく医療支援活動および災害医療アンケート報告を分科会活動として、駒井・森・坂井委員が報告しました。

(3) 委員による災害医療支援に係る講演活動

- ① 『3.11 日本の危機に私たちができたこと』 神戸赤十字病院 中田正明
平成 24 年 7 月 7 日 (土) 会場：江南厚生病院 講堂 愛知県厚生連放射線技師会
- ② 『緊急被ばく医療 患者受け入れの実際』 唐津赤十字病院 坂井征一郎
平成 24 年 8 月 25 日 (土) 会場：安曇野赤十字病院 中部ブロック研修会
- ③ 『3.11 日本の危機に私たちができたこと～DMAT における診療放射線技師の役割』
神戸赤十字病院 中田正明
平成 24 年 10 月 20 日 (土) 会場：仙台市産業・情報プラザ 東北ブロック研修会
- ④ 『災害医療における放射線技師の役割』 名古屋第二赤十字病院 駒井一洋
平成 25 年 1 月 26 日 (土) 会場：名古屋大学保健学科 日本放射線技術学会中部部会

7. 文書管理活動報告

- (1) 緊急放射線被ばく対応マニュアルを作成中
上記マニュアルを作成しておりますが、3 月末現在まだ完成していません。
- (2) その他 HP 掲載した記事無し

8. 広報部活動報告

- (1) 日本赤十字放射線技師会 2011 年度電子会誌の発行
2012 年 5 月 1 日にホームページへ掲載した。
- (2) 赤十字社リポジトリへ電子会誌の登録
2012 年 8 月に電子会誌 1 号～3 号を赤十字リポジトリへ登録・掲載した。
- (3) ホームページリニューアルに向け 2012 年 10 月より、「ホームページに関する意識調査アンケート」を、九州ブロックを先駆けとし実施した。その後全国赤十字病院へも実施し、2013 年 1 月をもって終了とした。回答率は 56.8%であった。
- (4) 2012 年度日本赤十字放射線技師会電子会誌を 2013 年 5 月 1 日付で掲載予定。現在編集中である。

9. IT 推進部活動報告

- (1) ホームページ変更
 - ① 定款・規約のアップを行った。
 - ② 各分科会のホームページへの掲載を行った。
 - ③ トップ画面のファビコンの設置を行った。
 - ④ カテゴリーの整理を行った。
 - ⑤ 全国日赤施設の更新作業を行った。
- (2) 新ホームページ更新作業
 - ① 新ホームページ更新のための概要作成を作成した。
 - ② 概要に合わせた、予算の作成を行った。
- (3) レンタルサーバ導入
 - ① 大容量データの理事間での共有化の構築を行った。

②新システムのための、試作ページを構築した。

10. 組織調査部活動報告

- (1) 平成 24 年 4 月に全国赤十字技師長・課長宛に会員台帳の調査を実施し、総会までに今年度の新入会会員（予定者）・退会会員を調査し施設毎会員数の把握をおこなった。
- (2) 平成 24 年日本赤十字放射線技師学術総会に於いて、総会のあり方に関するアンケートを行い、結果を HP に掲載した。
- (3) 新入会予定者の入会促進と退会者の確認作業を行った。
- (4) 技師長・課長 ML（ホットクロス ML）の変更並びに管理を行った。
- (5) 日本赤十字放射線技師会会員（Art ML）の登録作業を行った

11. 表彰部活動報告

- (1) 平成 24 年 11 月 6 日、HP 上で表彰推薦の依頼を掲載した。
- (2) 平成 24 年 11 月 7 日、各ブロック理事に、各ブロックの対象者の方を報告し推薦の取りまとめをお願いした。また、同日、技師長・課長 ML で表彰該当者依頼文書を送信した。
- (3) 平成 24 年度の全国理事会で、功労賞表彰者を決定した。
- (4) 学術部と協議し奨励賞（個人・施設）を決定した。
- (5) 平成 24 年度の全国理事会で、バナー広告 29 社 60 周年記念事業として、感謝状を贈呈することを決定した。

12. ブロック活動報告

【北海道ブロック】

- (1) 会議及び研修会総会
 - ① 平 24 年度全道赤十字施設放射線技師長・課長・職務代行者会議
平成 24 年 5 月 12 日 北海道支部看護大学サテライト室
 - ② 第 22 回全道赤十字放射線技師会研修会及び総会
平成 21 年 4 年 9 月 29～30 日北海道支部会議室
総会にて一部規約改正を行った。
また、会議室を 2 つのセクションに分けて討論を行った。

【東北ブロック】

- (1) 東北ブロック研修会の実施
東北ブロック会員の資質向上のため、平成 24 年 10 月 20 日、仙台市産業プラザにてブロック研修会を開催した。研修内容は以下の通りである。
 - ① 教育講演 1
「 3.11 日本の危機に私達ができた事～DMAT における診療放射線技師の役割～」
 - ② 会長講演

「 もっとクロスしませんか 日本赤十字放射線技師会 」

③ 教育講演 2

「 FPD 装置の現状と将来 」

【東部ブロック】

日本赤十字放射線技師会 第 25 回 東部ブロック研修会

期日：平成 24 年 11 月 23 日（金）・24 日（土）

当番病院：深谷赤十字病院

会場：キングアンバサダーホテル熊谷

参加者：17 施設 70 名

特別講演「国際女医会長の旅した世界と国連総会の経験」では埼玉医科大学名誉教授・国際女医会前会長の平敷先生の講演で、百カ国以上を旅し、任務をこなしてこられたバイタリティには感服した。また、講演開始、終了後の挨拶一つとっても聴く者に対する礼儀・配慮が素晴らしく人間的にも非常に尊敬できる先生の講演であった。また、研修会二日目の「荻野吟子 波乱の生涯」妻沼郷土史研究会理事 鈴木先生の講演とも関連があり、企画にも配慮が見られた。

パネルディスカッション I（業務改善）

パネルディスカッション II（放射線被ばくに関する取り組み）

テクニカルディスカッション（ワークステーションの活用法）

が行われ、いずれかのディスカッションにすべての東部ブロック施設が参加して行われた。

参加型研修会としてとても参加施設の親睦もはかれ画期的な企画である。

一般演題は 5 演題であった

【中部ブロック】

(1) 技師長・課長会議の開催

平成 24 年 8 月 25 日（土）午前 10 時より中部ブロック技師長・課長会議を開催しました。中部ブロック 19 病院のうち、13 病院からの出席をいただき、今後の中部ブロックの活動について話し合いました。また、平成 25 年度のブロック理事の決定も行いました。

(2) 平成 24 年度中部ブロック業務研修会を開催

平成 24 年 8 月 25 日（土）13 時から安曇野赤十字病院（長野県）で第三回目となる中部ブロック業務研修会を開催しました。

当日の業務研修会は冒頭に清水文孝会長の講演があり、最初から大変盛り上がりました。また、緊急被ばく医療のテーマでは、唐津赤十字病院の坂井征一郎様が遠い所から講演に来ていただき、中部ブロックの会員は大変驚いていました。今回は中部ブロックから 13 施設 32 名の参加がありました。

年々参加施設も参加者も増加しておりますので、業務研修会も軌道に乗りつつあると思われま

【近畿ブロック】

(1) ブロック研修会の実施

2 月 23・24 日、大津赤十字病院にてブロック研修会を開催した。研修内容は以下の通りである。

- ① 特別講演 1『食のバランス』ウヰリス記念病院 事務長 澤谷久枝先生
- ② 特別講演 2『心のバランス』大津赤十字病院 心理判定員 瀬崎千津江先生
- ③ 特別講演 3『ワークライフバランス』大津赤十字病院 放射線科部 沢尾誠先生
- ④ 会長講演『もっとクロス！ 一步前進』日本赤十字放射線技師会会長 清水文孝先生
- ⑤ 教育講演『トモセラピーについて』大津赤十字病院 放射線部長 芥田敬三先生
- ⑥ 会員研究発表 10 演題

(2) 近畿ブロック施設代表者会議の実施

近畿ブロック理事会及び施設代表者会議を以下の通り開催した。

- ① 第 1 回 平成 24 年 11 月 24 日(土) 京都第二赤十字病院 C 棟 6 階ホール
- ② 第 2 回 平成 25 年 2 月 24 日(日) 大津赤十字病院 会議室

【中国・四国ブロック】

(1) 中四国ブロック研修会の実施

中四国ブロック会員の資質向上のため、3 月 16 日、岡山赤十字病院 研修センターにてブロック研修会を開催した。研修内容は以下の通りである。

- ① 福島第一原発災害医療に携わって
津山中央病院 山本 一雄
- ② 福島の現状と除染への取り組み
千代田テクノル 山崎 和也
- ③ サーベイメーターの扱い方 (実習)
汚染の測定手順 千代田テクノル 山崎 和也
松山赤十字病院 高本 研二

【九州ブロック】

(1) 九州ブロック研修会の実施

九州ブロック会員の資質向上のため、9 月 15 日 (土) 16 (日)、日本赤十字社九州ブロック研修センター 『アソシエート』にてブロック研修会を開催した。10 施設から 48 名の参加で、以下のプログラムの内容で研鑽しました。

開会挨拶 担当施設 熊本健康管理センター 長野 勝廣

会長挨拶 清水 文孝 会長

- ① 特別講演 1「聴くことの力、話すことの力」京都大学非常勤講師 佐藤泰子先生
- ② 特別講演 2「パーソナルカラーについて」カラーコーディネータ三村 弘美先生
- ③ 会員研究発表
「冠動脈 CT におけるコアベータの使用経験」唐津赤十字病院 立川 圭彦
「64 列 CT による大動脈弁口面積測定の検討」大分赤十字病院 中島 浩二
「PET-CT 検診の現況と成績」熊本健康管理センター 中島 佳子
「PET-CT 検診が有効だった症例」熊本健康管理センター 荒木 洋明
- ④ 施設紹介 熊本赤十字病院 総合救命救急センター・こども医療センター

熊本赤十字病院 山室 勇太

⑤ 教育講演 「医療安全と機器管理について」

GE ヘルスケアジャパン 佐藤 哲也 先生

総評 久保田 利夫 副会長

【第二号議案】 平成24年度決算報告

平成25年3月31日現在 金額(円)

| 収入の部 | | | | |
|--------|------------|------------|-----------|--------------|
| 科目 | 24年度予算額 | 24年度決算額 | 増減 | 備考 |
| 会費 | 3,960,000 | 4,083,000 | 123,000 | 3,000×1,361名 |
| 入会金 | 30,000 | 88,000 | 58,000 | 1,000×88名 |
| HP広告収入 | 1,400,000 | 1,580,000 | 180,000 | 広告協賛32社 |
| 学術研修会費 | 880,000 | 952,000 | 72,000 | 8,000×119名 |
| セミナー収入 | 0 | 700,000 | 700,000 | 3社 |
| 雑収入 | 2,000 | 872 | △1,128 | 預金利息 |
| 前年度繰越金 | 4,339,712 | 4,339,712 | 0 | |
| 合計 | 10,611,712 | 11,743,584 | 1,131,872 | |

| 支出の部 | | | | |
|----------|------------|-----------|------------|---------------------|
| 科目 | 24年度予算額 | 24年度決算額 | 増減 | 備考 |
| 総会費 | 100,000 | 86,400 | △13,600 | 総会運営費 |
| 会議費 | 2,000,000 | 1,766,880 | △233,120 | 全国理事会、常任理事会費 |
| 役員活動費 | 112,000 | 108,500 | △3,500 | 3,500×31名 |
| ブロック活動費 | 1,050,000 | 898,955 | △151,045 | 7ブロック |
| 表彰費 | 250,000 | 172,618 | △77,382 | 賞状副賞・活動費 |
| 学術部費 | 300,000 | 82,420 | △217,580 | 活動費 |
| 財務部費 | 50,000 | 43,645 | △6,355 | 活動費 |
| 組織調査部費 | 15,000 | 5,060 | △9,940 | 活動費 |
| 広報部費 | 200,000 | 42,330 | △157,670 | 活動費 |
| IT推進部費 | 250,000 | 19,111 | △230,889 | 活動費 |
| 災害医療支援部費 | 200,000 | 160,683 | △39,317 | 活動費 |
| 事務局費 | 300,000 | 123,164 | △176,836 | 活動費・慶弔費 |
| 学術研修会費 | 880,000 | 1,000,310 | 120,310 | 会場費570,000は23年度決算済み |
| サーバ管理費 | 252,000 | 252,000 | 0 | セキュリティ管理費 |
| HP管理運営費 | 400,000 | 225,750 | △174,250 | 定期刊行物更新、パナー追加費 |
| 基金積立費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 積立て基金へ繰り出し |
| 予備費 | 4,152,712 | 0 | △4,152,712 | |
| 合計 | 10,611,712 | 5,087,826 | △5,523,886 | |

(収入11,743,584－支出5,087,826＝6,655,758残金) 残金 6,655,758 円は次年度に繰越し

日本赤十字放射線技師会 会長 清水 文孝(印)
財務部 前川 栄寿(印)

平成24年度日本赤十字放射線技師会特別積立基金決算報告書

平成25年3月31日現在

| 科目 | 金額 | 備考 |
|---------|---------|------------|
| 前年度繰越金 | 250,086 | |
| 定期預金利息 | 63 | 平成24年度分 |
| 24年度積立金 | 100,000 | 一般会計より繰り入れ |
| 合計 | 350,149 | |

上記の通り報告いたします 日本赤十字放射線技師会 会長 清水 文孝(印)

【第三号議案】 平成 24 年度監査報告

監査報告

日本赤十字放射線技師会会則第 25 条に基づき、平成 25 年 4 月 19 日会長、副会長、財務担当等役員立会いの下、平成 24 年度の監査を実施しました。

1. 総括

役員幹部・理事各位に於いては年 4 回の理事会以外にも理事会メールにて多種多様な事案をやり取りし、その回数は 900 通を超え、本会の活動・運営に多大な寄与をしていただいたことに、会員と会の運営を見守る監事として感謝申し上げます。

さらに日本赤十字放射線技師会が、平成 24 年 3 月 30 日付けで「日本赤十字社医療職員によって構成される団体及び学会等の登録」に承認されました。本会の活動・運営が本社医療事業部に認められたことは、ひとえに執行部の努力と特に事務局の浅妻理事が多忙の中、迅速に必要な書類を作成・提出していただいたことによるものであり、また、日本赤十字社医学図書館ホームページ内のインターネット上から利用できる新規機能（赤十字リポジトリ）へ本会の会誌を掲載登録するにあたり、過去の会誌も含め校正等、ご尽力いただいた広報部の荒井理事にも重ねてお礼申し上げます。

悲しい出来事は、放射線医学及び日本赤十字放射線技師会、特に CT 分科会の基礎を立ち上げていただくなど、多大なる功績を残された長野赤十字病院の八町淳さんが不慮の事故により、他界なされました。謹んでお悔やみ申し上げますと共に、心よりご冥福をお祈りいたします。

2. 事業

本会の事業は、日常の職務を全うしながらも執行部の努力にて平成 24 年度の事業計画に基づき、遂行されたものと考えます。総括で記載した事柄にとどまらず、ホームページの更新については、HP 担当の竹安理事を中心に執行部一丸となって「閲覧頻度」「活用頻度」「使い勝手の向上」を目指し、協議検討を行っていることは、「ホームページに関する意識調査」の結果からみても会員の期待に応える事業として、邁進していただきたく思います。

経済状況の厳しさは医療情勢にも影響が出ており、バナー広告協賛を辞退されたメーカーがあったことは残念であります。新たに賛同されたメーカーもあったことから、ホームページの更新により、会員が望むコンテンツの提供をさらに強化し、各メーカーの賛同を得られることと協賛勧誘は執行部役員のみならず、技師長・課長からも情報をいただきたく、この場を借りてご協力をお願いいたします。

次年度は、新規理事も選任されることから課題解決のアプローチも増え、更なる活動の展開を望みます。

3. 会計


会長、副会長、財務担当等関係役員立会いの下、金銭出納簿、各種請求書及び領収書、預金通帳等を照らし合わせた結果、出納簿等関係書類が適正に処理されている事を確認いたしました。

平成 25 年 4 月 23 日

日本赤十字放射線技師会 監事

山縣 徳治 

日本赤十字放射線技師会 監事

中里 明 

【第四号議案】 平成 25 年度事業計画案

1. 総括

政局が替わり、どのような発展をするか不明な状況であるが、経済的には一抹の光が照らしているように見える。復旧も復興も一段と加速し、被災者へ手当が順当に進むことを期待したい。そして、本会においては、会員諸氏のご意見を糧に、平成 25 年度の計画を進めていくことを会員諸氏にお約束したい。

本会は、これまでどおり開催する学術総会、ブロック研修会、分科会活動を本幹として見据え、運営を担って行くこととする。また、ホームページにおいては、会員諸氏に還元できるよう、利便性の高いものに改訂してくることが必要不可欠である。そこで、本年度は、昨年度まで議論してきたホームページの改訂に着手し、多くの会員にアクセスいただけるようなホームページとしていきたい。更に、93 施設のスケールメリットをどのように生かしていくかを検討課題として、技師長・課長メーリングリスト、会員メーリングリストを有用に活用し、会員相互の情報網の構築を実施して行く。

本会の会員数は、飛躍的な伸びを示している中、会の運営も会員諸氏の要望に即した対応をしていかなければならず、情報網を駆使し、情報の共有、情報の配信を心掛けていくことをお約束したい。

本会の活動は、我々を支援していただいている本社医療事業部、物心両面にて支援していただいている各メーカー、それらを裏切らないひとつの手段であると考え。更に、役員が活発に動き、考え、会員諸氏にフィードバックできる活動、そして会員が事業に積極的に参加できる環境を整え横の繋がりを強くする、そんな会の運営を目指すことを役員一同にてお約束し、平成 25 年度の事業計画案の総括とする。

2. 総務部活動計画案

(1) 平成 25 年日本放射線技師学術総会および第 60 回定期総会の開催

平成 25 年日本放射線技師学術総会を平成 25 年 6 月 6 日（木）、6 月 7 日（金）に、第 60 回定期総会を平成 25 年 6 月 6 日（木）に東京国際フォーラム D-5 で開催予定である。

(2) 平成 25 年度の日本赤十字放射線技師常任理事会および全国理事会

平成 25 年度の日本赤十字放射線技師常任理事会 3 回および全国理事会 1 回を開催し、検案事項、提案事項について審議し、それらの内容について議事録を作成する。

第 1 回常任理事会 平成 25 年 7 月 5 日（金）／日本赤十字本社 203 小会議室

第 2 回常任理事会 平成 25 年 10 月中旬開催予定 /会場未定

第 3 回常任理事会 平成 26 年 2 月中旬開催予定 /会場未定

平成 25 年度全国理事会 平成 26 年 4 月中旬開催予定 /会場未定

(3) 医療安全対策部会の活動報告

日本赤十字本社にて開催される、医療安全対策部会の活動を、HP を通じて継続的に報告していく。

3. 学術部活動計画案

(1) 日本赤十字放射線技師学術総会の開催

平成 25 年 6 月 6・7 日の 2 日間東京国際フォーラム において開催予定。内容は、教育講演、日本赤十字放射線技師会 60 周年記念講演、分科会シンポジウム、分科会講演、会員研究発表等を行う予定。

(2) 分科会活動

会員の皆様にホームページ上で有用な情報提供を行うことを主たる活動とする。また、学術総会においてシンポジウム等を行う。

【CT 分科会】 CT 装置の特徴や新しい検査技術を取り上げその内容について紹介、解説を HP 上でまとめて掲載しようと言うことを現在委員間で検討中です。

河本 勲則 (京都第二)、加賀 久喜 (大阪)、細川 博明 (松山)、大竹 覚 (成田)

【MRI 分科会】 拡散強調画像に関する研究を HP に掲載する予定

宇田 暢樹 (小川)、佐藤 統幸 (那須)、浅見 肇 (深谷)

【乳房画像分科会】 各施設の業務状況のアンケートを検討

尾形 智幸 (さいたま)、西関 剛 (長浜)、梶迫 絵美 (京都第二)、出井 愛子 (大森)

【医療情報分科会】 ①システムマップの改訂の検討

②医療用画像モニターの観察実験による評価の検討

西村 英明 (福井)、加藤 秀之 (松江)、西小野 昭人 (熊本)

【核医学分科会】

星野 洋満 (前橋)、長瀬 光臣 (足利)、小池 克己 (さいたま)

【放射線治療分科会】 治療分科会としての会議・講習会をおこないたいと考えている。

小山 登美夫 (長野)、上田 真吾 (松山)、簾谷 和男 (足利)

4. 災害医療支援部活動計画案

(1) 貸出支援の円満な収束

医療機器貸出終了にあたり、貸出先に大きな負担にならないよう尽力します。

(2) 災害医療支援啓蒙活動の継続

ブロック研修会等を通じて、啓蒙活動を継続します。

(3) 災害医療支援体制の基礎づくり

長期的展望に立って以下のことを継続的に行ないます。

- ① 放射線被ばくを含む災害時における診療放射線技師の活動のための教育プログラムを検討し、その研修会の開催を目指します。
- ② 災害時における放射線技術部門へ支援のあり方を検討し、その構築を目指します。

5. 文書管理活動計画案

- (1) 前年度に引き続き緊急放射線被ばく対応マニュアルを作成し、その完成を目指します。
- (2) 改正放射線障害防止法の施行に伴い、予防規程の見直しが必要となっており、予防規程の試案作成を目指します。

6. 広報部活動計画案

- (1) 平成 25 年度電子会誌の作成
- (2) 平成 24 年度電子会誌の赤十字リポジトリ登録
- (3) ホームページの見直し・更新
 - ① 24 年度に実施したアンケート調査を基に、会員の意見を取り入れホームページのリニューアルを行っていききたい。
 - ② ホームページ内容の充実

7. IT 推進部活動計画案

- (1) ホームページ内容の充実
会員の情報共有のため、従来よりホームページの活用を推進してきたが、本年度は以下の事業を進めることにより、さらなる充実を図っていききたいと思います。
 - ① ホームページ上での分科会活動を活性化させる。
 - ② 広報と連携して、レスポンスの良いホームページへの掲載。
 - ③ できる範囲の画面構成の変更。
- (2) ホームページ リニューアルを推進。
 - ① ホームページアンケート（広報が行ったもの）を盛り込んだホームページの作成。
 - ② SNS の導入を含んだホームページの検討を行う。
 - ③ 動的（イベント参加の申し込みなど）な画面構成の検討を行う。

8. 組織調査部活動計画案

- (1) 平成 25 年度も同様に会員台帳の調査を行い、新入会会員・退会会員の施設毎会員数現状把握を行います。
- (2) 技師長・課長 ML（ホットクロス ML）の管理を行います。
- (3) 日本赤十字放射線技師会会員メーリングリストの登録促進とその管理を行います。
以上、会員の皆様のご協力をお願いします。
- (4) より良い学術総会を目指し、総会に関するアンケート調査を行います。

9. 表彰部活動計画案

- (1) 日本赤十字放射線技師会表彰規定に則り本会に功績のあった会員・施設の表彰を各ブロック理事・学術担当理事と連携を取りながら行います。
会員皆様の情報が重要ですので、ご協力をお願いします。

10. ブロック活動計画案

【北海道ブロック】

(1) 会議及び研修会総会

- ① 平成 25 年度全道赤十字施設放射線技師長・課長・職務代行者会議
平成 25 年 5 月 11 日 北海道支部看護大学サテライト室予定
- ② 第 23 回全道赤十字放射線技師会研修会及び総会
気管支模型の制作、肝臓の区域研修予定

【東北ブロック】

(1) 東北ブロック研修会の継続的な実施

平成 24 年度に東北発のブロック研修会を実施することができたため、会員の更なる資質向上と各病院の交流を深めるため、本年度からも引き続き東北ブロック研修会を開催していきたい。

- ① ブロック研修会のたまかな運用方針については、研修会開催時に各施設の代表者が集まり会議を行い、決定する。
- ② 次回開催場所と担当施設においても、上記の会議にて決定する。

(2) 東北ブロック理事・委員等担当施設の決定

現在、東北ブロックにおいて理事・委員の選出決定方法は定まっておらず、ブロック規約なども存在していないため、次回研修会開催時の代表者会議において決定したい。

【東部ブロック】

第 26 回東部ブロック研修会を平成 25 年 11 月 23 日～24 日 中野サンプラザにて開催予定。

(当番病院 武蔵野赤十字病院)

【中部ブロック】

(1) 第 4 回中部ブロック業務研修会 開催予定

平成 25 年度より、一泊研修会を企画しております。

平成 25 年 9 月 7 日（土）～8 日（日）に伊勢赤十字病院が主幹になりまして、第 4 回中部ブロック業務研修会を開催予定です。今回のテーマは「中部ブロックの仲間を知ろう」「診療放射線技師による読影」「救急医療」「地域医療」としています。

【近畿ブロック】

(2) 第 22 回近畿ブロック研修会を開催する。

平成 26 年 2 月に京都第二赤十字病院にて開催予定である。

(3) 近畿ブロック施設代表者会議を開催する。

各施設間で情報交換及び情報共有し、業務内容の資質向上を図る事を目的として年 2 回開催予定である。

【中国・四国ブロック】

(1) ブロック研修会の充実

本年度はブロック研修会を継続し、さらなる充実を図っていきたい。

- ① 中四国ブロック各施設間の情報を共有する。
- ② 中四国ブロックでの技師長、課長会議等の計画。

【九州ブロック】

(1) 平成 25 年度九州ブロック活動 (案)

開催時期 9 月未明

開催場所 日本赤十字社九州ブロック研修センター『アソシエート』

担当施設 今津赤十字病院・嘉麻赤十字病院・鹿児島赤十字病院 合同で開催予定

【第五号議案】平成 25 年度予算 (案)

| 金額(円) | | | | |
|----------------------------------|------------|------------|-----------|---------------|
| 収入の部 | | | | |
| 科目 | 24年度予算額 | 25年度予算案 | 増減 | 備考 |
| 会費 | 3,960,000 | 4,110,000 | 150,000 | 3,000×1,370名 |
| 入会金 | 30,000 | 70,000 | 40,000 | 1,000×70名 |
| HP広告収入 | 1,400,000 | 1,500,000 | 100,000 | バナー広告掲載料 |
| 学術研修会費 | 880,000 | 880,000 | 0 | 8,000×110名 |
| セミナー収入 | 0 | 600,000 | 600,000 | 2社 |
| 雑収入 | 2,000 | 2,000 | 0 | |
| 前年度繰越金 | 4,339,712 | 6,655,758 | 2,316,046 | |
| 合計 | 10,611,712 | 13,817,758 | 3,206,046 | |
| 支出の部 | | | | |
| 科目 | 24年度予算額 | 25年度予算案 | 増減 | 備考 |
| 総会費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 総会運営費 |
| 会議費 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 | 全国理事会,常任理事会 |
| 役員活動費 | 112,000 | 112,000 | 0 | 3,500×32名 |
| ブロック活動費 | 1,050,000 | 1,050,000 | 0 | 150,000×7ブロック |
| 表彰費 | 250,000 | 370,000 | 120,000 | 賞状副賞・活動費 |
| 学術部費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 活動費 |
| 財務部費 | 50,000 | 50,000 | 0 | 活動費 |
| 組織調査部費 | 15,000 | 10,000 | △5,000 | 活動費 |
| 広報部費 | 200,000 | 200,000 | 0 | 活動費 |
| IT 推進部費 | 250,000 | 250,000 | 0 | 活動費 |
| 災害医療支援部費 | 200,000 | 200,000 | 0 | 活動費 |
| 事務局費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 活動費・慶弔費 |
| 学術研修会費 | 880,000 | 880,000 | 0 | |
| サーバー管理費 | 252,000 | 252,000 | 0 | セキュリティ管理費 |
| HP管理運営費 | 400,000 | 400,000 | 0 | 定期刊行物更新、バナー追加 |
| 基金積立費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 予備費 | 4,152,712 | 7,243,758 | 3,091,046 | |
| 合計 | 10,611,712 | 13,817,758 | 3,206,046 | |
| 以上、日本赤十字放射線技師会 平成25年度予算(案)を報告します | | | | |
| 日本赤十字放射線技師会 会長 清水 文孝(印) | | | | |
| 財務部 前川 栄寿(印) | | | | |

【第六号議案】そ の 他

(ア)本会名称変更について

現在、本会の名称は、「日本赤十字放射線技師会」と称しております。今回、この名称を「日本赤十字社 診療放射線技師会」と改定いたしたいと考えます。

その理由として、診療の冠は、我々診療放射線技師の正式の名称であり、法律もこの名称にて立法されております。また、現状の業務の中、各種の機器を扱うことが我々の業務のような感覚になってしまっているようにも見受けられ、診療を忘れてしまっているようにも思えて仕方ありません。「診療」とは、医療に携わることであり、「診療」とは、チーム医療の一員となることであり、「診療」とは、医療安全の推進に寄与すること、と考えます。「診療」の二文字の意味、重みを自覚し、職制の発展につなげていきたいと思えます。

また、災害医療や被ばく医療においても、診療放射線技師であり日本赤十字社の社員として、必要不可欠な業務と捉えており、本会の発展に寄与するものと考えております。

(イ)表彰規定変更報告

【第七号議案】 平成 25・26 年度役員改選について

日本赤十字放射線技師会
選挙管理委員会

日本赤十字放射線技師会平成 25・26 年度役員選挙 審査報告書

開催日時 : 平成 25 年 4 月 7 日 (日) 13 時 20 分～14 時 00 分
開催場所 : 神戸赤十字病院 第一研修室
出席者 : 選挙管理委員 松井久男 (長浜)、佐々考章 (岐阜)、佐々木昌俊 (浜松)
奥出隆夫 (長浜)、平川益三 (京都第一)
事務局 浅妻厚 (神戸)
報告日 : 平成 25 年 4 月 19 日 (木)
報告者 : 選挙管理委員長 松井久男

審査内容 :

1) 立候補者届けの確認

立候補者は下記の 6 名であった。

記

| | | |
|-----|-----------------|-----------------------|
| 会長 | 清水文孝 (深谷赤十字病院) | 立候補 |
| 副会長 | 久保田利夫 (前橋赤十字病院) | 立候補 |
| | 石田智広 (福井赤十字病院) | 立候補 |
| | 戸口豊宏 (大分赤十字病院) | 推薦候補 |
| | | 推薦人 清水文孝 (深谷) |
| 監事 | 山縣徳治 (水戸赤十字病院) | 立候補 |
| | 牧内正夫 (諏訪赤十字病院) | 推薦候補 推薦人 清水文孝 (深谷) |

推薦者届における候補者の同意を確認し、役員選挙規定第 5 章第 12 条の会費完納確認については、事務局にて行い問題なかった。

2) 当選の確認

立候補届及び推薦者届が定数を超えなかった為、役員選挙規定第 4 章第 11 条により、上記の立候補者を当選とする。

以上

定期総会

平成 26 年度

第61回 日本赤十字社診療放射線技師会 定期総会 議事録

1. 日時 : 平成26年5月23日(金) 13:20~14:00
2. 会場 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1 東京国際フォーラム ホールD-5
3. 出席者 : 日本赤十字社診療放射線技師会会員 132名
4. 議事録作成人 総務部常任理事 山本 晃司
5. 総会次第

- ① 開会の辞
- ② 会長挨拶
- ③ 表彰
- ④ 総会議事運営報告
- ⑤ 議長選出
- ⑥ 議事録署名人選出、採決係り任命
- ⑦ 議事

| | |
|-------|---------------|
| 第一号議案 | 平成25年度事業経過報告 |
| 第二号議案 | 平成25年度決算報告 |
| 第三号議案 | 平成25年度監査報告 |
| 第四号議案 | 平成26年度事業計画(案) |
| 第五号議案 | 平成26年度予算(案) |
| 第六号議案 | その他 |

- ⑧ 議長解任
- ⑨ 閉会の辞

総会次第に基づいて、会式の辞、清水会長の挨拶の後、議事審議へと続いた。

○会員表彰に先立ち、清水会長によって本会名誉会員であらせられる益戸達夫様のご紹介がなされた。表彰式は委員長の正者理事により執り行われ、功労賞15名の方々が表彰された。今回は、個人また施設ともに奨励賞の該当者はなかった。

※功労賞15名(順不同・敬称略)

吉田庄左衛門(秋田赤十字病院)、高橋稔(那須赤十字病院)、並木荘一(成田赤十字病院)、水石紀茂(津久井赤十字病院)、村松研二(津久井赤十字病院)、片山典明(金沢赤十字病院)、山口忠夫(高山赤十字病院)、古町彰(高山赤十字病院)、筒井康之(名古屋第一赤十字病院)、内橋宣尚(多可赤十字病院)、山田泰司(神戸赤十字病院)、井澤秀恭(和歌山医療センター)、小林一郎(松江赤十字病院)、古川隆志(広島赤十字・原爆病院)、水谷宏(松山赤十字病院)

○総会議事運営報告(資格審査報告)が事務局の浅妻理事より行われた。

本日の出席者 **132名**、委任状提出者 **1236名**、合計 **1368名**を確認し、会則第20条の規定に基づき本総会は成立しますと報告された。

○議長選出となる。会場より立候補がないため、執行部より2名が推薦された。

議長に、京都第一赤十字病院 平川益三氏、浜松赤十字病院 佐々木昌俊氏。

そして、議長から議事録署名人・採決係りに4名が任命され、会場からの拍手をもって全員が承認された。

議事録署名人に、長浜赤十字病院 松井久男氏、神戸赤十字病院 古東正宣氏。

採決質疑記録係に、前橋赤十字病院 柳澤勝美氏、松江赤十字病院 伊藤健氏。

議長、平川益三氏の進行により議事に入った。(第一号議案から第三号議案)

○第一号議案から第三号議案まで一括して執行部より報告。

報告後、質疑応答に入った。

(質問1：長浜赤十字病院 松井氏)

本会は1400人余りの会員がいる大きな組織だが、こういった位置づけ団体なのか？

(回答：清水会長)

日本赤十字社登録団体であるが、公益法人というような団体ではない。一つの職域団体と考え法人化は考えていない。

(回答を受けて：長浜赤十字病院 松井氏)

日本赤十字社診療放射線技師会が登録団体であるのならば、日赤技師がすべて参加(入会)するのが当然で、その働きかけをして頂きたい。

(回答：組織調査 正者理事)

H25年12月現在、日赤全技師数1468名で本会の会員数は1397名。

(回答：清水会長)

本会の組織率は95%程度であるが、今後も入会について努力して行く

(質問2：長浜赤十字病院 松井氏)

総務部の活動報告の中に、定期総会と理事会の設定及び議事録の作成というのがあるが、会員にとって大事な情報源である、この議事録は公開されているのか？

(回答：清水会長)

議事録についてはホームページに掲載していたとと思っていたが、私の認識不足で役員間だけの閲覧であった。今年度より議事録は全てホームページに掲載する考えである。

(質問3：長浜赤十字病院 松井氏)

財務の平成25年度一般会計決算報告で、学術研修会費収入で学会に126名が参加し100万いくらかのお金が計上されている。そこから学術研修会費として約157万円が使われているが、その内訳の会場費57万円は2日間通しての金額なのか？もしそうならば、この会場費を差し引いた残り100万円はどういった物に使われたのか？

(回答：清水会長)

会場費については2日間で57万円、その他備品類また情報交換会それら総会に掛かる全ての費用を一括計上し、総額157万円の学術研修会費となっている。

(回答を受けての質問：長浜赤十字病院 松井氏)

そうすると情報交換会会場費は別にあるのか？

(回答：清水会長)

会員の皆様に情報交換会会費として 2000 円を頂いているが、学術総会及び情報交換会費用等の全てを含め、支出が 157 万円となっている。これらは、学術研修会費と別途会計ではというご指摘ならば今後改めたい。

(要望：名古屋第二赤十字病院 真野氏)

今回ホームページがリニューアルされるとの事だが、現在、停滞している情報の伝達、発信をお願いしたい。

(回答：清水会長)

情報の発信は勿論だが、それ以外にも 1400 人の会員が情報をやり取りできる SNS、またグループウェアを実装しおり、会員の皆様に新しいホームページを利用して頂くことによって技師会の活性化に繋げて行きたい。

質疑応答後、議長の進行により挙手で採決に入った。

※第一号議案の採決結果(否決 0、保留 2、賛成 130)。第一号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 25、賛成 1343)

※第二号議案の採決結果(否決 0、保留 2、賛成 130)。第二号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 25、賛成 1343)

※第三号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 132)。第三号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1368)

議長を佐々木昌俊氏に交代し議事を進めた。(第四号議案から第六号議案)

○第四号議案から第五号議案まで一括して執行部より報告。

報告後、質疑応答に入った。

(質問 1：大津赤十字病院 津田氏)

平成 25 年度決算報告にはあった学術研修会会場費 57 万円が、今年度は予算計上されていないが、ホームページ運営管理費 (WEB 構築費) で昨年度も余っていたが、今年度も予算案で余分に計上されているのはなぜか？

(回答：財務 前川理事)

先に WEB 構築費に関してお答えしたい。昨年度と今年度をまたいでの事業となるので、最終的に構築全てに必要な費用を今年度も予算として計上している。

今年度、学術会場費 57 万円が計上されていないのは、東京国際フォーラムに支払う会場予約金が、開催の当該年度 4 月以降 (来年は H27.4 月以降) の支払いでよくなったからである。

(要望：長浜赤十字病院 松井氏)

ブロック活動費が 1 ブロック 15 万円となっているが、地区を活性化させる為に値上げをお願いしたい。

(回答：清水会長)

昨年度から今年度に掛けては、ホームページ更新による分割払いもあり、ブロック活動費の値上げは来年度を考えている。

質疑応答後、議長の進行により挙手で採決に入った。

※第四号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 132)。第四号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1368)

※第五号議案の採決結果(否決 0、保留 1、賛成 131)。第五号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 1、賛成 1367)

○第 6 号議案について戸口副会長より報告

報告後、質疑応答に入った。

(会場から質問なし)

※第六号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 132)。第六号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1368)

議長から第六号議案について「日本赤十字社診療放射線技師会会則および基金運用規約、会費納入規約、役員選挙規約について只今をもつての改正となりました。なお、表彰規程、旅費規程、慶弔規程については全国理事会での承認改正となっておりますので、全国理事会開催日であった平成 26 年 4 月 4 日付で改正となりました。」との発言があった。

最後に議長の平川氏から、定期総会において質問審議が十分尽くせるように、開催時間及び時間帯を考慮するようにと執行部に対して意見がなされた。

これに対し清水会長は、要望を踏まえ対処するとの考えを述べた。

以上にて、議事を全て終了し議長は解任となり総会は終了となった。

以上

議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、議事録署名人、総会議長は次のとおり署名押印する。

平成 26 年 9 月 27 日

議事録署名人

古東 正宣 印

松井 久男 印

総会議長

平川 益三 印

定期総会

平成 27 年度

第62回 日本赤十字社診療放射線技師会定期総会 議事録

1. 日 時：平成27年6月12日（金）15：45～17：15
2. 会 場：〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1 東京国際フォーラムホールD-5
3. 出席者：日本赤十字社診療放射線技師会会員 135名
4. 議事録作成人：総務部常任理事 山本晃司
5. 総会次第
 - ① 開会の辞
 - ② 会長挨拶
 - ③ 表彰
 - ④ 総会議事運営報告
 - ⑤ 議長選出
 - ⑥ 議事録署名人選出、採決係り任命
 - ⑦ 議事

| | |
|-------|-------------------|
| 第一号議案 | 平成26年度事業経過報告 |
| 第二号議案 | 平成26年度決算報告 |
| 第三号議案 | 平成26年度監査報告 |
| 第四号議案 | 平成27年度事業計画（案） |
| 第五号議案 | 平成27年度予算（案） |
| 第六号議案 | 平成27・28年度役員改選について |
 - ⑧ 議長解任
 - ⑨ 閉会の辞

総会次第に基づいて、開会の辞、清水会長の挨拶の後、議事審議へと続いた。

会員表彰に先立ち清水会長によって、本会災害医療担当常任理事である駒井一洋氏が、ネパール地震のERU（緊急対応ユニット）第2班に診療放射線技師として参加する為、今回の定期総会を欠席する事が告げられた。

○表彰式は委員長の正者理事により執り行われ、被功労賞15名、被奨励賞5名、被施設奨励賞7施設が表彰された。なお、感謝状被贈呈者（施設）については該当者がなかった。

※功労賞15名（敬称略、順不同）

佐藤久光（福島）、手塚章一（那須）、檜山操（那須）、大山昌利（前橋）、福井和夫（相模原）、丸田正己（長岡）、小林実（長野）、永田英雄（長野）、郷津節男（長野）、清水郷司（諏訪）、赤津英尚（諏訪）、山下光弘（高山）、下本広敏（神戸）、藤田康至（松山）、後藤啓二（熊本）

※奨励賞5名（敬称略、順不同）

藤田寛之（武蔵野）、猪狩三朗（横浜みなど）、駒井一洋（名古屋第二）、中野和彦（伊勢）、安井哲士（庄原）

※施設奨励賞7施設（順不同）

深谷赤十字病院、姫路赤十字病院、神戸赤十字病院、武蔵野赤十字病院、浜松赤十字病院、名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院

○総会議事運営報告（資格審査報告）が事務局の浅妻理事より行われた。

本日の出席者135名、委任状提出者1,258名、合計1,393名を確認し、会則第20条に基づき本総会は成立と報告された。

○議長選出となる。会場より立候補がないため、総会参加者の中から議長2名が執行部より推薦された。

議長に、金沢赤十字病院 中川亮二氏、岐阜赤十字病院 小池和由氏。

そして、議長から議事録署名人・採決係りに4名が任命され、会場からの拍手をもって全員が承認された。

○議事録署名人に、安曇野赤十字病院 中野三七人氏、名古屋第一赤十字病院 高橋徳史氏。採決質疑記録係に、前橋赤十字病院 横澤雪花氏、京都第二赤十字病院 北村梨恵氏。

○議長、中川氏の進行により議事に入った。（第一号議案から第三号議案）

1. 第一号議案から第三号議案まで一括して執行部より報告。

報告後、質疑応答に入った。

質疑なし。議長の進行により挙手で採決に入った。

※第一号議案の採決結果（否決0、保留0、賛成135）。第一号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算（否決0、保留0、賛成1,393）

※第二号議案の採決結果（否決0、保留0、賛成135）。第二号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算（否決0、保留0、賛成1,393）

※第三号議案の採決結果（否決0、保留0、賛成135）。第三号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算（否決0、保留0、賛成1,393）

議長を小池氏に交代し議事を進めた。（第四号議案から第五号議案）

2. 第四号議案から第五号議案まで一括して執行部より報告。

報告後、質疑応答に入った。

質疑なし。議長の進行により挙手で採決に入った。

※第四号議案の採決結果（否決0、保留0、賛成135）。第四号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算（否決0、保留0、賛成1,393）

※第五号議案の採決結果（否決0、保留0、賛成135）。第五号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算（否決0、保留0、賛成1,393）

3. 第六号議案について選挙管理委員会委員長 浜松赤十字病院 佐々木昌俊氏より報告。

選管5名、事務局1名にて選挙管理委員会を開催し、6通の立候補届（者）の資格審査および会費完納確認を行った。今回は定数を越えなかった為、役員選挙規程第4章第11条により無投票で当選となる事を確認したとの報告があった。

【平成27・28年度新役員】

会 長 清水 文孝（深谷赤十字病院）

副会長 戸口 豊宏（大分赤十字病院）、磯田 康範（松江赤十字病院）、安彦 茂（仙台赤十字病院）

監 事 石田 智広（福井赤十字病院）、久保田 利夫（前橋赤十字病院）

清水会長から新任の挨拶

平成26年度で退任を考えておりましたが、色々な人達からもう一期やってほしいとの事で、苦渋の決断ではございますが引き受ける事にしました。本会の会員数が約1,500名の中、3分の1程度が女性会員となっています。今、選考過程ではありますが本会の発展を考え、今年度の常任理事に女性を登用したいと考えております。この2年間、また頑張ってまいりますので皆様ご支援の程よろしくお願い致します。

○以上にて、議事を全て終了し議長は解任となり総会は終了となった。

以上

議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、議事録署名人、議長は次のとおり署名押印する。

平成27年7月29日

議事録署名人

中野 三七人 印

高橋 徳史 印

定期総会議長

中川 亮二 印

小池 和由 印

定期総会

平成 28 年度

第 63 回 日本赤十字社診療放射線技師会定期総会 議事録

1. 日 時 : 平成 28 年 6 月 3 日 (金) 15 : 20 ~ 16 : 20
2. 会 場 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1 東京国際フォーラム ホール D-5
3. 出席者 : 日本赤十字社診療放射線技師会会員 149 名
4. 議事録作成人 総務部常任理事 山本 晃司
5. 総会次第

① 開会の辞

② 会長挨拶

③ 表 彰

④ 総会議事運営報告

⑤ 議長選出

⑥ 議事録署名人選出、採決係り任命

⑦ 議事

第一号議案 平成 27 年度事業経過報告

第二号議案 平成 27 年度決算報告

第三号議案 平成 27 年度監査報告

第四号議案 平成 28 年度事業計画(案)

第五号議案 平成 28 年度予算 (案)

第六号議案 その他

⑧ 議長解任

⑨ 閉会の辞

総会次第に基づいて開会の辞、清水会長の挨拶の後、議事審議へと続いた。

○会員表彰に先立ち清水会長によって、「定期総会も 63 回を数えますが、これは長い間先人の方たちに礎を築いて頂いて今があります。今回、名誉会員であります鈴木様に於かれましては、お忙しい中ご臨席賜りまして誠にありがとうございます。会員の皆様には、定期総会では役員の通知表を付けて頂く、そういった意味で忌憚のない御意見をお願いしたと思っております。」と挨拶がなされた。

○表彰式は委員長の正者理事により執り行われ、功労賞 23 名、奨励賞 7 名、施設奨励賞 3 施設、感謝状贈呈者 2 名が表彰された。

※功労賞被表彰者 23 名 (敬称略、順不同)

刀根公二 (栗山)、吉田正志 (盛岡)、今野英麻呂 (福島)、山岸弘 (芳賀)、町田充 (原町)、
前川栄寿 (成田)、林智 (長岡)、堂徳正昭 (福井)、見谷邦夫 (福井)、牧内正史 (諏訪)、
佐々考章 (岐阜)、滝一郎 (名古屋第一)、大山泰 (伊勢)、小川正 (大津)、平川益三 (京都第一)、
武井義彦 (京都第一)、中島敏博 (姫路)、野津泰一 (松江)、小林健治 (松江)、山口敏郎 (長崎
原爆)、大町繁美 (長崎原爆諫早)、村上直治 (熊本)、北住和幸 (熊本)

※奨励賞被表彰者 7 名

大森正司 (さいたま)、中山進 (深谷)、富田欣治 (深谷)、真野晃浩 (名古屋第二)、藤原綾香 (伊勢)、
村田達紀 (伊勢)、大町繁美 (長崎原爆諫早)

※奨励賞被表彰施設 3 施設

伊勢赤十字病院、松山赤十字病院、長崎原爆諫早病院

※感謝状被贈呈者 2 名

駒井一洋 (名古屋第二)、(名古屋第二) 堀部良美

○総会議事運営報告（資格審査報告）が事務局の荒井理事より行われた。

本日の出席者 149 名、委任状提出者 1,288 名、合計 1,437 名を確認し、
会則第 20 条に基づき本総会は成立と報告された。

○議長選出となる。会場より立候補がないため、総会参加者の中から議長 2 名が執行部より推薦された。

議長に、小川赤十字病院 小林教浩氏、那須赤十字病院 山下明氏。

そして、議長から議事録署名人・採決係りに 4 名が任命され、会場からの拍手をもって全員が承認された。

議事録署名人に、長岡赤十字病院 田村厚司氏、原町赤十字病院 萩原健氏。

採決質疑記録係に、前橋赤十字病院 星野洋満氏、日本赤十字社医療センター 木本茜緒氏。

○議長、山下氏の進行により議事に入った。（第一号議案から第三号議案）

1、第一号議案から第三号議案まで一括して執行部より報告。

報告後、質疑応答に入った。

質疑なし。議長の進行により挙手で採決に入った。

※第一号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 149)。第一号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,437)

※第二号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 149)。第二号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,437)

※第三号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 149)。第三号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,437)

議長を小林氏に交代し議事を進めた。(第四号議案から第五号議案)

2、第四号議案から第五号議案まで一括して執行部より報告。

報告後、質疑応答に入った。

質疑なし。議長の進行により挙手で採決に入った。

※第四号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 149)。第四号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,437)

※第五号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 149)。第五号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,437)

3、第六号議案について、戸口副会長より報告。

報告後、質疑応答に入った。

質疑なし。議長の進行により挙手で採決に入った。

※第六号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 149)。第六号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,437)

○鈴木名誉会員より、「今日は会長から、出席して頂きたいと声がかかり出てきました。自宅から1時間足らずで来られるので、総会を見学させて頂くつもりで来ました。現在は会員数が1,500名を超え、その内女性技師が400名という事ですが、私が在職中は会員約1200名、その内10%が女性だと思っています。赤十字病院は地域基幹病院であるという事で、会員数が増えて会が発展しています。その反面、診療放射線技師としての責務が増しており、この様に色々と勉強して頂いているという事は、私また先輩方にとって誠にうれしい事だと思っております。今後も清水会長また役員の方々が、この会を盛り上げて行きますので皆様も協力して益々発展して頂くようよろしく願申し上げます。」とお言葉を頂いた。

○以上にて、議事を全て終了し議長は解任となり総会は終了となった。

以上

議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、議事録署名人、議長は次のとおり署名押印する。

平成 28 年 6 月 3 日

議事録署名人

_____田村 厚司 印

_____萩原 健 印

定期総会議長

_____小林 教浩 印

_____山下 明 印

定期総会

平成 29 年度

第 64 回 日本赤十字社診療放射線技師定期総会 議事録

1. 日 時 : 平成 29 年 6 月 23 日 (金) 15 : 30~17 : 00
2. 会 場 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1 東京国際フォーラム ホール D-5
3. 出席者 : 日本赤十字社診療放射線技師会 会員 141 名
4. 議事録作成人 総務部常任理事 山本 晃司
5. 総会次第
 - ① 開会の辞
 - ② 会長挨拶
 - ③ 表 彰
 - ④ 総会議事運営報告
 - ⑤ 議長選出
 - ⑥ 議事録署名人選出、採決係り任命
 - ⑦ 議事

| | |
|-------|---------------------|
| 第一号議案 | 平成 28 年度事業経過報告 |
| 第二号議案 | 平成 28 年度決算報告 |
| 第三号議案 | 平成 28 年度監査報告 |
| 第四号議案 | 平成 29 年度事業計画 (案) |
| 第五号議案 | 平成 29 年度予算計画 (案) |
| 第六号議案 | 平成 29・30 年度役員改選について |
| 第七号議案 | その他 |
 - ⑧ 議長解任
 - ⑨ 閉会の辞

総会次第に基づいて開会の辞、清水会長の挨拶の後、議事審議へと続いた。

- 会員表彰に先立ち清水会長によって、「定期総会は我々執行部の通知表だと思っております。オール 5 が取れば良いとは思いますが、それはなかなか難しく、及第点を取ればと考えています。及第点が取ればさらにその上の点数が望め、会の発展に繋がっていきます。今年度は役員改選の年であり、さらに先へ進めるような組織運営にしたいと考えています。」と挨拶がなされた。

- 表彰式は委員長の正者理事により執り行われ、功労賞 15 名、奨励賞 6 名、感謝状被贈呈企業 2 社が表彰された。(敬称略、順不同)

※功労賞被表彰者 15 名

(栗山) 前川 信秀、(盛岡) 安達 廣司郎、(盛岡) 藤村 貴順、(盛岡) 高橋 義浩、(盛岡) 新田 仁、(那須) 高久 道行、(さいたま) 坂口 雅彦、(福井) 石田 智広、(飯山) 高澤 茂正、(飯山) 樋田 正彦、(高山) 坂本 清隆、(名古屋第一) 山田 仁一、(高知) 秦泉寺 節男、(熊本健康管理) 藤田 清一、(熊本) 白石 修、

※奨励賞被表彰者 6 名

(武蔵野) 増島 一貴、(伊勢) 喜多 真弓、(伊勢) 森嶋 毅行、(伊勢) 柴原 卓彦、

(伊勢) 林 奈緒子、(神戸) 中田 正明

※感謝状被贈呈企業 2社 (医療機器貸与による熊本地震災害医療活動へのご協力に対し)
株式会社日立製作所、富士フィルムメディカル株式会社

- 総会議事運営報告 (資格審査報告) を執行部 荒井が報告した。
本日の出席者 141 名、委任状提出者 1334 名、合計 1475 名を確認し、
会則第 20 条に基づき本総会は成立と報告された。
- 議長選出となる。会場より立候補がないため、総会参加者の中から議長 2 名が執行部より推薦された。
議長に、松山赤十字病院 水口 司氏、徳島赤十字病院 福井 義治氏。
そして、議長から議事録署名人・採決係りに 4 名が任命され、会場からの拍手をもって全員が承認された。
議事録署名人に、水戸赤十字病院 山縣 徳治氏、小川赤十字病院 小林 教浩氏。
採決質疑記録係に、京都第二赤十字病院 錦織 優希氏、高知赤十字病院 白石 卓也氏。
- 議長、水口氏の進行により議事に入った。(第一号議案から第三号議案)
1、第一号議案から第三号議案まで一括して執行部より報告。
報告後、質疑応答に入った。
質疑なし。議長の進行により挙手で採決に入った。
※第一号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 141)。第一号議案は全会一致で可決された。
委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,475)
※第二号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 141)。第二号議案は全会一致で可決された。
委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,475)
※第三号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 141)。第三号議案は全会一致で可決された。
委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,475)

議長を福井氏に交代し議事を進めた。(第四号議案から第五号議案)

- 2、第四号議案から第五号議案まで一括して執行部より報告。
報告後、質疑応答に入った。
第五号議案について、神戸赤十字病院 古東氏より質問がなされた。
(古東氏) 特別会計 (平成 29 年学術総会収支予算) に記載してある支出の項目で、情報交換会費用の 820,000 円は、参加登録費から流用支出しているのではないかと情報交換会に参加しない会員のお金をそれに使うのは問題では？
(安彦副会長) ランチョンセミナー開催企業から、協賛開催費として 700,000 円を頂いている。これらは税法上、収入の方へ計上していない。実際ならば収入、支出ともプラス 700,000 円であり、情報交換会費はそちらから支出していると考えて頂いても良いかと思う。しかし、これらの協賛が今後、続くかどうか不透明であり、今回も含め経費を節約して開催しているのが現状である。そういった点で、今年の予算案は一般会計から助成金として 40,000 円を計上している。情報交換会の開催が厳しくなれば、費用の見直し、また全くの別会計にする事も考えていく。
(古東氏) 日赤本社に開催助成金をお願いする事は無理であろうか？

(清水会長) 実際にしたわけでないが、日赤本社に申請しても無理だと考える。日赤医学会においても、当番施設の収支で行っている。

(古東氏) これから協賛も厳しくなっていくと思われる。そういった将来を見越して、予算案を考えて頂きたい

その他、質疑なし。議長の進行により挙手で採決に入った。

※第四号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 141)。第四号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,475)

※第五号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 141)。第五号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,475)

3、第六号議案について、山下選挙管理委員長より報告がなされた。

報告後、質疑応答に入った。

質疑なし。会場からの大きな拍手により、平成 29・30 年度役員が承認された。

4、第七号議案として、執行部より今回で退任される、会長 清水 文孝氏 (深谷赤十字病院)、監事 石田 智広氏 (福井赤十字病院)、監事 久保田 利夫氏 (前橋赤十字病院) の名誉会員への推薦案が提示された。

会場からの大きな拍手により全員が承認された。

以上にて、議事を全て終了し議長は解任となり総会は終了となった。

以上

議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、議事録署名人、議長は次のとおり署名押印する。

平成 29 年 7 月 6 日

議事録署名人

_____山縣 徳治_____(印)

_____小林 教浩_____(印)

定期総会議長

_____水口 司_____(印)

_____福井 義治_____(印)

定期総会

平成 30 年度



第 65 回定期総会資料

日 時：平成 30 年 5 月 11 日（金） 15：50～17：10

場 所：東京国際フォーラム ホール D-5

総会次第

開会の辞

会長挨拶

表彰

総会議事運営報告

議長選出

議事録署名人選出、書記及び採決係任命

議 事

【第一号議案】平成 29 年度事業経過報告

【第二号議案】平成 29 年度決算報告

【第三号議案】平成 29 年度監査報告

【第四号議案】平成 30 年度事業計画（案）

【第五号議案】平成 30 年度予算（案）

【第六号議案】その他

議長解任

閉会の辞

日本赤十字社診療放射線技師会

表 彰

会員各位

日本赤十字社診療放射線技師会

会 長 安彦 茂

表彰委員長 中山 進

日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程により、顕著な功績があったので表彰します。

平成 30 年功労賞被表彰者

(表彰規程第 2 条の 1)

| | |
|------------|-------|
| 旭川赤十字病院 | 増田 安彦 |
| 釧路赤十字病院 | 工藤 武志 |
| 北見赤十字病院 | 相澤 幹也 |
| 芳賀赤十字病院 | 山田 隆幸 |
| 前橋赤十字病院 | 久保田利夫 |
| 小川赤十字病院 | 古川 富男 |
| 深谷赤十字病院 | 清水 文孝 |
| 富山赤十字病院 | 安川 孝光 |
| 富山赤十字病院 | 古野 吉尋 |
| 福井赤十字病院 | 平井 克彦 |
| 福井赤十字病院 | 若松敬一郎 |
| 名古屋第二赤十字病院 | 瀬口 繁信 |
| 名古屋第二赤十字病院 | 駒井 一洋 |
| 名古屋第二赤十字病院 | 杉本美津夫 |
| 大津赤十字病院 | 沢尾 誠 |
| 大津赤十字病院 | 津田 康弘 |
| 大津赤十字病院 | 久嶋 康秀 |
| 長浜赤十字病院 | 三輪 和弥 |
| 京都第一赤十字病院 | 井上 孝 |
| 京都第一赤十字病院 | 木下 伸治 |
| 神戸赤十字病院 | 小野寺 尚 |
| 松江赤十字病院 | 坂本 晴夫 |
| 山口赤十字病院 | 中川 明 |
| 福岡赤十字病院 | 山口 英雄 |
| 福岡赤十字病院 | 馬場 啓介 |

(敬称略、順不同)

平成 30 年奨励賞被表彰者および被表彰施設

(表彰規程第 2 条の 2)

個人表彰の部

| | |
|---------|-------|
| 足利赤十字病院 | 大川 公利 |
| 小川赤十字病院 | 田中 達也 |
| 高山赤十字病院 | 今井 丈晴 |
| 高山赤十字病院 | 中井 良則 |
| 神戸赤十字病院 | 辻居 賢一 |
| 高松赤十字病院 | 山花 大典 |

(敬称略、順不同)

施設表彰の部

| | |
|---------|-------|
| 足利赤十字病院 | 放射線科部 |
|---------|-------|

平成 30 年感謝状被贈呈者および感謝状被贈呈施設・企業

(表彰規程第 2 条の 3)

該当なし

【第一号議案】平成 29 年度事業経過報告

総括

本年 2 月に政府の地震調査委員会が、南海トラフの巨大地震が今後 30 年以内に起きる確率を 80%に引き上げることを公表した。東日本大震災から 7 年が過ぎ震災の記憶が薄れてきているが、過去の震災の経験を生かした災害への対応が肝要である。福島第一原発の事故から得られた経験から、原発の過酷事故が発生することを前提にした広域の避難計画や救護活動マニュアルの策定と訓練が必要であることも明らかになった。日本赤十字社は、「原子力災害における救護活動マニュアル」や「原子力災害における救護活動ガイドライン」を策定し、将来起こるかもしれない原子力災害に適切な対応ができるよう救護活動の行動基準を明確に定義した。その中で、救護班の編成にあたり可能な限り診療放射線技師を加え、活動中の安全対策に留意することが明記されており、本会としても原子力災害対応基礎研修会への講師派遣などを実施してきたが、昨年行われた災害支援部と本社との会議で技師会に協力依頼があったため、常任理事会で補正予算措置を講じ、各ブロック研修会において災害支援部講演を拡大して開催した。

本会の活動は、年一回の学術総会、各ブロックの業務研修会・施設代表者会議、専門部の活動が主たるものとなっている。学術総会は約 150 名の参加があり、学術講演やコミュニケーションを学ぶ講演及び研究発表等の構成で実施され、より質の高い内容に進化していると感じている。また、今回会長として全国 7 ブロックで開催された業務研修会に参加させていただき、本会の現状と課題をお話しさせていただいたが、各ブロックとも研修会の内容に様々な工夫がされており、会員の情報交換も含めて活発な研修会であると感じられた。また、施設代表者会議にも同席させていただき直接会員の皆様から様々なご意見をお聞かせいただけたことは今後の活動に参考になるものと考えている。専門部の活動は、ホームページを利用した情報発信が主なものとなっている。その中で、医療情報専門部の皆様および全国の施設の皆様にご協力いただき、システムマップ作成を行った。このシステムマップは、様々な情報交換の資料として使用するだけでなく、大規模災害発生時に業務支援を実施する際の基本データの一つとして活用されることも期待されている。

技師会ホームページについて、障害発生により現在も一部機能が使用できない状態となっており、ご不便をおかけしたことを深くお詫び申し上げますとともに、一日も早い完全復旧に努めて参ります。また、技師会ホームページを使った活発な情報交換と会の活性化のためにも、会員全員にホームページ登録していただきたいと考えている。

各部の活動については各担当より説明させていただくこととするが、例年より本会の活動にご支援をいただいている日本赤十字本社、物心両面にて支援をいただいている各メーカーに深謝し、平成 29 年度の総括とする。

平成29年度 会長・副会長行動録

会長 安彦 茂

平成29年6月23・24日（金・土）・・・平成29年日本赤十字社診療放射線技師学術総会

平成29年6月30日（金）・・・日本赤十字社チーム医療の推進に係る検討委員会（日赤本社）

平成29年7月4日（火）・・・日本赤十字社医療の質向上委員会（日赤本社）

平成29年7月7日（金）・・・第1回常任理事会（日本診療放射線技師会 講義室）

平成29年9月9・10日（土・日）・・・中部ブロック業務研修会（長野赤十字病院）

平成29年9月30日（土）・・・東北ブロック業務研修会（秋田赤十字病院）

平成29年10月1日（日）・・・北海道ブロック業務研修会（日赤北海道支部：札幌市）

平成29年10月7・8日（土・日）・・・九州ブロック業務研修会（唐津赤十字病院）

平成29年10月2日（月）・・・日本赤十字社医療の質向上委員会（日赤本社）

平成29年10月13日（金）・・・第2回常任理事会（日本診療放射線技師会 講義室）

平成29年10月23・24日（月・火）・・・日本赤十字社医学会総会（仙台市）

平成29年11月16・17日（木・金）・・・中部ブロック責任者・施設代表者研修会（静岡赤十字病院）

平成29年11月11・12日（土・日）・・・東部ブロック業務研修会（長岡赤十字病院）

平成29年11月25日（土）・・・日本診療放射線技師会 診療放射線技師養成機関・職域団体との懇談会（東京都品川）

平成29年12月9・10日（土・日）・・・中四国ブロック業務研修会（松江赤十字病院）

平成30年1月29日（月）・・・日本赤十字社チーム医療の推進に係る検討委員会（日赤本社）

平成30年2月16日（金）・・・第3回常任理事会（さいたま赤十字病院 会議室）

平成30年2月24・25日（土・日）・・・近畿ブロック業務研修会（高槻赤十字病院）

平成30年2月27日（火）・・・日本赤十字社医療の質向上委員会（日赤本社）

平成30年3月10日（土）・・・専門部会（さいたま赤十字病院）

平成30年4月6日（金）・・・平成29年度 理事会（日本診療放射線技師会 講義室）

副会長 正者 智昭

平成29年6月23・24日(金・土)・・・平成29年日本赤十字社診療放射線技師学術総会

平成29年7月7日(金)・・・第1回常任理事会(日本診療放射線技師会 講義室)

平成29年10月13日(金)・・・第2回常任理事会(日本診療放射線技師会 講義室)

平成30年2月16日(金)・・・第3回常任理事会(さいたま赤十字病院 会議室)

平成30年2月23日(金)・・・災害医療支援部会(兵庫県災害医療センター)

平成30年2月24・25日(土・日)・・・近畿ブロック業務研修会(高槻赤十字病院)

平成30年3月10日(土)・・・専門部会(さいたま赤十字病院)

平成30年4月6日(金)・・・平成29年度 理事会(日本診療放射線技師会 講義室)

副会長 竹安 直行

平成29年6月23・24日(金・土)・・・平成29年日本赤十字社診療放射線技師学術総会

平成29年7月7日(金)・・・第1回常任理事会(日本診療放射線技師会 講義室)

平成29年10月13日(金)・・・第2回常任理事会(日本診療放射線技師会 講義室)

平成30年2月16日(金)・・・第3回常任理事会(さいたま赤十字病院 会議室)

平成30年3月10日(土)・・・専門部会(さいたま赤十字病院)

平成30年3月12日(火)・・・IT推進部 ホームページ会議

平成30年4月6日(金)・・・平成29年度 理事会(日本診療放射線技師会 講義室)

副会長 荒井 一正

平成29年6月23・24日(金・土)・・・平成29年日本赤十字社診療放射線技師学術総会

平成29年7月7日(金)・・・第1回常任理事会(日本診療放射線技師会 講義室)

平成29年10月13日(金)・・・第2回常任理事会(日本診療放射線技師会 講義室)

平成30年2月16日(金)・・・第3回常任理事会(さいたま赤十字病院 会議室)

平成30年3月10日(土)・・・専門部会(さいたま赤十字病院)

平成30年4月6日(金)・・・平成29年度 理事会(日本診療放射線技師会 講義室)

各部事業経過報告

1. 総務部報告

(1) 日本赤十字社診療放射線技師会第 64 回定期総会の開催

平成 29 年 6 月 23 日（金）15：30～17：00 の日程で、第 64 回定期総会を東京国際フォーラム D-5 ホールにて開催した。

会員表彰に先立ち清水会長によって、「定期総会は我々執行部の通知表だと思っております。オール 5 が取れば良いとは思いますが、それはなかなか難しく及第点を取ればと考えています。及第点が取れば、さらにその上の点数が望め会の発展に繋がっていきます。今年度は役員改選の年であり、さらに先へ進めるような組織運営にしたいと考え、その引継ぎを行っています。」と挨拶がなされた。

会長挨拶後に表彰式が委員長の正者理事により執り行われ、功労賞 15 名、奨励賞 6 名、感謝状被贈呈企業 2 社がそれぞれ表彰された。

(敬称略、順不同)

※功労賞被表彰者 15 名

(栗山) 前川 信秀、(盛岡) 安達 廣司郎、(盛岡) 藤村 貴順、(盛岡) 高橋 義浩、
(盛岡) 新田 仁、(那須) 高久 道行、(さいたま) 坂口 雅彦、(福井) 石田 智広、
(飯山) 高澤 茂正、(飯山) 樋田 正彦、(高山) 坂本 清隆、(名古屋第一) 山田 仁一、
(高知) 秦泉寺 節男、(熊本健康管理) 藤田 清一、(熊本) 白石 修、

※奨励賞被表彰者 6 名

(武蔵野) 増島 一貴、(伊勢) 喜多 真弓、(伊勢) 森嶋 毅行、(伊勢) 柴原 卓彦、
(伊勢) 林 奈緒子、(神戸) 中田 正明

※感謝状被贈呈企業 2 社 (医療機器貸与による熊本地震災害医療活動へのご協力に対し)

株式会社日立製作所、富士フイルムメディカル株式会社

その後、定期総会議事運営報告（資格審査報告）が事務局の荒井理事より行われ、出席者 141 名、委任状提出者 1334 名、合計 1475 名を得ており定期総会が成立することを確認した。

議事を進めるにあたって、議長に松山赤十字病院 水口司氏、徳島赤十字病院 福井義治氏。そして議事録署名人に水戸赤十字病院 山縣徳治氏、小川赤十字病院 小林教浩氏が会場より選出された。議事は平成 28 年度事業経過報告、決算報告、監査報告、そして平成 29 年度事業計画案、予算案、平成 29・30 年度役員、名誉会員推薦について全てが審議され承認決議された。

(2) 平成 29 年学術定期総会収支報告

【第二号議案】平成 29 年学術定期総会収支報告を平成 29 年度決算報告の特別会計として記載。

(3) 常任理事会、理事会、定期総会の設定及び議事録の作成

常任理事会を3回および理事会を1回、下記のとおりで開催した。検討事項及び提案事項について審議決議し、それらについて全て議事録を作成そして速やかにホームページに掲載した。

○第1回常任理事会

平成29年7月7日（金）13：00～17：00 日本診療放射線技師会 講義室

○第2回常任理事会

平成29年10月13日（金）13：00～17：00 日本診療放射線技師会 講義室

○第3回常任理事会

平成30年2月16日（金）13：00～17：00 さいたま赤十字病院 会議室

○理事会

平成30年4月6日（金）13：00～17：00 日本診療放射線技師会 講義室

(4) 医療安全対策部会

本社医療事業部医療安全課管轄の医療安全対策部会に本会の尾形理事が出席し、医療安全推進について協議また検討を行った。その内容に関しては、常任理事会で報告され議事録に記載、そしてそれらをHPに掲載した。

○平成29年度第1回医療安全対策部会

平成29年7月25日（火）13：30～15：30 日赤本社 地下A・B会議室

- ・平成29年度日本赤十字社における医療安全事業計画
- ・医療安全対策部会からの報告事項：転倒転落ワーキングについて
- ・「医療事故等の報告および医療事故報告書の開示請求への対応」について
- ・病院賠償責任保険にかかる保険会社の選定計画について

○平成29年度第2回医療安全対策部会

平成30年1月23日（火）15：00～17：30 日赤本社東館2階 視聴覚室

- ・医療安全にかかる平成29年度実績・評価及び平成30年度取り組み（案）
- ・医療事項検討部会に関する報告
- ・転倒転落ワーキングの進捗状況
- ・医療安全管理者養成研修について
- ・平成30年度赤十字医療施設における医療安全対策に関する調査について
- ・知恵の輪 転倒転落を考えたい 等

2. 会員動向報告（平成30年2月16日現在）

| | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 会員数 | 1,541名 | 男性1,162名 | 女性379名 |
| 新入会員数 | 13名 | | |
| 退会会員数 | 42名 | | |
| 入会予定者数 | 58名 | | |
| 組織率 | 96.5% | | |

3. 福利厚生報告

慶弔規程に基づき、祝電4通を送付した。

4. 学術部報告

平成29年6月23日（金）・24日（土）の2日間、平成29年日本赤十字社診療放射線技師学術総会を開催した。主な内容は以下の通りである。

本社講演：「質経営のためのTQM活動」

日本赤十字社 医療事業推進本部 総括副本部長 矢野 真 先生

学術講演：「股関節OAから人工股関節（THA）の撮影技術と読影ポイント」

「インプラント周辺の骨変化を描出する臨床画像を知る」

奈良県立医科大学附属病院中央放射線部 副技師長 安藤英次 先生

教育講演：「最強医療コミュニケーション なんてやねん力」

放送作家 漫才セミナー講師 Wマコト 先生

災害支援部報告、チーム医療報告、ランチョンセミナー2題、イブニングセミナー1題

会員研究発表

1. 線条体ファントムを用いた撮像条件の検討

名古屋第一赤十字病院 可児 貴裕

2. 当院におけるFDG-PET検査時の薬剤投与方法の精度について

松江赤十字病院 加茂 紗保子

3. 2channel同時計測によるion chamber の利用可能印可電圧の測定

北見赤十字病院 干川 隆幸

4. 婦人科がん密封小線源治療における独立検証システムの開発

日本赤十字社 和歌山医療センター 小野 智博

5. 単色X線等価画像を利用したワークステーション（WS）業務の作業効率の検討

深谷赤十字病院 長沼 紗由美

6. ボーラストラック法におけるCT値設定の検討

松山赤十字病院 清水 界

7. 低線量肺がんCT健診の質の向上を目指して～10年間の推移と考察～

日本赤十字社 長崎原爆諫早病院 松尾 俊哉

8. 急性期脳梗塞におけるCT Perfusion 処理の時間短縮について

伊勢赤十字病院 幕谷 幸弘

9. 脳CT Perfusion検査における4DCTA画像再構成の時間短縮

伊勢赤十字病院 河口 洋平

10. ADCTを使用した使用列数の違いにおける散乱線量に与える影響の基礎的検討

徳島赤十字病院 笠井 洋平

11. FPDシステムにおける腹部撮影条件の検討

大分赤十字病院 熊谷 誠

12. 散乱線除去用ソフト使用時における画像の黒潰れの検討

広島赤十字・原爆病院 廣田 充宏

13. 胃X線検査における診療放射線技師による「読影補助」の役割

高山赤十字病院 中井 良則

14. MRI対応カプノメーターの使用経験

日本赤十字社 和歌山医療センター 仁木 崇人

15. 一次サーバー導入による紹介患者へのサービス向上

神戸赤十字病院 小川 宗久

16. 中部ブロック・診療放射線技師の人事交流を経験して

高山赤十字病院 中井 良則

【最優秀賞】小川 宗久（神戸赤十字病院）

【優秀賞】幕谷 幸弘（伊勢赤十字病院）、廣田 充宏（広島赤十字・原爆病院）

5. 専門部報告

(1) 平成29年度活動案として、専門部活動の活性化を図るために専門部員登録を進めてきた。これまでの専門部（CT、MRI、医療画像情報、乳房画像、治療、核医学）6部門から新たに加わった一般・透視とアンギオの2部門の登録推進を継続して行った。

(2) 各専門部と連携し会員に相互の情報共有のためHP上にて「胸部異物画像」について話題提供した。

(3) 平成29年度 専門部世話人会議

平成30年3月10日（土）14：00～17：00

さいたま赤十字病院 7階 第3会議室

6. 災害医療支援部報告

【国内災害】

(1) 被災地病院への診療放射線技師派遣についての本社への働きかけ
今まで被災地の赤十字病院へ被災地外からの技師派遣はされていなかった。この件について2017年2月、災害医療支援部は診療放射線技師などのメディカルスタッフも被災地病院への派遣対象に加えるよう、本社医療事業推進本部に進言した。

(2) 可搬型デジタルX線撮影装置の活用

東日本大震災の折、（株）キヤノンマーケティングジャパンが5台の可搬型デジタルX線撮影装置（CXDI-50G）を本社に寄贈し、それらは東北各地へ配備されたが、現在は使命を終え本社で保管されている。それらの今後の有効利用方法を本社救護福祉部と協議中である。

【原子力災害】

- (1) 日本赤十字社 平成 29 年度緊急被ばく医療アドバイザー会議出席
- ① 第 1 回 (7 月 6 日・7 日 於：日本赤十字社本社)
出席者：松井久男・坂井征一郎・高本研二・駒井一洋
 - ② 第 2 回 (12 月 18 日・19 日 於：日本赤十字社本社)
出席者：松井久男・坂井征一郎・高本研二・駒井一洋
- (2) 日本赤十字社原子力災害対応基礎研修会出席
- ① 第 1 ブロック (6 月 3 日・4 日 於：石巻赤十字病院)
出席者：松井久男・坂井征一郎・駒井一洋
特記事項：本社の要請に基づき、災害医療支援部員が、韓国赤十字視察団に対し、別室にて講演、実技指導を行った。
 - ② 第 3 ブロック (6 月 16 日・17 日 於：福井商工会議所)
出席者：高本研二・駒井一洋
 - ③ 第 5 ブロック (1 月 24 日・25 日 於：松江赤十字病院)
出席者：松井久男・坂井征一郎・高本研二・駒井一洋
- (3) 日本赤十字社診療放射線技師会ブロック業務研修会において講習会開催
- ① 中部ブロック (9 月 9 日・10 日 於 長野赤十字病院)
講 師 坂井征一郎・高本研二・駒井一洋
講義時間 1 時間
内 容 「日本赤十字社の原子力災害対策と診療放射線技師」
「原子力災害時に対する行政の体制」
「原子力災害時の救護活動における技師の役割」
 - ② 東北ブロック (9 月 30 日 於 秋田赤十字病院)
講 師 駒井一洋
講義時間 45 分
内 容 ①に同じ
 - ③ 北海道ブロック (9 月 30 日・10 月 1 日 於 日本赤十字社北海道支部)
講 師 松井久男・坂井征一郎・駒井一洋
講義時間 1 時間
内 容 ①に同じ
 - ④ 九州ブロック (10 月 7 日・8 日 於 唐津赤十字病院)
講 師 松井久男・坂井征一郎・駒井一洋
講義時間 1 時間
内 容 ①に同じ
 - ⑤ 中四国ブロック (12 月 9 日・10 日 於 松江赤十字病院)
講 師 高本研二・駒井一洋

| | |
|----------|-----------------------|
| 講義時間 | 1 時間 |
| 内 容 | ①に同じ |
| ⑥ 近畿ブロック | (2月24日・25日 於 メルパルク大阪) |
| 講 師 | 松井久男・駒井一洋 |
| 講義時間 | 1 時間 |
| 内 容 | ①に同じ |

【国際救援】

近畿ブロック業務研修会にて国際救援を主題とした講演会を開催

| | |
|------|-----------------------------|
| 講 師 | 口井信孝 |
| 講演時間 | 1 時間 |
| 内 容 | 「国際医療救護活動における診療放射線技師の役割と現状」 |

【災害医療支援部会】

2018年2月23日（金）神戸赤十字病院において開催。

正者副会長をはじめ、全災害医療支援部員が出席。今年度の活動報告・反省と来年度の活動方針などが協議された。

7. 広報部報告

(1) 電子会誌 9 号の作成

【会誌内容】

- ・特集テーマ「小児撮影」
 - ①各モダリティの機能について
 - キヤノンメディカルシステムズ株式会社
 - シーメンス・ヘルスケア株式会社
 - 株式会社フィリップス・ジャパン
 - 富士フイルムメディカル株式会社
 - GEヘルスケア・ジャパン株式会社
 - ②専門部投稿
 - ・施設紹介
 - ①安曇野赤十字病院
 - ②日本赤十字社長崎原爆諫早病院
 - ・技師長総括
 - ①深谷赤十字病院 清水文孝元技師長
 - ②諏訪赤十字病院 牧内正史元技師長
 - ・本会の動き
- (2) 5月上旬にホームページに掲載予定

8. IT 推進部報告

- (1) 会員 SNS の管理運営を行った。
入会・退会・お問い合わせへの返信。
- (2) ホームページの更新。
会長挨拶、役員紹介、概要の更新。
- (3) 会員台帳の一元管理化
クラウドシステムを利用して共有ファイルを作り一元管理できるようにした。
- (4) サーバー障害の対応。
障害の連絡および報告。
- (5) 新役員、専門部、ブロック理事、委員のメーリングリストの管理作業。
登録者の変更および更新作業。
- (6) ホームページ登録会員数（2018 年 3 月 1 日現在）
現在の登録者数は、1303 名。昨年度は、53 名の登録。
会員のホームページ登録率は、約 84%。

9. チーム医療部報告

- (1) 平成 27 年 12 月から【チーム医療について】の原稿を各施設から募集し、平成 29 年 12 月で終了した。2 年間で 63 施設から提出していただいた。
- (2) 原稿を順次ホームページへ掲載し、vol.56 まで進んだ。
- (3) 平成 29 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会において、下記のとおりチーム医療の活動報告をしていただいた。
 - ・小川赤十字病院「診療放射線技師と NST」 村田雅弘氏
 - ・庄原赤十字病院「骨粗鬆症リエゾンサービス」 安井哲士氏
 - ・成田赤十字病院「感染対策」 安部沙優花氏
- (4) 集まったチーム医療の活動内容の分類、まとめ等を行った。

10. 教育部報告

- (1) 平成 29 年度より発足した。
- (2) 教育に関する事項の整理、教育プログラムについての情報収集を行った。

11. 組織調査部報告

- (1) 平成 29 年度 4 月より全国赤十字技師長・課長宛に年度初頭の会員調査を実施し、総会までに新年度の新入会会員（予定者）・退会会員および施設毎の会員と会員数の把握を行い会員台帳にまとめた。
- (2) 組織調査と同時に、第 52 回日本赤十字社医学会総会の発表者の把握を目的に発表者に関する調査を行い、結果を学術部へ報告した。

- (3) 事務局および IT 推進部と連携し、年間を通じて会員の入退会状況の確認作業を行い、本会会員動向の把握に努めた。
- (4) 技師長・課長メーリングリスト（ホットクロス ML）の登録情報について調査を行った。
- (5) 平成 29 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会において、総会のあり方に関するアンケート調査を実施し、結果をホームページに掲載した。
- (6) 平成 29 年 11 月より昨年実施したベンチマーク調査に対してのアンケート調査を実施し、結果をホームページに掲載した。
- (7) 平成 30 年 1 月より全国赤十字施設代表に全国施設代表者会議（仮称）についてのアンケート調査を実施した。

12. 表彰部報告

- (1) 平成 28 年度理事会にて、平成 29 年功労賞（表彰規程 2 条 1）被表彰者 15 名、奨励賞（同 2 条 1）被表彰者 6 名、感謝状（同 2 条 3）被表彰企業 2 社を決定した。
- (2) 平成 29 年 6 月 23 日 第 64 回定期総会にて表彰式を執り行った。
- (3) 平成 29 年 11 月 1 日から平成 30 年 1 月 31 日にかけて、平成 30 年功労賞被表彰者および感謝状被贈呈者の推薦を募集した。

13. ブロック活動報告

(1) 北海道ブロック

1. 技師長・課長・職務代行者会議

日 時：平成 29 年 5 月 13 日（土） 13：00～17：30

場 所：札幌市 日本赤十字社北海道支部 北海道看護大学 サテライト室

2. 日本赤十字社診療放射線技師学術総会に会員派遣

日 時：平成 29 年 6 月 23 日（金）～24 日（土）

場 所：東京都 東京国際フォーラム

3. 第 27 回北海道ブロック業務研修会並びに総会

日 時：平成 29 年 9 月 30 日（土）～10 月 1 日（日）

会 場：札幌市 日本赤十字社北海道支部 奉仕団活動室

出席者：10 施設 26 名

① 会長講演 「これからの日赤の放射線技師が求められること」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

② ワークショップ（災害医療支援部 理事）

「日本赤十字社の原子力災害対策と診療放射線技師」

「原子力災害に対する行政の体制」

「原子力災害時の救護活動における技師の役割」

長浜赤十字病院 松井 久男

唐津赤十字病院 坂井 征一郎

名古屋第二赤十字病院 駒井 一洋

③ 教育講演 「一般撮影の見直しの中で」

清水赤十字病院 中川 英之

NTRT（全国 X 線撮影技術読影研究会）世話人

日本診療放射線技師会 骨関節撮影分科会委員

④ 技術交流 「一般撮影における創意工夫など」 各施設発表

⑤ 一般演題発表 7 演題

(2) 東北ブロック

1. 東北ブロック業務研修会・施設代表者会議

日 時：平成 29 年 9 月 30 日（土）

会 場：秋田赤十字病院 多目的ホール

出席者：6 施設 36 名

① 会長講演 「これからの日赤の放射線技師が求められること」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

② 特別講演 「原子力災害時の救護活動における技師の役割」

災害医療支援部理事 駒井 一洋

③ シンポジウム 「産休・育児休暇、前中後の勤務体制について」

八戸赤十字病院 大澤 哲平

盛岡赤十字病院 藤村 貴順

仙台赤十字病院 笹 優子

石巻赤十字病院 高橋 和也

福島赤十字病院 羽貝 寿子

秋田赤十字病院 大隅 康之

④ 教育講演 「富士フィルムの X 線画像処理の変遷と将来への期待」

富士フィルムメディカル株式会社 畔柳 宏之 先生

(3) 東部ブロック

1. 第 1 回東部ブロック施設代表者会議

日 時：平成 29 年 4 月 28 日（金） 13：00～17：00

会 場：さいたま赤十字病院

出席者：15 施設 16 名

2. 第 30 回東部ブロック業務研修会

日 程：平成 29 年 11 月 11 日（土）～12 日（日）

会 場：新潟県長岡市 長岡グランドホテル

当番病院：長岡赤十字病院

出席者：18 施設 79 名

- ① 会長講演 「これからの日赤の放射線技師が求められるもの」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

- ② 特別講演 「人間中心設計 Human Centered Design」

長岡造形大学 学長 和田 裕 先生

- ③ 教育講演 「救急疾患の CT 見逃してはいけない所見、放っておいてよい所見」

長岡赤十字病院 放射線科部長 西原 眞美子 先生

- ④ 第 2 回施設代表者会議

平成 33 年度までの東部ブロック業務研修会当番施設（暫定）の承認
その他

- ⑤ 一般演題発表 10 演題

一般撮影関係 2 題・医療安全 1 題・放射線治療 2 題
教育関係 1 題・CT 2 題・MRI 2 題

(4) 中部ブロック

1. 第 8 回中部ブロック業務研修会

日 時：平成 29 年 9 月 9 日（土）13：00 ～ 10 日（日）13：00

会 場：長野赤十字病院 第二研修ホール

出席者：19 施設 65 名

- ①講演会 「救急外来で放射線技師に期待すること」

長野赤十字病院 第一救急部 副部長 山川 耕司 先生

- ②講演会 「働きやすい労働環境を考える」

大宝労務安全研究所 所長 大田 吉宝 先生

- ③演題発表 7 題

- ④分科会（各モダリティ）および職場責任者会議

放射線治療：安定的な放射線治療の提供への取り組み

MR：安全管理（金属・造影剤）

CT：造影 CT と教育体制

核医学：SPECT/CT の運用方法

一般撮影：一般撮影を見直してみよう

- ⑤災害医療支援部講習会 「原子力災害における診療放射線技師の役割」

「日本赤十字社の原子力災害対策と診療放射線技師」

「原子力災害時に対する行政の体制について」

「原子力災害時の救護活動における診療放射線技師の役割」

日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部

名古屋第二赤十字病院 駒井 一洋

松山赤十字病院 高本 研二

唐津赤十字病院 坂井 征一郎

2. 第 4 回中部ブロック技師長・責任者会議

日 時：平成 29 年 11 月 16 日（木）13：00～17 日（金）13：00

会 場：静岡赤十字病院 2 号館 第 1・第 2 会議室

出席者：19 施設 28 名

① 会長講演 「これからの日赤の放射線技師が求められるもの」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

② 講演 「タバコについて」

静岡赤十字病院 院長 磯部 潔 先生

③ 講演 「幸せに働ける職場環境を目指して」

産業カウンセラー・看護師 石川 千奈美 先生

④ 講演 「地域医療連携における画像情報の現状と展望

～ふじのくにねっとの運用事例から～

静岡県立こども病院 放射線技術室 法橋 一生 先生

(5) 近畿ブロック

1. 第 1 回近畿ブロック施設代表者会議

日 時：平成 29 年 9 月 10 日（日） 13：00～16：30

会 場：京都第二赤十字病院 会議室

出席者：13 施設 15 名

2. 第 26 回近畿ブロック業務研修会

日 時：平成 30 年 2 月 24 日（土）～25 日（日）

会 場：大阪市淀川区 メルパルク大阪

当番病院：高槻赤十字病院

出席者：18 施設 87 名

① 会長講演 「日本赤十字社診療放射線技師会の今後と課題」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

② 特別講演 「伸びる選手・伸びる環境」

明治大学附属明治高等学校・中学校サッカー部総監督 神川 明彦 先生

- ③ 特別講演 「国際救護医療活動における診療放射線技師の役割と現状」
日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部
日本赤十字社和歌山医療センター 口井 信孝
- ④ 災害医療支援部講習会
「原子力災害における診療放射線技師の役割」
「日本赤十字社の原子力災害対策と診療放射線技師」
「原子力災害時に対する行政の体制について」
日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部
名古屋第二赤十字病院 駒井 一洋
「原子力災害時の救護活動における診療放射線技師の役割」
日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部
長浜赤十字病院 松井 久男
- ⑤ 第2回施設代表者会議
安彦会長にも出席いただき各施設との貴重な意見交換ができた
- ⑥ 一般演題発表 9演題
一般撮影 3題・マンモ 1題・MRI 2題・放射線治療 2題・その他 1題

(6) 中四国ブロック

1. 中四国ブロック施設代表者会議

日 時：平成29年12月9日（土） 13：00～14：00

会 場：松江赤十字病院 会議室

出席者：12施設13名

2. 中四国ブロック業務研修会

日 時：平成29年12月9日（土）～10（日）

会 場：松江赤十字病院 講堂

出席者：50名

① 会長講演 「日本赤十字社診療放射線技師会の現状と課題」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

② 災害医療支援部講演

「日本赤十字社の原子力災害対策と診療放射線技師会」

「原子力災害に対する行政の対策」

「原子力災害の救護活動における診療放射線技師会の役割」

日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部

名古屋第二赤十字病院 駒井 一洋

松山赤十字病院 高本 研二

③研修会企画 「被災施設への放射線部門業務支援について考える」

- ・基調講演 「被災経験施設からの考察」

神戸赤十字病院 浅妻 厚

- ・特別講演 「熊本地震病院支援を経験して～支援の連携とマネージメント～」

松江赤十字病院 看護師 野津 栄子

- ・シンポジウム

一般撮影 高知赤十字病院 小松 克也

CT 検査 徳島赤十字病院 矢野 朋樹

MRI 検査 高松赤十字病院 石井 寛人

転職経験 松江赤十字病院 岩田 幸子

④施設見学

(7) 九州ブロック

1. 第 18 回九州ブロック業務研修会

日 時：平成 29 年 10 月 7 日（土）～8 日（日）

会 場：唐津赤十字病院 佐野講堂

当番病院：唐津赤十字病院

出席者：9 施設 40 名

① 特別講演 I 「これからの日赤の放射線技師が求められること」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

② 教育講演 I 「メディカルイラストレーションの紹介」

唐津赤十字病院 病理診断部長 明石 道昭 先生

③ 施設代表者会議

④ 施設見学

放射線技術部、被ばく医療施設、WBC デモンストレーション

⑤ 講義 「原子力災害における診療放射線技師の役割」

災害支援部 駒井 一洋

松井 久男

坂井 征一郎

⑥ 会員研究発表 6 演題

⑦ 教育講演 II 「CT 最新技術紹介」

東芝メディカル 小竹 啓介 先生

【第二号議案】平成29年度決算報告

1. 平成29年度学術定期総会収支報告

特別会計

平成29年 日本赤十字社診療放射線技師学術総会 収支報告書

期間 : 自 平成29年6月23日 (金)

至 平成29年6月24日 (土)

会場 : 東京国際フォーラム

【収入の部】

金額 (円)

| 項目 | 決算額 | 備考 |
|--------------|-----------|-------------|
| 参加登録費 | 1,128,000 | 8,000円×141名 |
| 会員情報交換会参加費 | 220,000 | 2,000円×110名 |
| 協賛企業情報交換会参加費 | 300,000 | 10,000円×30名 |
| 学術総会助成金 | 25,766 | |
| 計 | 1,673,766 | |

【支出の部】

金額 (円)

| 項目 | 決算額 | 備考 |
|--------|-----------|-------------------------|
| 会場費 | 293,496 | 東京国際フォーラムD-5、備品使用料含 |
| 情報交換会費 | 834,452 | 東京国際フォーラムG-7 |
| 運営費 | 353,800 | ランチョンセミナー (会員お弁当代) |
| 招聘費 | 73,280 | 講師謝金、旅費 |
| 学術発表賞費 | 25,000 | 図書カード |
| 会議費 | 50,000 | 準備委員、座長 クオカード2,000円×25名 |
| 諸経費 | 20,560 | 備品 |
| 雑費 | 23,178 | 懸垂幕、郵送費等 |
| 計 | 1,673,766 | |

(セミナー企業の支払い分75万円を除く)

2. 平成29年度ブロック業務研修会助成金収支報告

| 日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 北海道ブロック業務研修会 収支報告 | | | | | | |
|---|---------|--------------|---------|----------------|----------------|----------------------|
| 日時：H29/9/30～10/1 | | | | | | |
| | 項目 | 単価 | 数量 | 計 | 備考 | |
| 収入 | 研修会費 | 会議費 | 3,000 | 25 | 75,000 | |
| | | | | | | |
| | その他 | 北海道ブロック活動助成金 | 200,000 | 1 | 200,000 | 日本赤十字社診療放射線技師会 |
| | | 前年度繰越金 | | | 511 | |
| 計 | | | | 275,511 | | |
| 支出 | 研修会費 | 会議費・参加費 | | | 199,099 | 会場費、代行者会議費を含む |
| | 講演・発表謝礼 | 謝礼 | | | 65,980 | 講師謝礼、演者謝礼等 |
| | 事務費 | 事務費 | | | 4,094 | 物品購入（記録メディア、封筒、用紙代等） |
| | | 通信費 | | | 6,338 | 案内、関係書類郵送費 |
| | 計 | | | | 275,511 | |
| 収支 | 収支差額 | | | 0 | 次年度繰越金 | |

| 日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 東北ブロック業務研修会 収支報告 | | | | | | |
|--|---------|-------------|---------|----------|----------------|----------------------|
| 日時：H29/9/30 | | | | | | |
| | 項目 | 単価 | 数量 | 計 | 備考 | |
| 収入 | 研修会費 | 会議費 | 4,000 | 29 | 116,000 | |
| | | 参加費 | 2,000 | 19 | 38,000 | |
| | その他 | 東北ブロック活動助成金 | 200,000 | 1 | 200,000 | 日本赤十字社診療放射線技師会 |
| | 計 | | | | 354,000 | |
| 支出 | 研修会費 | 会議費・参加費 | | | 296,275 | 会場費を含む |
| | 講演・発表謝礼 | 謝礼 | | | 48,269 | 講師謝礼、シンポジスト謝礼等 |
| | 事務費 | 事務費 | | | 9,456 | 物品購入（ファイル等）、写真印刷代を含む |
| | 計 | | | | 354,000 | |
| 収支 | 収支差額 | | | 0 | 次年度繰越金 | |

| 日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 東部ブロック業務研修会 収支報告 | | | | | | |
|--|---------|----------------|-------------|----------|------------------|----------------------|
| 日時：H29/11/11～12 | | | | | | |
| | 項目 | 単価 | 数量 | 計 | 備考 | |
| 収入 | 研修会費 | 会議費（両日参加） | 8,000 | 26 | 208,000 | |
| | | 会議費（1日目のみ参加） | 4,000 | 4 | 16,000 | |
| | | 会議費（2日目のみ参加） | 4,000 | 3 | 12,000 | |
| | | 参加費 | 3,000 | 49 | 147,000 | |
| | | 宿泊費（長岡グランドホテル） | 7,900・6,800 | 53 | 409,900 | 7,900×45名・6,800×8名 |
| | その他 | 東部ブロック活動助成金 | 200,000 | 1 | 200,000 | 日本赤十字社診療放射線技師会 |
| | | 東部ブロック研修会助成金 | 50,000 | 1 | 50,000 | 東部ブロック院長連盟 |
| | | コンベンション開催助成金 | 100,000 | 1 | 100,000 | 長岡市観光コンベンション協会 |
| | 計 | | | | 1,478,900 | |
| 支出 | 研修会費 | 会議費・参加費 | 1,322,387 | | 1,322,387 | 会場費、宿泊費を含む |
| | 講演・発表謝礼 | 謝礼 | 90,000 | | 90,000 | 講師謝礼、発表謝礼 |
| | 事務費 | 事務費 | 56,113 | | 56,113 | 物品購入（ファイル等）、機材搬入準備費等 |
| | | 通信費 | 10,400 | | 10,400 | 案内郵送・次期当番病院物品郵送等 |
| | 計 | | | | 1,478,900 | |
| 収支 | 収支差額 | | | 0 | 次年度繰越金 | |

| 日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 中部ブロック業務研修会 収支報告 | | | | | | |
|--|---------|--------------|---------|----|----------------|----------------------|
| 日時：H29/9/9～10 | | | | | | |
| | 項目 | | 単価 | 数量 | 計 | 備考 |
| 収入 | 研修会費 | 会議費（両日参加） | 2,500 | 6 | 15,000 | |
| | | 会議費（1日目のみ参加） | 500 | 9 | 4,500 | |
| | | 会議費（2日目のみ参加） | 0 | 0 | 0 | |
| | | 参加費 | 6,000 | 54 | 324,000 | |
| | その他 | 中部ブロック活動助成金 | 200,000 | 1 | 200,000 | 日本赤十字社診療放射線技師会 |
| | 計 | | | | 543,500 | |
| 支出 | 研修会費 | 会議費・参加費 | | | 435,929 | 会場費を含む |
| | 講演・発表謝礼 | 謝礼 | | | 85,000 | 講師謝礼等 |
| | 事務費 | 事務費 | | | 20,931 | 物品購入（ファイル等）、機材搬入準備費等 |
| | | 通信費 | | | 1,640 | 案内郵送・次期当番病院物品郵送等 |
| | 計 | | | | 543,500 | |
| 収支 | 収支差額 | | | | 0 | 次年度繰越金 |

| 日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 近畿ブロック業務研修会 収支報告 | | | | | | |
|--|---------|-------------|---------|----|------------------|------------------|
| 日時：H30/2/24～25 | | | | | | |
| | 項目 | | 単価 | 数量 | 計 | 備考 |
| 収入 | 研修会費 | 会議費・宿泊費 | 21,000 | 64 | 1,344,000 | |
| | | 会議費 | 11,000 | 23 | 253,000 | |
| | その他 | 近畿ブロック活動助成金 | 200,000 | 1 | 200,000 | 日本赤十字社診療放射線技師会 |
| | | 計 | | | | 1,797,000 |
| 支出 | 研修会費 | 会議費・参加費 | | | 1,733,376 | 会場費、宿泊費を含む |
| | 講演・発表謝礼 | 謝礼 | | | 60,000 | 講師謝礼等 |
| | 事務費 | 事務費 | | | 3,500 | ホテル打合せ交通費 |
| | | 通信費 | | | 1,060 | 案内郵送、次期当番病院物品郵送等 |
| | 計 | | | | 1,797,936 | |
| 収支 | 収支差額 | | | | -936 | 次年度繰越金 |

| 日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 中四国ブロック業務研修会 収支報告 | | | | | | |
|---|---------|--------------|---------|----|----------------|----------------|
| 日時：H29/12/9～10 | | | | | | |
| | 項目 | | 単価 | 数量 | 計 | 備考 |
| 収入 | 研修会費 | 会議費 | 5,000 | 48 | 240,000 | |
| | | | | | | |
| | その他 | 中四国ブロック活動助成金 | 200,000 | 1 | 200,000 | 日本赤十字社診療放射線技師会 |
| | 計 | | | | 440,000 | |
| 支出 | 研修会費 | 会議費・参加費 | 368,327 | | 368,327 | 会場費を含む |
| | | 施設代表者会議費 | 12,356 | | 12,356 | 会場費を含む |
| | 講演・発表謝礼 | 謝礼 | 27,000 | | 27,000 | 講師謝礼 |
| | 事務費 | 事務費 | 29,489 | | 29,489 | 物品購入、機材搬入準備費等 |
| | | 通信費 | 2,828 | | 2,828 | 案内郵送等 |
| | 計 | | | | 440,000 | |
| 収支 | 収支差額 | | | | 0 | 次年度繰越金 |

| 日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 九州ブロック業務研修会 収支報告 | | | | | | |
|--|---------|-------------|-----------|-------|----------------|-------------------|
| 日時：H29/10/7～8 | | | | | | |
| 収入 | 項目 | | 単価 | 数量 | 計 | 備考 |
| | | 研修会費 | 会議費（両日参加） | 3,000 | 26 | 78,000 |
| 参加費 | | | 4,000 | 39 | 156,000 | |
| その他 | | 九州ブロック活動助成金 | 200,000 | 1 | 200,000 | 日本赤十字社診療放射線技師会 |
| | | 前年度繰越金 | | | 141,771 | |
| 計 | | | | | 575,771 | |
| 支出 | 研修会費 | 会議費・参加費 | | | 434,041 | 会場費、参加費、退職者記念品を含む |
| | 講演・発表謝礼 | 謝礼 | | | 54,480 | 講師謝礼、交通費 |
| | 事務費 | 事務費 | | | 918 | 物品購入（ファイル等） |
| | | 通信費 | | | 6,316 | 案内、次期開催病院物品郵送費 |
| 計 | | | | | 495,755 | |
| 収支 | 収支差額 | | | | 80,016 | 次年度繰越金 |

3. 平成29年度一般会計決算報告書

平成29年度一般会計決算報告書

2018年3月31日現在 金額(円)

| 収 入 の 部 | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|--------------|
| 科目 | 29年度予算額 | 29年度決算額 | 増減 | 備考 |
| 会費 | 4,530,000 | 4,581,000 | 51,000 | 3,000×1,527名 |
| 入会金 | 90,000 | 60,000 | △ 30,000 | 1,000×60名 |
| HP広告収入 | 1,200,000 | 1,250,000 | 50,000 | 広告協賛 |
| 雑収入 | 2,000 | 15 | △ 1,985 | |
| 前年度繰越金 | 2,331,465 | 2,331,465 | 0 | |
| | | | | |
| 合計 | 8,153,465 | 8,222,480 | 69,015 | |

| 支 出 の 部 | | | | |
|----------|-----------|-----------|-------------|-----------------|
| 科目 | 29年度予算額 | 29年度決算額 | 増減 | 備考 |
| 総会費 | 110,000 | 128,700 | 18,700 | 総会運営費 |
| 会議費 | 2,200,000 | 1,942,417 | △ 257,583 | 全国理事会、常任理事会費 |
| 役員活動費 | 119,000 | 122,500 | 3,500 | 3,500×35名 |
| ブロック活動費 | 1,400,000 | 1,400,000 | 0 | 7ブロック |
| 渉外費(旅費) | 450,000 | 439,700 | △ 10,300 | |
| 表彰部費 | 250,000 | 195,391 | △ 54,609 | 賞状副賞・活動費 |
| 学術部費 | 40,000 | 32,294 | △ 7,706 | 活動費 |
| 専門部費 | 700,000 | 614,286 | △ 85,714 | 活動費 |
| 財務部費 | 50,000 | 43,133 | △ 6,867 | 活動費 |
| 組織調査部費 | 10,000 | 1,654 | △ 8,346 | 活動費 |
| 広報部費 | 50,000 | 32,998 | △ 17,002 | 活動費 |
| IT推進部費 | 50,000 | 19,102 | △ 30,898 | 活動費 |
| 災害医療支援部費 | 450,000 | 716,394 | 266,394 | 活動費 |
| 事務局費 | 300,000 | 332,503 | 32,503 | 活動費・慶弔費 |
| 学術総会助成金 | 40,000 | 25,766 | △ 14,234 | |
| HP管理運営費 | 600,000 | 410,400 | △ 189,600 | 構築サーバー利用費、会誌更新費 |
| HP特別積立金 | 500,000 | 500,000 | 0 | リニューアル用積立金 |
| 基金積立費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 積立て基金へ繰り出し |
| 予備費 | 734,465 | 0 | △ 734,465 | |
| 合計 | 8,153,465 | 7,057,238 | △ 1,096,227 | |

(収入8,222,480－支出7,057,238＝残金1,165,242)

残金 1,165,242 円は次年度に繰越し

日本赤十字社診療放射線技師会 会 長 安 彦 茂

財務部 長瀬 光臣

4. 平成29年度日本赤十字社診療放射線技師会 特別積立基金決算報告書

平成29年度日本赤十字社診療放射線技師会
特別積立基金決算報告書

2018年3月31日現在

| 科目 | 金額 | 備考 |
|-----------|---------|------------|
| 前年度繰越金 | 750,528 | |
| 定期預金利息 | 65 | 平成29年度分 |
| 平成29年度積立金 | 100,000 | 一般会計より繰り入れ |
| 合計 | 850,593 | |

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

5. 平成29年度日本赤十字社診療放射線技師会 HP特別積立基金決算報告書

平成29年度日本赤十字社診療放射線技師会
HP特別積立基金決算報告書

2018年3月31日現在

| 科目 | 金額 | 備考 |
|-----------|-----------|------------|
| 前年度繰越金 | 1,000,106 | |
| 定期預金利息 | 86 | 平成29年度分 |
| 平成29年度積立金 | 500,000 | 一般会計より繰り入れ |
| 合計 | 1,500,192 | |

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

【第三号議案】平成 29 年度監査報告

監査報告書

日本赤十字社診療放射線技師会会則第 15 条、26 条及び日本赤十字社診療放射線技師会基金運用規約第 7 条に基づき、平成 30 年 4 月 6 日 会長、副会長、財務担当理事等の関係役員立会の下、平成 29 年度の監査を実施しました。

1. 総括

平成 29 年度は、役員改選があり安彦新会長のもと、新たな役員も加わり事業を展開していきました。清水前会長が進めてきた本会活動の三本の矢（ホームページ・ブロック業務研修会・専門部）は、引続き継承されていると思われます。本社との連携、各ブロック業務研修会では補助的な関わりにて連動することができたことと存じます。また、SNS を活用し会員との相互交信し、日本赤十字社診療放射線技師会会員との絆を深めて行かれ、会の運営が遂行されたことを心から感謝申し上げます。

2. 事業

本会の事業は、日常の各施設の職務を全うしながらも執行部の努力にて平成 29 年度事業に基づき、遂行されたものと考えます。

今年度は、本会の事業の一つでもあります原子力災害活動に関する活動を災害医療支援部は各ブロック業務研修会において講義、また平成 27 年度より年間 2 回開催される緊急被ばく医療アドバイザー会議へ本会会員が理事を含め 10 名以上出席し本社との協議・連携しています。

また、各施設で行っているチーム医療の現状を取りまとめてもらいホームページでの紹介作業が大変であったことと推測されます。各役員が、年度事業を確実に遂行されたことに感謝申し上げます。

次年度も引き続き赤十字事業の発展に寄与し、会員相互の親睦を図り目的達成に必要な事業活動を行ってほしいと共に会員諸氏も活動へのご理解を賜りたいと存じます。

3. 会計

会長、副会長、財務担当理事の関係役員立会の下、金銭出納簿、各種請求書及び領収書、預金通帳等を照らし合わせた結果、出納簿等関係書類が適正に処理されていることを確認いたしました。

平成 30 年 4 月 6 日

日本赤十字社診療放射線技師会 監事  磯田康範

日本赤十字社診療放射線技師会 監事  戸口豊広

【第四号議案】平成 30 年度事業計画案

総括

今年度は、2月に韓国・平昌（ピョンチャン）で開催された冬季オリンピックにおいて、冬季の大会では過去最多のメダルを獲得し大いに盛り上がった。医療分野では、4月に医療の将来を左右する「医療と介護の同時改定」が実施されたが、これは 2025 年に団塊の世代が後期高齢者になることで起きる医療と介護の需要増に対応するだけでなく、将来を見据えた地域医療計画を地域毎に策定し実施していくスタートラインとなっている。全国組織の本会は、地域・規模・機能により各施設の診療内容が大きく異なっている上、医療需要の地域差もあり、今回の診療報酬の改定の影響は画一的ではない。しかし、どの施設も医療の質の向上と効率化は必須であり、本会で実施した各施設でのチーム医療の取り組みを参考にして質の向上に役立てていただければ幸いである。

今年度の本会の事業であるが、5月11日（金）12日（土）に学術総会を開催する他、例年同様に専門部活動、ブロック業務研修会、ホームページを活用した活動が大きな柱となっている。また、昨年度災害支援部で実施したブロック業務研修会での講演を、今年度は「国内災害対応について」をテーマにして予定している。その他、ベンチマーク調査を実施する年であるが、昨年度実施したベンチマーク調査に関するアンケートをもとにバージョンアップした内容で実施する予定である。新たに追加された教育部では、各専門部と連携しながら検討を行う予定である。施設代表者会議（仮称）について、昨年度実施した施設代表者会議（仮称）の開催に関するアンケートを参考にし、本社と連携し今年度以降に計画・実施したいと考えている。昨年度技師会のホームページに障害が発生し皆様にご迷惑をおかけしたが、ホームページのセキュリティー強化・使い勝手の向上等を盛り込んだ改修の準備を行いたい。その他、次々年度の学術総会の地方開催に向けて、開催場所の選定等の準備を行う。また、大規模災害発生時の病院業務支援については、本社と連携しながら継続して検討を行う予定である。

今年度も技師会ホームページを通じて、会員の皆様に情報発信を行うとともに会の運営状況を適宜にお伝えしながら引き続き活動を進めてまいりたい所存ですので、どうぞ一層のご協力をお願い申し上げます。また、本会の活動は、会員の皆様だけではなく日本赤十字社の各部門や企業の皆様のご厚情に支えられていることをご理解いただき、今後ともご協力いただくことをお願いしたい。

以上、平成 30 年度事業計画案の総括とする。

各部事業計画案

1. 総務部活動計画案

(1) 平成30年日本赤十字社診療放射線技師学術総会および第65回定期総会の開催

平成30年日本赤十字社診療放射線技師学術総会を東京国際フォーラムD-5ホールで平成30年5月11日（金）、5月12日（土）の二日間にわたり開催。そして第65回定期総会は平成30年5月11日（金）D-5ホールで、そして同日、情報交換会をガラス棟G-7にて開催予定である。

学術定期総会の開催会場および開催日、プログラム等については参加人数、会員アンケート結果により常任理事会で検討を行う。開催会場については、今後さらなる参加者の増加が見込まれ現在手狭となっており、ブロック開催（地方）を含めて検討中である。

(2) 平成30年学術定期総会予算報告

平成29年度理事会において、平成30年学術定期総会予算案が審議され全会一致で可決された。【第五号議案】平成30年度予算の特別会計に掲載。

(3) 平成30年度の日本赤十字社診療放射線技師会 常任理事会および理事会

常任理事会を3回および理事会を1回開催し、日赤技師会活動の検討事項、提案事項について審議を行う。それらの内容については、議事録を作成し速やかにホームページに掲載する。なお、必要があれば会長の指示のもと臨時常任理事会を管理メーリングリスト上で開催する。

○第1回常任理事会 平成30年7月中旬 開催予定

○第2回常任理事会 平成30年10月中旬 開催予定

○第3回常任理事会 平成31年2月中旬 開催予定

○理事会 平成31年4月初旬 開催予定

○臨時常任理事会 必要時に臨時開催

(4) 医療安全対策部会

医療安全対策部会の活動について、日赤本社会議に参加し医療安全全体のことを協議し、放射線に関することがあれば常任理事会およびホームページを通じ継続的に報告していく。

○医療安全対策部会 年2回開催予定（日程未定）

- ・転倒転落予防ワーキングを継続し、ガイドライン作成を行う。
- ・「赤十字医療施設における医療安全対策に関する調査について」検討
- ・医療安全にかかるデータの取り扱いについて検討
- ・平成30年度診療報酬改定に伴う情報発信、取り組みについて
- ・医療安全管理者養成研修（e-ラーニング、集合研修）プログラムの見直し等

2. 福利厚生

会員に祝電等の申請をしていただけるように広報していく。

3. 学術部活動計画案

平成30年日本赤十字社診療放射線技師学術総会の開催

平成30年5月11日（金）・12日（土）の2日間、東京国際フォーラムD-5にて開催予定である。テーマは「続・医療の質向上を目指して」とし、主な内容は本社講演、学術講演、教育講演、会員研究発表等を予定している。

4. 専門部活動計画案

- (1) 各施設からの専門部員登録の促進を図る。専門部の学術向上を基礎とするが、災害支援、医療安全、チーム医療と協調性の認識を強く高めることに努める。
- (2) 専門部世話人の更新
- (3) 各施設の技師長・課長との連携を図る

5. 災害医療支援部活動計画案

【国内災害】

- (1) ブロック業務研修会での講習

7ブロック中6ブロックの業務研修会にて、国内災害関連の講習会を行う。

- (2) 病院支援要員の対象拡大

昨年に引き続き、本社に対し病院支援要員の対象にメディカルスタッフを加えることを働きかける。

- (3) 可搬型デジタルX線撮影装置の有効利用

昨年に引き続き、本社救護福祉部との協議により、5台の可搬型デジタルX線撮影装置の配備施設を定めると共に、各ブロック内での有効利用方法を検討する

【原子力災害】

- (1) 緊急被ばく医療アドバイザーとして、引き続き日本赤十字社の原子力災害対応プロジェクトの中核として、他のアドバイザーのリーダーシップを執る。
- (2) 日本赤十字社原子力災害対応基礎研修会への運営協力。
- (3) 上記研修会の教材、資料の見直し。

【国際救援】

一つのブロック業務研修会にて、国際救援関連の講習会を行う。

6. 広報部活動計画案

(1) 電子会誌 10 号の作成

【会誌内容】

- ・特集テーマ「救急撮影」を予定
- ・施設紹介 未定
- ・技師長総括
- ・OB・OG 投稿欄
- ・チーム医療の取り組み
- ・本会の動き
 - ① 平成 30 年 日本赤十字社診療放射線技師学術総会
 - ② 平成 30 年 日本赤十字社診療放射線技師会 第 65 回定期総会 議事録
 - ③ 各ブロック業務研修会報告
 - ④ 災害医療支援部活動報告
 - ⑤ 専門部活動報告

7. IT 推進部活動計画案

(1) ホームページの変更および更新作業。

- ・会員登録・退会申請作業。
- ・会員 SNS のメーリングリスト整備。
- ・会員 SNS の共有ホルダー整理。
- ・画面構成の維持管理作業。

(2) ML の更新作業。

(3) 会員 SNS の早期復旧

- ・セキュリティ対策

8. チーム医療活動計画案

(1) 各施設のチーム医療の活動を全国の施設間で共有、展開を推進すべく、専門部はじめ各部と連携し、アンケート調査等を実施していく。またホームページ、電子会誌等を活用していく。

(2) 日本赤十字社医学会総会にて、チーム医療領域で技師会から演題発表を行う。

(3) 活動のまとめをホームページに掲載する。

9. 教育部活動計画案

(1) 教育についての現状把握を目的に、各施設にアンケート調査を行う。

(2) 専門部と連携し、教育プログラム等の作成準備を行う。

(3) 全国施設代表者会議（仮称）開催に向けて、日赤施設の教育制度やプログラムの資

料を準備する。

10. 組織調査部活動計画案

- (1) 新入会（予定）会員、退会会員、会員数等を調査し会員台帳の情報更新を行う。
- (2) 年間を通じて会員動向の把握に努める。
- (3) 技師長・課長メーリングリスト（ホットクロス ML）の登録情報について調査および管理を行う。
- (4) 平成 30 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会にて、総会に関するアンケート調査を実施する。
- (5) 平成 30 年度ベンチマーク調査を行う。

11. 表彰部活動計画案

日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程に則り、会員からの推薦および学術部との連携により本会に功績のあった会員および施設等の表彰を行う。
会員皆様の情報が重要ですので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

12. ブロック活動計画案

(1) 北海道ブロック

1. 技師長・課長・職務代行者会議

日 時：平成 30 年 4 月 21 日（土） 13：00～17：30 予定

場 所：札幌市 日本赤十字社北海道支部 北海道看護大学 サテライト室

2. 日本赤十字社診療放射線技師学術総会に会員派遣

日 時：平成 30 年 5 月 11 日（金）～12 日（土）

場 所：東京都 東京国際フォーラム

3. 第 28 回北海道ブロック業務研修会並びに総会

日 時：平成 30 年 9 月 29 日（土）～9 月 30 日（日）予定

会 場：未定

開催内容：詳細未定

(2) 東北ブロック

1. 東北ブロック業務研修会・施設代表者会議

日 時：平成 30 年 10 月 13 日（土）

会 場：仙台市

開催内容：詳細未定

(3) 東部ブロック

1. 第 1 回東部ブロック施設代表者会議
日 程：平成 30 年 4 月 27 日（金） 13：00～開催予定
会 場：さいたま赤十字病院
2. 第 31 回東部ブロック業務研修会
日 程：平成 30 年 11 月 17 日（土）～18 日（日）
会 場：さいたま赤十字病院
開催内容：詳細未定

(4) 中部ブロック

1. 第 9 回中部ブロック業務研修会
日 時：平成 30 年 9 月 8 日（土）13：00～9 日（日）13：00
会 場：富山赤十字病院 看護学校 3 階講堂
開催内容：詳細未定
2. 第 5 回中部ブロック技師長・責任者会議
日 時：平成 30 年 11 月 8 日（木）13：00～9 日（金）13：00（予定）
会 場：諏訪赤十字病院 研修センター
開催内容：詳細未定

(5) 近畿ブロック

1. 第 1 回近畿ブロック施設代表者会議
日 時：平成 30 年 9 月～10 月 開催予定
会 場：大阪赤十字病院
2. 第 27 回近畿ブロック業務研修会・第 2 回近畿ブロック施設代表者会議
日 程：平成 31 年 2 月 予定
会 場：長浜赤十字病院
開催内容：詳細未定

(6) 中四国ブロック

1. 中国・四国ブロック施設代表者会議
日 時：平成 31 年 2 月頃 開催予定
会 場：徳島赤十字病院

2. 中国・四国ブロック業務研修会

日 程：平成 31 年 2 月頃 予定

会 場：徳島赤十字病院

開催内容：詳細未定

(7) 九州ブロック

1. 第 19 回九州ブロック業務研修会・施設代表者会議

日 時：平成 30 年 10 月 20 日（土）～21 日（日）

会 場：長崎市内（未定）

当番病院：長崎原爆病院

開催内容：詳細未定

【第五号議案】

1. 平成30年学術定期総会予算案

特別会計

平成30年 日本赤十字社診療放射線技師学術総会 収支予算

期間 : 自 平成30年5月11日 (金)

至 平成30年5月12日 (土)

会場 : 東京国際フォーラム

【収入の部】

金額 (円)

| 項目 | 予算額 | 備考 |
|--------------|-----------|-------------|
| 参加登録費 | 1,160,000 | 8,000円×145名 |
| 会員情報交換会参加費 | 240,000 | 2,000円×120名 |
| 協賛企業情報交換会参加費 | 250,000 | 10,000円×25名 |
| 学術総会助成金 | 50,000 | |
| 計 | 1,700,000 | |

【支出の部】

金額 (円)

| 項目 | 予算額 | 備考 |
|--------|-----------|---------------------|
| 会場費 | 297,000 | 東京国際フォーラムD-5、備品使用料含 |
| 情報交換会費 | 840,000 | 東京国際フォーラムG-7 |
| 運営費 | 366,000 | ランチョンセミナー (会員お弁当代) |
| 招聘費 | 75,000 | 講師謝金、旅費 |
| 会議費 | 50,000 | 準備委員、座長謝礼 |
| 学術発表賞費 | 25,000 | 図書カード |
| 諸経費 | 22,000 | 備品 |
| 雑費 | 25,000 | 懸垂幕、郵送費等 |
| 計 | 1,700,000 | |

(セミナー企業の支払い分75万円を除く)

2. 平成30年度予算(案)

平成30年度一般会計予算(案)

金額(円)

| 収 入 の 部 | | | | |
|---------|-----------|-----------|-------------|--------------|
| 科目 | 29年度予算額 | 30年度予算案 | 増減 | 備考 |
| 会費 | 4,530,000 | 4,650,000 | 120,000 | 3,000×1,550名 |
| 入会金 | 90,000 | 95,000 | 5,000 | 1,000×95名 |
| HP広告収入 | 1,200,000 | 1,300,000 | 100,000 | 広告協賛 |
| 雑収入 | 2,000 | 2,000 | 0 | |
| 前年度繰越金 | 2,331,465 | 1,165,242 | △ 1,166,223 | |
| | | | | |
| | | | | |
| 合計 | 8,153,465 | 7,212,242 | △ 941,223 | |

| 支 出 の 部 | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|---------------|
| 科目 | 29年度予算額 | 30年度予算案 | 増減 | 備考 |
| 総会費 | 110,000 | 110,000 | 0 | 総会運営費 |
| 会議費 | 2,200,000 | 2,150,000 | △ 50,000 | 全国理事会, 常任理事会 |
| 役員活動費 | 119,000 | 122,500 | 3,500 | 3,500×35名 |
| ブロック活動費 | 1,400,000 | 1,400,000 | 0 | 200,000×7ブロック |
| 渉外費(旅費) | 450,000 | 400,000 | △ 50,000 | 本社、ブロック関連、その他 |
| 表彰部費 | 250,000 | 350,000 | 100,000 | 賞状副賞・活動費 |
| 学術部費 | 40,000 | 40,000 | 0 | 活動費 |
| 専門部費 | 700,000 | 50,000 | △ 650,000 | 活動費 |
| 財務部費 | 50,000 | 50,000 | 0 | 活動費 |
| 組織調査部費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 活動費 |
| 広報部費 | 50,000 | 40,000 | △ 10,000 | 活動費 |
| IT 推進部費 | 50,000 | 50,000 | 0 | 活動費 |
| 災害医療支援部費 | 450,000 | 500,000 | 50,000 | 活動費 |
| 事務局費 | 300,000 | 350,000 | 50,000 | 活動費・慶弔費 |
| 学術総会助成金 | 40,000 | 50,000 | 10,000 | 学術総会運営費の不足分 |
| HP管理運営費 | 600,000 | 500,000 | △ 100,000 | サーバー利用費、年間保守 |
| HP特別積立金 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 基金積立費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 予備費 | 734,465 | 439,742 | △ 294,723 | |
| 合計 | 8,153,465 | 7,212,242 | △ 941,223 | |

以上、日本赤十字社診療放射線技師会 平成30年度予算(案)を報告します

日本赤十字社診療放射線技師会 会 長 安 彦 茂

財 務 部 長 瀬 光 臣

【第六号議案】 その他

1. 会費納入規約の改正等について

【現行】

日本赤十字社診療放射線技師会会費納入規約

(目的)

第 1 条

この規約は会費の納入について必要事項を定める。

(会費等)

第 2 条

会則第 24 条の会費は年額 3,000 円、入会金は 1,000 円とし入会時に納入するものとする。

(会費納入期限)

第 3 条

会費は会則第 7 条に基づき納入するものとする。

(会員資格喪失および復権)

第 4 条

会費 3 年間未納者については退会とし、再入会金は 10,000 円とする。

(会費の免除及び申請)

第 5 条

本会会員の会費免除に関する規定

1. 本会会員で病氣療養・産休育児休業・海外派遣で 12 ヶ月以上離職した者は、本規約の定めるところにより、会費免除の取り扱いを受けることができる。
2. 本会会員で災害による被災の場合、会費免除の取り扱いを受けることができる。

【改正案】

日本赤十字社診療放射線技師会会費納入規約

(目的)

第 1 条

この規約は日本赤十字社診療放射線技師会会則第 6 条及び第 7 条に基づく入会金及び会費について必要な事項を定める。

(入会金及び会費)

第 2 条

会員が納入しなければならない会費は次のとおりとする。

- (1) 入会金 1,000 円
- (2) 年会費 3,000 円

(会費納入期限)

第 3 条

会費は会則第 7 条に基づき納入するものとする。

(会員資格の喪失及び復権)

第 4 条

会費を 3 年間滞納した者は退会とみなし会員資格を喪失する。

2 前項の規定により会員資格を喪失した元会員が再入会するときは滞納会費と当該年度の会費を納めるものとする。

(会費の免除)

第 5 条

会員が次の各号のいずれかに該当する場合は会費免除の取り扱いを受けることができる。

- (1) 産前産後休暇及び育児休業、公症任務、その他の事由等による 12 ヶ月以上の休職。
- (2) 天災その他災害をこうむったとき。

(会費の免除申請)

| | |
|--|---|
| <p>3. <u>第 1 項から 2 項の規定に基づき、会費免除の取り扱いを受けようとする者は、所定の書式に必要な証明書を添え本会に申請するものとする。</u></p> <p>4. <u>会費免除の可否は常任理事会に諮り承認を得るものとする。</u></p> <p>5. <u>免除及び免除期間は常任理事会で決定し、2 カ年を超えないものとする。</u></p> <p>6. <u>ただし、天災地変、重大な事故、疾病その他これらに類する事象により被災した場合であって、常任理事会に諮ることができない場合は、会長の判断によって当該年度の会費を免除することができる。この場合、後日の常任理事会に報告し承認を得るものとする。</u></p> <p>(改廃)</p> <p>第 6 条 この規約は理事会に諮り総会の承認を得るものとする。</p> <p>附 則 この規定は昭和 28 年 11 月 16 日より施行する。</p> | <p>第 6 条 <u>会費免除の申請は当該会員が所属する組織の長（以下「所属長」という）がこれを行う。</u></p> <p>2 <u>所属長は所定の書式に必要な事項を記入し本会に申請する。</u></p> <p>(免除期間)</p> <p>第 7 条 <u>免除期間は 3 カ年を超えないものとする。</u></p> <p>(承認)</p> <p>第 8 条 <u>第 4 条に定める会員資格の喪失及び復権について、第 6 条に定める会費の免除申請について、第 7 条に定める免除期間について、その他必要な事項については常任理事会で審議しこれを承認する。</u></p> <p>2 <u>第 5 条第 2 号の場合において会費免除の申請が困難な場合又は常任理事会の審議が困難な場合に限り会長の判断によって会費を免除することができる。</u></p> <p>3 <u>前項の場合において会長は常任理事会に報告し承認を得るものとする。</u></p> <p>(改廃)</p> <p>第 9 条 この規約は理事会に諮り総会の承認を得るものとする。</p> <p>附 則 この規定は昭和 28 年 11 月 16 日より施行する。</p> |
|--|---|

| | |
|---|--|
| 昭和 58 年 10 月 26 日改正 昭和 62 年 8 月 27 日改正 平成 2 年 4 月 5 日改正 平成 10 年 5 月 28 日改正 平成 24 年 5 月 31 日改正 平成 26 年 5 月 23 日改正 | 昭和 58 年 10 月 26 日改正 昭和 62 年 8 月 27 日改正 平成 2 年 4 月 5 日改正 平成 10 年 5 月 28 日改正 平成 24 年 5 月 31 日改正 平成 26 年 5 月 23 日改正 平成 30 年 月 日改正 |
|---|--|

2. 日本赤十字社診療放射線技師会会則の改正について

【現行】

【改正案】

| 日本赤十字社診療放射線技師会会則 | 日本赤十字社診療放射線技師会会則 |
|---|--|
| <p>第 1 章 総則</p> | <p>第 1 章 総則</p> |
| <p>(略)</p> | <p>(略)</p> |
| <p>(入会)</p> | |
| <p>第 6 条 本会に入会しようとする者は、会長に対し、所定の入会届により入会申請し、常任理事会で承認を受けなければならない。但し、入会金及び当該年度の会費を納入確認後、入会とする。</p> | |
| <p>(会費)</p> | |
| <p>第 7 条 正会員は別に定める会費をその年度当初に納めるものとする。</p> | <p>(略)</p> |
| <p>(拠出金等の不返還)</p> | <p>(拠出金等の不返還)</p> |
| <p>第 10 条 <u>退会または除名された会員がすでに納入した会費は返還しない。</u></p> | <p>第 10 条 <u>会員が納入した</u>会費は返還しない。</p> |
| <p>(略)</p> | <p>(略)</p> |
| <p>第 5 章 資産及び会計 (資産の構成)</p> | |
| <p>第 24 条 本会の資産は、次に掲げるものをもって構成する。 1. 会費及び入会金 2. 資産より生ずる収入 3. その他の収入</p> | |

| | |
|--|---|
| (略) | (略) |
| 附則 この会則は昭和 28 年 11 月 15 日より施行する。 | 附則 この会則は昭和 28 年 11 月 15 日より施行する。 |
| 昭和 62 年 8 月 27 日改正 平成 10 年 5 月 28 日改正 平成 21 年 6 月 8 日改正 平成 26 年 5 月 23 日改正 平成 28 年 6 月 3 日改正 | 昭和 62 年 8 月 27 日改正 平成 10 年 5 月 28 日改正 平成 21 年 6 月 8 日改正 平成 26 年 5 月 23 日改正 平成 28 年 6 月 3 日改正 平成 30 年 月 日改正 |

第 65 回 日本赤十字社診療放射線技師会 定期総会議事録

1. 日 時：平成 30 年 5 月 11 日（金）15：50～17：10
2. 会 場：〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1 東京国際フォーラム ホール D-5
3. 出席者：日本赤十字社診療放射線技師会 会員 146 名
4. 議事録作成人：総務部常任理事 山本 晃司
5. 総会次第
 - ① 開会の辞
 - ② 会長挨拶
 - ③ 表 彰
 - ④ 総会議事運営報告
 - ⑤ 議長選出
 - ⑥ 議事録署名人選出、採決係り任命
 - ⑦ 議事

| | |
|-------|-----------------|
| 第一号議案 | 平成 29 年度事業経過報告 |
| 第二号議案 | 平成 29 年度決算報告 |
| 第三号議案 | 平成 29 年度監査報告 |
| 第四号議案 | 平成 30 年度事業計画（案） |
| 第五号議案 | 平成 30 年度予算計画（案） |
| 第六号議案 | その他 |
 - ⑧ 議長解任
 - ⑨ 閉会の辞

総会次第に基づいて開会の辞、安彦会長の挨拶のあと議事審議へと続いた。

審議に入る前に、定期総会資料 9 ページの専門部報告「(2)各部門と連携し・・・話題提供の予定である。」及び、20 ページの東部ブロック研修会「会議費（両日参加）数量 68 計 544,000」への訂正が執行部よりなされた。（下線部に訂正）

- 表彰式は委員長の中山理事により執り行われ、功労賞 25 名、奨励賞 6 名、施設奨励賞 1 施設が表彰された。（敬称略、順不同）

※功労賞被表彰者 25 名

（旭川）増田安彦、（釧路）工藤武志、（北見）相澤幹也、（芳賀）山田隆幸、（前橋）久保田利夫、（小川）古川富男、（深谷）清水文孝、（富山）安川孝光、（富山）古野吉尋、（福井）平井克彦、（福井）若松敬一郎、（名古屋第二）瀬口繁信、（名古屋第二）駒井一洋、（名古屋第二）杉本美津夫、（大津）沢尾誠、（大津）津田康弘、（大津）久嶋康秀、（長浜）三輪和弥、（京都第一）井上孝、（京都第一）木下伸治、（神戸）小野寺尚、（松江）坂本晴夫、（山口）中川明、（福岡）山口英雄、（福岡）馬場啓介

※奨励賞被表彰者 6 名

（足利）大川公利、（小川）田中達也、（高山）今井文晴、（高山）中井良則、（神戸）辻居賢一（高松）山花大典

※奨励賞被表彰施設 1 施設

足利赤十字病院

- 総会議事運営報告（資格審査報告）が事務局の大竹理事より行われた。
本日の出席者 146 名、委任状提出者 1,300 名、合計 1,446 名を確認し、
会則第 20 条に基づき本総会は成立と報告された。
 - 議長選出について会場より立候補がないため、総会参加者の中から旭川赤十字病院 増田安彦氏、北見赤十字病院 相澤幹也氏の 2 名が執行部より推薦され拍手をもって承認された。
 - そして、議長から議事録署名人・採決係りに 4 名が任命され、会場からの拍手をもって全員が承認された。
議事録署名人に、広島赤十字・原爆病院 田中久善氏、姫路赤十字病院 井手充浩氏。
採決質疑記録係に、さいたま赤十字病院 上田喜一氏、京都第二赤十字病院 大寫啓貴氏。
 - 議長、増田氏の進行により議事に入った。（第一号議案から第三号議案）
 - 1、第一号議案から第三号議案まで一括して執行部より報告。
報告後、質疑応答に入った。
 - ✚ 第二号議案について、大津赤十字病院 金田氏より質問がなされた。
（金田氏）学術総会特別会計において、セミナー企業の支払い分 75 万円を除くとあるが、これはどのような意味か？
（安彦会長）セミナー企業からの開催協賛金であるが、技師会に入金されるのではなく、東京国際フォーラムに会場使用料として直接払っていただいている。その理由は、会の収支決算に含め処理をしてしまうと、金額が増え税制上の問題が起こってしまうからである。
 - ✚ 第一号議案そして第二号議案について、日本赤十字社医療センター 小山氏より質問がなされた。
（小山氏）第一号議案の会員動向報告で、平成 30 年 2 月 16 日現在の新入会員は 13 名であるが、第二号議案の会計収支報告で、平成 30 年 3 月 31 日現在の新入会員（入会金）は 60 名と記載されているが、年度末の入会が多かったという事か？
（中井理事）年度末の入会登録者が多く、60 名の新入会員登録者数となっている。
議長の進行により挙手で採決に入った。
- ※第一号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 146)。第一号議案は全会一致で可決された。
委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,446)
- ※第二号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 146)。第二号議案は全会一致で可決された。
委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,446)
- ※第三号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 146)。第三号議案は全会一致で可決された。
委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,446)

議長を相澤氏に交代し議事を進めた。（第四号議案から第六号議案）

- 2、第四号議案および第五号議案について執行部より報告。
報告後、質疑応答に入った。
質疑なし。議長の進行により挙手で採決に入った。
- ※第四号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 146)。第四号議案は全会一致で可決された。
委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,446)
- ※第五号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 146)。第五号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,446)

3、第六号議案について正者副会長より報告。

(①会費納入規約の改正等について②会則の改正について)

報告後、質疑応答に入った。

名古屋第一赤十字病院 礫石氏より、①会費納入規約の改正等について質問がなされた。(礫石氏) 会費納入規約第7条「会費の免除期間は3年を超えないもの」とあるが、産前産後及び育児休業について、その解釈をお聞きしたい。

(正者副会長) 育児休暇で休まれている期間について、会費の免除となる。

(礫石氏) 第一子そして第二子と続けて育休となるケース、第一子と第二子の間で1年間だけ復職し育休になるケースの場合、その会費免除期間はどうか?

(正者副会長) 続けて育休を取得する場合は、3年間を超えない期間で会費の免除。会費免除が一度適応されても、12ヶ月以上休職した場合は何度でも申請可能である。育休の取得期間また方法は、各施設の規定によって違ってくると思う。

長浜赤十字病院 松井氏より、①会費納入規約の改正等について質問がなされた。

(松井氏) 第2条 入会金の解釈について教えていただきたい。私の認識は入会資格を得るために1,000円を払っていると考えている。

(正者副会長) その考えで間違いはない。

(松井氏) 第4条「会費を3年間滞納した者は退会とみなし会員資格を喪失する。」とある。次に「再入会するときは滞納会費と当該年度の会費を納めるものとする。」であるが、その金額は3,000円×3年間で9,000円となり、改正前の再入会金10,000円と齟齬が出る。会員資格を喪失し再入会する場合は、改正前の規約が合っているように思う。

(正者副会長) 理事会でも質問と同じ内容で意見が出され検討したが、退会届を提出し正式な手続きを踏み退会された会員と、会費を滞納し資格を喪失した会員とを区別するために、第4条の改正案を提出させていただいた。

(松井氏) そうであれば、入会資格を得るための入会金1,000円の意味合いが違ってくると思う。

(正者副会長) 滞納会費と当該年度の会費、さらに入会金1,000円を追加し再入会金とするのか、また理事会で検討させていただきたい。

※第六号議案の採決結果(否決 0、保留 1、賛成 145)。第六号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 16、賛成 1,430)

以上にて議事を全て終了し議長は解任され、閉会の辞のあと総会は終了となった。

以上

議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、議事録署名人、議長は次のとおり署名押印する。

平成 30 年 6 月 22 日

議事録署名人

田中 久善

井手 充浩

定期総会議長

増田 安彦

相澤 幹也

定期総会

令和元年度

第 66 回 日本赤十字社診療放射線技師会 定期総会議事録

1. 日 時：令和元年 5 月 31 日（金）15：30～17：00
2. 場 所：〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1 東京国際フォーラム ホール D-5
3. 出席者：日本赤十字社診療放射線技師会 会員 139 名
4. 議事録作成人 事務局常任理事 大竹 寛
5. 総会次第
 - (1) 開会の辞
 - (2) 会長挨拶
 - (3) 表 彰
 - (4) 総会議事運営報告
 - (5) 議長選出
 - (6) 議事録署名人選出、採決係り任命
 - (7) 議事
 - 第一号議案 平成 30 年度事業経過報告
 - 第二号議案 平成 30 年度決算報告
 - 第三号議案 平成 30 年度監査報告
 - 第四号議案 平成 31 年度事業計画（案）
 - 第五号議案 平成 31 年度予算計画（案）
 - 第六号議案 その他
 - (8) 議長解任
 - (9) 閉会の辞

総会次第に基づいて開会の辞、安彦会長の挨拶のあと議事審議へと続いた。

- ・ 表彰式は委員長の中山理事により執り行われ、功労賞 29 名、奨励賞 2 名、施設奨励賞 4 施設が表彰された。

※功労賞被表彰者 29 名

(敬称略、順不同)

| | | |
|--------------|-------------|-------------|
| (旭 川) 東堂 剛三 | (栗 山) 大野 修 | (石 巻) 嶋田 雅博 |
| (水 戸) 山縣 徳治 | (芳 賀) 武藤 美子 | (足 利) 中里 明 |
| (さいたま) 市川 誠二 | (小 川) 小林 教浩 | (みなと) 宮沢 明 |
| (長 岡) 入澤 佳弘 | (長 岡) 田村 博文 | (長 岡) 地崎 純一 |
| (安曇野) 茅野 充治 | (下伊那) 伊藤 保 | (高 山) 中田 幸博 |
| (名 一) 筒井 倫雄 | (名 一) 大西 勝治 | (名 二) 黒木 荘八 |
| (伊 勢) 中野 和彦 | (長 浜) 橋本 清和 | (京 二) 木村 嘉則 |
| (鳥 取) 磯見 正美 | (松 江) 岡 俊一 | (岡 山) 梶谷 努 |

(高松) 高橋 徹 (高松) 安部 淳子 (唐津) 平田 一英
(熊本) 濱田 勝徳 (熊本) 耕 仁征

※奨励賞被表彰者 2名

(石巻) 及川 林 (神戸) 小川 宗久

※奨励賞被表彰施設 4施設

石巻赤十字病院 ・ 高山赤十字病院 ・ 日本赤十字社和歌山医療センター
広島赤十字・原爆病院

- ・ 総会議事運営報告(資格審査報告)が事務局の大竹理事より行われた。
本日の出席者139名、委任状提出者1,373名、合計1,512名を確認し、会則第20条に基づき本総会は成立と報告された。
- ・ 議長選出について会場より立候補がないため、執行部から姫路赤十字病院 井手 充浩氏、高槻赤十字病院 松原 健夫 氏の2名が推薦され拍手をもって承認された。
- ・ 議長から議事録署名人2名・採決質疑記録係2名が任命され、拍手をもって承認された。議事録署名人に、秋田赤十字病院 三浦 司 氏、福島赤十字病院 海藤 隆紀 氏。採決質疑記録係に、神戸赤十字病院 福嶋 英人 氏、高知赤十字病院 小松 悠哉 氏。
- ・ 議長井手 氏の進行により議事に入った。(第一号議案から第三号議案)

1. 第一号議案から第三号議案まで一括して執行部より報告。

報告後、質疑応答に入った。

質疑なし。議長の進行により採決に入った。

※第一号議案の採決結果(否決0、保留0、賛成139)。第一号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決0、保留0、賛成1,512)

※第二号議案の採決結果(否決0、保留0、賛成139)。第二号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決0、保留0、賛成1,512)

※第三号議案の採決結果(否決0、保留0、賛成139)。第三号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決0、保留0、賛成1,512)

議長を松原氏に交代し議事を進めた。(第四号議案から第六号議案)

2. 第四号議案および第五号議案について執行部より報告。

報告後、質疑応答に入った。

質疑なし。議長の進行により採決に入った。

※第四号議案の採決結果(否決0、保留0、賛成139)。第四号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決0、保留0、賛成1,512)

※第五号議案の採決結果(否決0、保留0、賛成139)。第五号議案は全会一致で可決された。

委任状を換算(否決0、保留0、賛成1,512)

3. 第六号議案について正者副会長より報告。

(①表彰規程改正について、②会費納入規約改正案について)

※第六号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 139)。第六号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,512)

以上にて議事を全て終了し議長は解任され、閉会の辞のあと総会は終了となった。

以上

議事の経過概要並びに結果を明確にするため本議事録を作成し、議事録署名人及び議長は次のとおり署名押印する。

令和元年 7 月 1 日

議事録署名人

_____ 三浦 司 ⑩

_____ 海藤 隆紀 ⑩

定期総会議長

_____ 井手 充浩 ⑩

_____ 松原 健夫 ⑩

定期総会

令和2年度



第 67 回定期総会資料

表 彰

議 事

【第一号議案】 令和元年度事業経過報告・決算報告
令和元年度監査報告

【第二号議案】 令和 2 年度事業計画・予算案

日本赤十字社診療放射線技師会

表 彰
会員各位

日本赤十字社診療放射線技師会
会 長 安彦 茂
表彰委員長 中山 進

日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程により、顕著な功績があったので表彰します。

令和2年功労書被表彰者

(表彰規程第2条の1)

| | |
|--------------|-------|
| 釧路赤十字病院 | 相山 幸紀 |
| 仙台赤十字病院 | 横山 高広 |
| 足利赤十字病院 | 久保田健夫 |
| 深谷赤十字病院 | 笠井 久幸 |
| 日本赤十字社医療センター | 竹内 宏 |
| 大森赤十字病院 | 樋口 新一 |
| 長岡赤十字病院 | 鈴木 光男 |
| 長野赤十字病院 | 大塚 亨 |
| 名古屋第一赤十字病院 | 大滝 司 |
| 名古屋第二赤十字病院 | 亀谷 健一 |
| 大津赤十字病院 | 森田 光正 |
| 大津赤十字志賀病院 | 猪飼 正夫 |
| 京都第一赤十字病院 | 福田 勤也 |
| 京都第二赤十字病院 | 河本 勲則 |
| 鳥取赤十字病院 | 池原 準 |
| 松江赤十字病院 | 磯田 康範 |
| 益田赤十字病院 | 増野 利政 |
| 岡山赤十字病院 | 有森 秀夫 |
| 広島赤十字・原爆病院 | 田中 久善 |
| 高松赤十字病院 | 安部 一成 |
| 松山赤十字病院 | 水口 司 |
| 松山赤十字病院 | 池本 俊成 |
| 松山赤十字病院 | 久 武 |

(敬称略、順不同)

令和 2 年奨励賞被表彰者および被表彰施設

(表彰規程第 2 条の 2)

個人表彰の部

| | |
|-----------------|-------|
| 深谷赤十字病院 | 高柳 幸恵 |
| 武蔵野赤十字病院 | 小川 亮 |
| 日本赤十字社和歌山医療センター | 石原 佳知 |

(敬称略、順不同)

施設表彰の部

該当なし

令和 2 年感謝状被贈呈者および感謝状被贈呈施設・企業

(表彰規程第 2 条の 3)

該当なし

【第一号議案】令和元年度事業経過報告

総括

元号が平成から令和に変わった 2019 年度は、厚生労働省が 9 月に市町村などが運営する公立病院と日本赤十字社などが運営する公的病院の 25%超にあたる全国 424 の病院について「再編統合について特に議論が必要」とする分析をまとめ、病院名を公表した。赤十字病院が 24 施設含まれており、今後各都道府県の地域医療計画の中で検討し対応するよう求められるだろう。また、赤十字全体の決算がここ数年赤字状態であり、早急に地域の医療情勢を分析した上でより一層の経営改善の取り組みが必要となっている。2019 年の年末に中国で発生し爆発的に感染拡大をした新型コロナウイルスは、現在日本国内での発生はある程度抑えられているが、特に欧米で発生数が急速に拡大しているため、WHO がパンデミックの宣言をした。国内でもクラスターが各地で発生しており、全く予断の許さない状況が続いている。この感染は長期化することが予想されていることと、通常診療で来院する患者の中にも感染者がいる可能性があることから、我々診療放射線技師は新型コロナウイルス対応時以外の通常撮影においても、スタンダード・プリコーションを行うように求められている。

この様な厳しい医療情勢ではあるが、本会では 5 月 31 日（金）5 月 1 日（土）に東京国際フォーラムでメインテーマを「被ばく低減」とした学術総会を開催した他、例年同様、全国 7 ブロックで研修会が開催された。その他、治療専門部の研修会開催、ホームページを利用した活動等を実施した。また、2020 年度に大阪で開催を予定している学術総会に向け、視察を兼ねて常務理事会を学術総会開催予定の会場で開催した。

各ブロック研修会では、災害支援部が「国際・国内・原子力災害について」をテーマにして講演を行った。また、組織調査部ではベンチマーク調査についてのアンケートを実施し報告を行った。その他、チーム医療について学術総会で各施設の紹介を報告した他、第 55 回日赤医学会総会本社企画「チーム医療推進」実践報告において、本会から推薦を受けた高山赤十字病院が診療放射線技師のチーム医療への取り組みを発表した。また、専門部では、治療専門部が研修会を開催した。

本会では日赤のスケールメリットを生かした取り組みの一つとして、本社医療支援部と協働で放射線機器の共同購入に対し協力してきた。本社では、今年度よりより一層スケールメリットが得られるように、放射線機器の共同購入を国立病院機構、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）、労働者健康安全機構（労災病院）がグループで実施している共同入札に令和 2 年度入札分から加わることになったが、本会からアドバイザーという形で継続して協力を行った。

各部の活動については各担当より説明させていただくこととするが、例年より本会の活動にご支援をいただいている日本赤十字本社、物心両面にて支援をいただいている各メーカーに深謝し、2019 年度の総括とする。

平成 31・令和元年度 会長・副会長行動録

会 長 安 彦 茂

平成 31 年 4 月 5 日

平成 30 年度日本赤十字社診療放射線技師会理事会 (日本赤十字社 本社)

平成 31 年 4 月 12・13 日

第 75 回日本放射線技術学会総会学術大会

平成 31 年 4 月 17 日

日本赤十字社医学会評議委員会 (日本赤十字社 本社)

令和元年 5 月 31 日

令和元年日本赤十字社診療放射線技師学術総会 (東京国際フォーラム)

令和元年 6 月 20 日

令和元年度第 1 回日本赤十字社 医療の質向上委員会 (日本赤十字社 本社)

令和元年 7 月 5 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (ホテルメルパレク大阪)

令和元年 9 月 7・8 日

第 10 回中部ブロック業務研修会 (静岡赤十字病院)

令和元年 9 月 14・15・16 日

第 35 回日本診療放射線技師会学術大会 (さいたま市)

令和元年 9 月 28 日

東北ブロック業務研修会 (盛岡赤十字病院)

令和元年 10 月 5 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (深谷赤十字病院)

令和元年 10 月 17・18 日

日本赤十字社医学会総会 (広島市)

令和元年 11 月 2・3 日

第 9 回中四国ブロック業務研修会 (高知赤十字病院)

令和元年 11 月 6 日

大型医療機器の共同入札にかかる説明会 (国立病院機構本部)

令和元年 11 月 9・10 日

第 32 回東部ブロック業務研修会 (足利赤十字病院)

令和元年 11 月 15 日

令和元年度第 2 回日本赤十字社 医療の質向上委員会 (日本赤十字社 本社)

令和元年 11 月 16 日

第 6 回中部ブロック技師長・責任者会議 (名古屋第二赤十字病院)

令和元年 12 月 9 日

大型医療機器の共同入札にかかる共同入札検討会 (国立病院機構本部)

令和 2 年 1 月 11・12 日

第 20 回九州ブロック業務研修会 (日本赤十字社熊本健康管理センター)

令和 2 年 2 月 1・2 日

第 28 回近畿ブロック業務研修会 (神戸赤十字病院・ホテル北野プラザ六甲荘)

副会長 正者 智昭

平成 31 年 4 月 5 日

平成 30 年度日本赤十字社診療放射線技師会理事会 (日本赤十字社 本社)

令和元年 5 月 31 日

令和元年日本赤十字社診療放射線技師学術総会 (東京国際フォーラム)

令和元年 7 月 5 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (メルパルク大阪)

令和元年 10 月 5 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (深谷赤十字病院)

令和元年 11 月 6 日

令和 2 年度医療機器共同入札製品説明会 (国立病院機構本部)

令和元年 12 月 9 日

令和 2 年度医療機器共同入札検討会 (国立病院機構本部)

令和 2 年 1 月 31 日

災害医療支援部会 (兵庫県災害医療センター)

令和 2 年 2 月 1・2 日

第 28 回近畿ブロック業務研修会 (神戸赤十字病院・ホテル北野プラザ六甲荘)

令和 2 年 2 月 7 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 3 回常任理事会 (日本赤十字社 本社)

副会長 竹安 直行

平成 31 年 4 月 5 日 (金)

平成 30 年度日本赤十字社診療放射線技師会理事会 (日本診療放射線技師会)

令和元年 5 月 31 日 (金) ~6 月 1 日 (土)

令和元年日本赤十字社診療放射線技師学術総会 (東京国際フォーラム)

令和元年 7 月 5 日 (金)

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (日本赤十字社 本社)

令和元年 10 月 5 日 (土)

日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (深谷赤十字病院)

令和元年 11 月 9 日 (土) ~10 日 (日)

第 32 回東部ブロック業務研修会 (足利赤十字病院)

令和元年 11 月 16 日 (土)

診療放射線技師養成機関・職能団体との懇親会について

主催；日本診療放射線技師会 (日本赤十字社診療放射線技師会事務所)

令和 2 年 1 月 25 日 (土)

放射線治療部会研修会 (日本赤十字社医療センター)

令和 2 年 2 月 7 日 (金)

日本赤十字社診療放射線技師会第 3 回常任理事会 (日本赤十字社 本社)

副会長 荒井 一正

平成 31 年 4 月 5 日

平成 30 年度日本赤十字社診療放射線技師会理事会 (日本赤十字社 本社)

令和元年 5 月 28 日

第1回チーム医療の推進に関するガイドライン検討WG (日本赤十字社 本社)

令和元年 5 月 31 日

令和元年日本赤十字社診療放射線技師学術総会 (東京国際フォーラム)

令和元年 7 月 5 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (ホテルメルパルク大阪)

令和元年 10 月 1 日

第2回チーム医療の推進に関するガイドライン検討WG (日本赤十字社 本社)

令和元年 10 月 5 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (深谷赤十字病院)

令和元年 11 月 16 日

診療放射線技師養成機関・職能団体との懇親会について

主催；日本診療放射線技師会 (日本赤十字社診療放射線技師会事務所)

令和 2 年 2 月 7 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 3 回常任理事会 (日本赤十字社 本社)

令和 2 年 3 月 10 日

第 3 回チーム医療の推進に関するガイドライン検討 WG (日本赤十字社 本社)

令和元年度

各部事業経過報告

1. 総務部活動報告

(1) 第 66 回日本赤十字社診療放射線技師会定期総会の開催

令和元年 5 月 31 日（金）15:50~17:00 の日時で、第 66 回定期総会を東京国際フォーラム D-5 ホールにて開催した。

安彦会長挨拶の後、表彰式が委員長の中山理事により執り行われ、功労賞 29 名、奨励賞 2 名、施設奨励賞 4 施設がそれぞれ表彰された。

※功労賞被表彰者 29 名 (順不同、敬称略)

| | | |
|--------------|------------|------------|
| (旭川) 東堂 剛三 | (栗山) 大野 修 | (石巻) 嶋田 雅博 |
| (水戸) 山縣 徳治 | (芳賀) 武藤 美子 | (足利) 中里 明 |
| (さいたま) 市川 誠二 | (小川) 小林 教浩 | (みなど) 宮沢 明 |
| (長岡) 入澤 佳弘 | (長岡) 田村 博文 | (長岡) 地崎 純一 |
| (安曇野) 茅野 充治 | (下伊那) 伊藤 保 | (高山) 中田 幸博 |
| (名一) 筒井 倫雄 | (名一) 大西 勝治 | (名二) 黒木 荘八 |
| (伊勢) 中野 和彦 | (長浜) 橋本 清和 | (京二) 木村 嘉則 |
| (鳥取) 磯見 正美 | (松江) 岡 俊一 | (岡山) 梶谷 努 |
| (高松) 高橋 徹 | (高松) 安部 淳子 | (唐津) 平田 一英 |
| (熊本) 濱田 勝徳 | (熊本) 耕 仁征 | |

※奨励賞被表彰者 2 名

(石巻) 及川 林 (神戸) 小川 宗久

※奨励賞被表彰施設 4 施設

○石巻赤十字病院 ○高山赤十字病院 ○日本赤十字社和歌山医療センター
○広島赤十字・原爆病院

その後、定期総会議事運営報告（資格審査報告）が事務局の大竹理事よりなされ、出席者 139 名、委任状提出者 1,373 名、合計 1,512 名を得ており定期総会が成立することを確認した。

議事を進めるにあたって姫路赤十字病院 井手 充浩 氏、高槻赤十字病院 松原 健夫 氏。そして議事録署名人に、秋田赤十字病院 三浦 司 氏、福島赤十字病院 海藤 隆紀 氏が会場より選出された。議事は平成 30 年度事業経過報告、平成 30 年度決算報告、平成 30 年度監査報告、そして平成 31 年度事業計画案、平成 31 年度予算計画案、およびその他について全てを審議し承認決議された。

これらの詳細は、第 66 回定期総会議事録としてホームページに掲載した。

(2) 平成 31 年学術定期総会収支報告

収支報告を第二号議案である平成 31 年度決算報告の特別会計として記載。

(3) 常任理事会、理事会の開催及び議事録の作成

常任理事会を3回および理事会を1回、下記のとおりを開催した。検討事項及び提案事項について審議決議し、それらについて全て議事録を作成そして速やかにホームページに掲載した。

- 第1回常任理事会
令和元年7月5日(金) 13:00~16:00 メルパルク大阪 6F 高砂
- 第2回常任理事会
令和元年10月5日(金) 13:00~17:00 深谷赤十字病院 301 会議室
- 第3回常任理事会
令和2年2月7日(金) 13:00~17:00 日赤十字社 本社 202 会議室理事会
- 理事会
令和2年4月3日(金) 13:00~17:00 日赤十字社 本社 101 会議室理事会

(4) 医療安全対策部会

本社医療事業部医療安全課管轄の医療安全対策部会に本会の尾形理事が出席し、医療安全推進について協議また検討を行った。

- 第1回医療安全対策部会
令和元年6月21日(金) 15:00~17:30 日赤十字社 本社
- 第2回医療安全対策部会
令和元年12月11日(水) 15:00~17:30 日赤十字社 本社

2. 会員動向 (令和2年1月10日現在)

会員数 1535名 (新入会予定者含む)

新入会会員数 73名

退会会員数 52名

非会員数 47名

組織率 97.2%

3. 福利厚生報告

慶弔規程に基づいて電報を送った。(順不同、敬称略)

- 結婚式祝電 7名
(大分) 日野 雄介 (松江) 岩田 幸子 (成田) 森 慎吾
(大分) 熊谷 誠 (大津) 井本 剛志 (成田) 小城 晶子
(大津) 山極 航輝
- 叙勲お祝い 1名
(元古河) 森 正三
- 弔電 1名
(名古屋第二) 亀谷 健一

4. 学術部報告

令和元年 5 月 31 日（金）6 月 1 日（土）の 2 日間、令和元年 日本赤十字社診療放射線技師学術総会を東京国際フォーラム ホール D-5 にて開催した。

主な内容は以下の通りである。

本社講演 「救護班活動において診療放射線技師に期待すること」

日本赤十字社 事業局 救護・福祉部参事監（災害対策） 赤十字原子力災害情報センター長
軽部 真和 先生

教育講演① 「厚生労働省が求める医療放射線の安全管理の実際」

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター

統括診療部放射線診療部 副診療放射線技師長 北村 秀秋 先生

教育講演② 「社会的争点となっている低線量影響について」

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部 / 大学院看護学研究科 教授 小野 孝二 先生

学術講演「救急撮影時にも応用可能な肘関節 X 線撮影の攻略法

～これを知れば小児も救急も怖くない！～

三菱神戸病院 画像技術科 主任 高井 夏樹 先生

チーム医療報告

①QC サークル活動・5S 活動 武蔵野赤十字病院 穴田 有

②ひとり何役？ 伊豆赤十字病院 土田 真嗣

③CT/MRI 検査のトラブルを未然に防ぐ出前研修会 富山赤十字病院 大橋 英靖

会員研究発表

I-① 胃 X 線検査における当院での一次読影とその有用性について

大分赤十字病院 中島 浩二

I-② FPD システムにおける最適撮影線量の検討

深谷赤十字病院 登坂 崇史

I-③ 当院の一般撮影における線量評価 ～DRLs2015 との比較～

松山赤十字病院 中須賀 梨奈

I-④ 骨盤領域における散乱 X 線補正処理の検討

名古屋第一赤十字病院 中尾 由利子

I-⑤ マンモグラフィ 2 方向から陰影の部位を導くツールの検討

福井赤十字病院 田賀 陽子

II-⑥ 大動脈弓部領域における PSIR-REACT(PREACT)の有用性の検討

唐津赤十字病院 立川 圭彦

II-⑦ 上腹部領域 DWI の息止めによる撮像の検討

広島赤十字・原爆病院 宣長 待機

II-⑧ MRI 条件付き MRI 対応の体内用結紮クリップによる

MR 画像へのアーチファクトの検討

武蔵野赤十字病院 渡邊 光希

III-⑨ 骨シンチにおける投与量削減を目的とした基礎検討

松山赤十字病院 飯泉 賢人

III-⑩ 医学物理課新設後の放射線治療科部の運用に関して

日本赤十字社 和歌山医療センター 石原 佳知

III-⑪ 固体ファントムのスケーリング係数の算出

那須赤十字病院 中澤 佑介

5. 専門部報告

(1) 各専門部活動報告

1. 放射線治療専門部

- ①継続事業として会員 SNS 利用促進を図り、会員 SNS を利用した治療スタッフからの質問などの対応をおこなった。
- ②日本赤十字放射線技師会学術総会において放射線治療分野研究発表の座長選出をおこなった。
- ③日本赤十字放射線技師会学術総会へ出席し、会員との意見交換おこなった。
- ④放射線関連学会より出されたガイドライン等の情報を発信し、情報共有を図った。
- ⑤放射線障害防止法改正に係る放射線障害予防規程変更および代表者変更届などの手続きが円滑に行えるよう、本社担当者と連携し会員への情報提供をおこなった
- ⑥放射線治療における品質管理業務に関するアンケートを実施した。
- ⑦放射線治療における品質管理業務に関する研修会を実施した

日時：令和 2 年 1 月 25 日(土) 13:00~18:00

場所：日本赤十字社医療センター 3階 講堂

参加者数：60 名（理事 2 名含む）

2. MRI 専門部

- ①今年度の活動として、昨年度に作成を行った頭部についての撮像プロトコルアンケートを、全施設に対して実施した。
実施方法としては、グーグルフォームを使用して作成したアンケートのリンクを、技師会 SNS と MRI 専門部の ML を通じて配信する形で行った。
ただし、現在の回答施設は 20 施設となっており、もう少し回答数を伸ばしたいと考えている。

3. 核医学専門部

- ①本赤十字社診療放射線技師会の会員専用 SNS にて、“医療法施行規則の一部を改正する省令の施行”の核医学関連事項（線量記録と線量管理）について情報提供を行った。

4. 乳房専門部

- ① 令和元年 6 月 23 日
「豊胸術後のリンパ腫について」を HP 掲載

5. CT 専門部

- ①今年度、CT 専門委員会の委員交代もありましたが、委員会としましてはメールを活用し、委員会メンバーで意見交換や情報共有をいたしました。
- ②交流会につきましては、3 月に関西にて開催の準備を致しましたところ、様々な問題もあり実現できませんでしたので 2 年度への継続目標にします。
- ③全国の CT 担当者ネットワークは、全国 CT 担当者メーリングリストを各施設の担当者様の協力により更新いたしました。今後アンケート等の協力を備えてネットワーク強化を図れたかと考えています。
- ④専門部合同企画の資料（リードスペースメーカー等）を集約し提出いたしました。

6. 医療情報専門部

- ①システムマップのメンテナンス
- ②システムマップの持続的な情報更新の検討
- ③放射線量管理システムの運用等についての情報交換（世話人間）
- ④医療用放射線の安全管理に関する法令改正対応についての情報交換（世話人間）
- ⑤技師会内での情報交換、情報発信の方法についての意見交換

6. 災害医療支援部報告

(1) ブロック業務研修会での講演

- ①令和元年 9 月 7 日：中部ブロック（国際災害関係）
- ②令和元年 9 月 28 日：東北ブロック（国際災害関係）
- ③令和元年 10 月 5 日：北海道ブロック（国内災害関係）
- ④令和元年 11 月 02 日：中四国ブロック（国際災害関係）
- ⑤令和元年 11 月 09 日：東部ブロック（原子力災害関係）
- 令和 2 年 01 月 11 日：九州ブロック（国際災害関係）

(2) 災害医療支援部会議

本社講演：日本赤十字社 事業局 救護・福祉部 赤十字原子力災害情報センター
恩田 英治 参事

(3) その他 部員活動

- ①赤十字原子力アドバイザー会議出席（2 回）
- ②赤十字原子力災害対応基礎研修会 講師（4 回）
- ③原子力基礎研修会スライドの編集
- ④赤十字全国救護班研修 講師
- ⑤病院型 ERU 展開検証 参加

7. 広報部報告

(1) 電子会誌 11 号の作成

【会誌内容】

- ①特集テーマ：「AI の可能性」メーカー・8 題
- ②施設紹介 2 施設（高知、福島）
- ③被ばく低減認定施設（旭川）
- ④技師長最終年総括 2 題
- ⑤本会の動き
 - ・令和 1 年度 日本赤十字社診療放射線技師会学術総会
 - ・令和 1 年度 日本赤十字社診療放射線技師会定期総会 議事録
 - ・各ブロック研修会報告
 - ・専門部活動報告

ホームページへの掲載は 4 月初旬予定

名誉会員への CDR 送付は 4 月中旬予定

8. IT 推進部報告

- (1) ホームページの管理運営
入会・退会・お問い合わせへの返信。
- (2) ホームページの変更および更新作業
会員 SNS のメーリングリスト整備。
会員 SNS の共有ホルダー整理。
画面構成の維持管理作業
- (3) メーリングリストの更新作業
施設代表者・専門部など
- (4) ホームページ登録会員数
登録会員数 1394 名
昨年度新規会員数 63 名
会員のホームページ登録率 91%

9. チーム医療部報告

- (1) 令和元年日本赤十字社診療放射線技師学術総会において、下記のとおりチーム医療の活動報告をしていただいた。
 - ・武蔵野赤十字病院「QC サークル活動・5S 活動」 穴田有美氏
 - ・伊豆赤十字病院「ひとり何役？」 土田真嗣氏
 - ・富山赤十字病院「CT/MRI 検査のトラブルを未然に防ぐ出前研修会」 大橋英靖氏
- (2) 令和元年度第 1 回チーム医療の推進に関する検討部会に、部会委員として荒井副会長が出席した。
開催日：令和元年 10 月 1 日（火）
会 場：日本赤十字社 403 会議室
- (3) 第 55 回日本赤十字社医学会総会（広島）にて、本社企画「チーム医療推進」実践報告において、パネリストとして発表していただいた。
実践報告：VTE 予防対策チームにおける診療放射線技師の役割
高山赤十字病院 今井丈晴氏
日時：令和元年 10 月 18 日（金）

10. 教育部報告

- (1) 平成 31 年 1 月に開催された第 1 回施設代表者会議に先立ち実施したアンケート結果を参考に、教育プログラム収集の協力を依頼した。現在も収集中であり、次年度も継続する。

11. 組織調査部報告

- (1) 平成 31 年度 4 月より全国赤十字技師長・課長宛に年度初頭の会員調査を実施し、総会までに新年度の新入会会員（予定者）・退会会員および施設毎の会員と会員数の把握を行い会員台帳にまとめた。
- (2) 組織調査と同時に、第 54 回日本赤十字社医学総会の発表者の把握を目的に発表者に関する調査を行い、結果を学術部へ報告した。
- (3) 事務局および IT 推進部と連携し、年間を通じて会員の入退会状況の確認作業を行い本会会員動向の把握に努めた。
- (4) 技師長・課長メーリングリスト（ホットクロス ML）の登録情報について調査を行った。
- (5) 平成 31 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会において、総会のあり方に関するアンケート調査を実施し、結果を 7 月にホームページに掲載した。
- (6) 平成 31 年 10 月より昨年実施したベンチマーク調査に対するアンケート調査を実施し、結果を令和 2 年 1 月にホームページに掲載した。

12. 表彰部報告

- (1) 平成 29 年度理事会にて、平成 30 年功労賞（表彰規程 2 条 1）被表彰者 29 名、奨励賞（同 2 条 2）個人の部・被表彰者 2 名、施設の部・4 施設を決定した。
- (2) 令和元年 5 月 31 日第 66 回定期総会にて表彰式を執り行った。
- (3) 令和元年 9 月 2 日から令和元年 12 月 27 日にかけて、令和 2 年功労賞被表彰者および感謝状被贈呈者の推薦を募集した。

13. ブロック活動報告

(1) 北海道ブロック

1. 平成 31 年度北海道ブロック技師長・課長・職務代行者会議

日 時：平成 31 年 5 月 11 日（土） 13：00 分～17：30 分

場 所：日本赤十字社北海道支部 看護大学サテライト室（日本赤十字社北海道支部内）

出席者：10 施設 10 名

2. 第 29 回北海道ブロック業務研修会並びに総会

日 時：令和 元年 10 月 6 日（土）～7 日（日）

会 場：富士フイルム札幌ビル 札幌市中央区大通り西 6 丁目 1

参加規模：9 施設 23 名

研修概要：

- ①一般演題 7 演題

骨塩（2 題）、超音波（1 題）、マンモ（3 題）、被ばく低減（1 題）

②特別講演：「災害医療概論」

日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部 及川 林

③グループワーク：「災害時の診療放射線技師の役割と現状」

日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部 及川 林

④総会

⑤技術情報交流：「医療法改正における各施設の対応の現状」

各施設の報告

⑥メーカー講演：「被ばく管理システムの紹介」2題

・ITソリューション事業部 開発部商品企画グループ 五十嵐 昭人 様

・株式会社ジェイマックスシステム 営業部営業推進グループ 箱石 卓 様

⑦会員講演 「今なぜ線量管理が必要か? その対策。」

旭川赤十字宇病院 医療技術部 放射線技師長 増田 安彦

(2) 東北ブロック

1. 令和元年度 東北ブロック施設代表者会議

日 時：令和元年 9 月 28 日（土） 13：00 ～13：30

会 場：盛岡赤十字病院

出席者：6 施設 7 名

2. 令和元年度 東北ブロック業務研修会

日 程：令和元年 9 月 28(土) 13：00 ～ 17：00

会 場：盛岡赤十字病院 2F 記念講堂

当番病院：盛岡赤十字病院

参加規模：6 施設 38 名

研修概要：

① 会長講演「日本赤十字社診療放射線技師会のこれからの活動

—日本赤十字社の一員としてグループで取り組む—」

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

② 特別講演 I 「日本赤十字社と当会の災害医療支援部活動」

日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部理事 松井 久男

③ 特別講演 II 「診療放射線技師の国際貢献」

日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部委員 嶋田 祐子

④ 教育講演 I 「被ばく線量管理ソフト Radmetrics」

バイエル株式会社

⑤ 教育講演Ⅱ 「被ばく線量管理ソフト AMDS」 アゼモトメディカル株式会社

⑥ シンポジウム 「これからの被ばく線量管理について—現状と課題」

| | | |
|---------|----|----|
| 八戸赤十字病院 | 松倉 | 裕次 |
| 秋田赤十字病院 | 田口 | 浩 |
| 盛岡赤十字病院 | 大山 | 浩貴 |
| 仙台赤十字病院 | 鈴木 | 陽 |
| 石巻赤十字病院 | 今野 | 基之 |
| 福島赤十字病院 | 佐藤 | 勝行 |

(3) 東部ブロック

1. 平成 31 年度 第 1 回 東部ブロック施設代表者会議

日 時：平成 31 年 4 月 26 日

会 場：さいたま赤十字病院

出席者：17 施設

2. 令和元年度 第 2 回 東部ブロック施設代表者会議

日 時：令和元年 11 月 9 日

会 場：足利赤十字病院

出席者：20 施設

3. 第 31 回東部ブロック業務研修会・平成 30 年度第 2 回東部ブロック施設代表者会議

日 程：令和元年 11 月 9 日（土）10 日（日）

会 場：足利赤十字病院 講堂

当番病院：足利赤十字病院

参加規模：20 施設 93 名（他ブロック施設含）

研修概要：

①一般演題 15 演題

②会長講演

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

③特別企画

「診療放射線技師のための症例検討会」

足利赤十字病院放射線診断科 部長 潮田 隆一 先生

④災害支援部講演

「原子力災害時の行政の体制と救護活動における診療放射線技師の役割」

長浜赤十字病院 松井 久男

⑤技術講演

「単純X線撮影で実現する胸部動態解析技術」

コニカミノルタヘルスケア営業推進部X線営業部山口 晃史 先生

⑥テーブルディスカッション

「中堅職員及び業務担当別グループワーク」

リーダーファシリテーター 長瀬 光臣

(4) 中部ブロック

1. 第 10 回中部ブロック業務研修会

日 程：令和元年 9 月 7(土)13：00～8 日(日)12：30

会 場：静岡赤十字病院 2 号館 4 階 第 1 会議室・第 2 会議室

当番病院：静岡赤十字病院

出席者：中部ブロック 15 施設 56 名（含 安彦会長）

研修概要：

⑦ 会長講演

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

⑧ 特別講演 「認知症に強くなるろう」

静岡赤十字病院脳神経内科部長 小西 高志 先生

⑨ 特別講演 「画像診断の功罪---負の側面---

静岡赤十字病院放射線科部長 小林 成司 先生

⑩ 災害医療支援部講演 「診療放射線技師の国際貢献」

大阪赤十字病院 嶋田 祐子

⑪ 分科会（CT・MRI・放射線治療・核医学・一般撮影）

⑫ テーマ発表「医療法施行規則の改正のポイントと線量管理の実例」

名古屋第二赤十字病院 有賀 英司

「今時の線量測定法のご紹介」

名古屋第二赤十字病院 猪岡 由行

「線量最適化システム DoseWatch の導入経験」

安曇野赤十字病院 関 真哉

⑬ 線量管理ソフトメーカー講演

GE・富士フイルム・シーメンス・アゼモト

2. 令和元年度 6 回中部ブロック技師長・責任者会議

日 時：令和元年 11 月 14 日（木）13：00-20：00、15 日（金）9：00-12：30

会 場：名古屋第二赤十字病院およびホテルトラスティー名古屋

テーマ：大規模災害に備える

プログラム

① 院長講演 「チームビルディング」

名古屋第二赤十字病院 佐藤 公治 院長

② 特別講演 「大規模災害に備える」

名古屋大学減災連携研究センター長 福和 伸夫 教授

③ 施設の取り組み I

岐阜赤十字病院・伊勢赤十字病院

④ 指針策定（各施設の現状）

⑤ 会長講演 「来年度の医療法改正の指針について」

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

⑥ 施設の取り組み II

安曇野赤十字病院

⑦ 総合討論

⑧ 中部ブロック連絡会議

(5) 近畿ブロック

1. 令和元年度第 1 回近畿ブロック施設代表者会議

日 時：令和元年 9 月 7 日（土）13：00 から 17：00

会 場：京都第一赤十字病院

出席者：12 施設 13 名

2. 令和元年度第 2 回近畿ブロック施設代表者会議

日 程：令和 2 年 2 月 1 日（土）13：20 から 15：30

会 場：ホテル北野プラザ六甲荘「ローズマリー ウエスト」

出席者：12 施設 14 名

3. 第 28 回日本赤十字社診療放射線技師会近畿ブロック研修会

日 程：令和 2 年 2 月 1 日（土）から 2 日（日）

会 場：ホテル北野プラザ六甲荘「マジョラム」

当番病院：神戸赤十字病院

参加規模：12 施設 76 名

研修概要：

- ① 開会挨拶
神戸赤十字病院 放射線科部 技師長 古東 正宣
- ② 開催施設代表者挨拶
神戸赤十字病院 院長 山下 晴央
- ③ 会長挨拶
日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂
- ④ 主催者挨拶
近畿ブロック理事 藤原 朗
- ⑤ ランチョンセミナー 「AI 画像再構成技術による高速・高分解能の実現」
キヤノンメディカルシステムズ株式会社国内営業本部 MR 営業部萩原 友基 先生
- ⑥ 一般演題 11 演題
- ⑦ 特別講演「腰椎立位 PA 半切撮影の有用性」
学校法人大阪滋慶学園大阪ハイテクノロジー専門学校
診療放射線技師学科専任教員 安藤 英次 先生
- ⑧ ディスカッション「実症例から学ぶ救急患者の画像読影補助」
進行・解説 松田 智史・小川 宗久・宮安 孝行（神戸赤十字病院病院）
- ⑨ 教育講演
「救命医療における大動脈解離の画像診断～急性期合併症から血管内治療まで」
神戸災害医療センター 放射線科 副部長 木下 めぐ美先生
- ⑩ 次回開催施設挨拶
京都第一赤十字病院 放射線科 技師長 加藤 良美
- ⑪ 閉会挨拶
神戸赤十字病院 放射線科部 技師長 古東 正宣

(6) 中四国ブロック

1. 平成 31 年度中国・四国ブロック施設代表者会議

日 時：令和元年 11 月 2 日（土） 13：30～13：50

会 場：高知赤十字病院 4F 会議室

出席者：12 施設 14 名（会長、常任理事含）

2. 平成 31 年度中国・四国ブロック業務研修会

日 程：令和元年 11 月 2 日（土）～3 日（日）

会 場：高知赤十字病院 4 階ホール

当番病院：高知赤十字病院

参加規模：13 施設 53 名（他ブロック施設含）

研修概要：

① 会長講演

『-日本赤十字社の一員としてグループで取り組む-』

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

② 災害救護特別講演

講演 1 『新築移転した高知赤十字病院における、南海トラフ地震対策』

高知赤十字病院 救急部副部長 山崎 浩史

講演 2 『大規模災害時における放射線科の対応』

高知赤十字病院 高橋 健次郎

講演 3 『看護師の視点から見た、災害時と戦傷外科の画像検査』

高知赤十字病院 救急救命センター看護師 丁野 美智

③ 災害医療支援部講演

『国際救援活動における診療放射線技師の役割と現状』

災害医療支援部 口井 信孝

④ 会員研究発表（一般演題 10 演題）

⑤ メーカー講演

1. 『線量管理の動向と被ばく線量管理システム DOSE MANAGER について』

富士フイルムメディカル株式会社 IT ソリューション事業部開発部 五十嵐 昭人 様

2. 『求められる品質管理/求めるべきツール』

アクロバイオ株式会社 芳忠 寿一 様

⑥ 施設見学（希望者のみ）

(7) 九州ブロック

1. 令和元年度九州ブロック施設代表者会議

日 時：令和 2 年 1 月 11 日（土） 16：30～17：10

会 場：日本赤十字社熊本健康管理センター 南館

出席者：9 施設 12 名

※安彦会長、口井技師長（和歌山医療センター）も参加

2. 第 20 回九州ブロック業務研修会

日 程：令和 2 年 1 月 11(土)～12 日(日)

会 場：日本赤十字社熊本健康管理センター 南館 5 階ホール

当番病院：日本赤十字社熊本健康管理センター

参加規模：9 施設 58 名

研修概要：

①開会挨拶

担当施設 熊本健康管理センター 長野 勝廣

②教育講演『国際救援活動よもやま話』

日本赤十字社診療放射線技師会災害医療支援部 口井 信孝

③腰痛体操

日本赤十字社熊本健康管理センター 運動指導士 下川 詩季子 先生

④会長講演

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

⑤一般演題

⑥メーカー講演『診療用放射線の安全管理に係る医療法施行規則改正について』

千代田テクノル アイソトープ・医療機器事業本部 工藤 輝 先生

⑦特別講演

『思い込みのワナ～認知とパーソナリティーが人間関係に影響を及ぼす』

放送大学 熊本学習センター 客員准教授 河添 博幸 先生

令和元年度決算報告

1. 令和元年度学術定期総会収支報告

特別会計

令和元年 日本赤十字社診療放射線技師会学術総会 収支報告書

期間 : 自 令和元年5月31日 (金)

至 令和元年6月 1日 (土)

会場 : 東京国際フォーラム

【収入の部】 金額 (円)

| 項目 | 決算額 | 備考 |
|--------------|-----------|-------------|
| 参加登録費 | 1,112,000 | 8,000円×139名 |
| 会員情報交換会参加費 | 224,000 | 2,000円×112名 |
| 協賛企業情報交換会参加費 | 150,000 | 10,000円×15名 |
| 学術総会助成金 | 64,362 | 一般会計より |
| 計 | 1,550,362 | |

【支出の部】 金額 (円)

| 項目 | 決算額 | 備考 |
|--------|-----------|---------------------|
| 会場費 | 398,472 | 東京国際フォーラムD-5、備品使用料含 |
| 情報交換会費 | 644,271 | 東京国際フォーラムG-7 |
| 運営費 | 353,800 | ランチョンセミナー (会員お弁当代) |
| 招聘費 | 41,660 | 講師宿泊・交通費 |
| 講師謝金 | 44,548 | |
| 学術発表賞費 | 15,000 | 副賞 |
| 会議費 | 6,000 | 座長謝礼1,000円×6名 |
| 諸経費 | 1,296 | 備品 |
| 雑費 | 45,315 | 郵送費等 |
| 計 | 1,550,362 | |

(セミナー企業の支払い分75万円を除く)

2. 令和元年度一般会計決算報告書

令和元年度一般会計決算報告書

2020年3月31日現在 金額(円)

| 収 入 の 部 | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|--------------|
| 科目 | 令和元年度予算額 | 令和元年度決算額 | 増減 | 備考 |
| 会費 | 4,689,000 | 4,773,000 | 84,000 | 3,000×1,591名 |
| 入会金 | 98,000 | 75,000 | △23,000 | 1,000×75名 |
| HP広告収入 | 1,300,000 | 1,050,000 | △250,000 | 広告協賛 |
| 雑収入 | 2,000 | 14 | △1,986 | |
| 前年度繰越金 | 1,055,082 | 1,055,082 | 0 | |
| | | | | |
| | | | | |
| 合計 | 7,144,082 | 6,953,096 | △190,986 | |

| 支 出 の 部 | | | | |
|----------|-----------|-----------|------------|-----------------|
| 科目 | 令和元年度予算額 | 令和元年度決算額 | 増減 | 備考 |
| 総会費 | 110,000 | 58,360 | △51,640 | 総会運営費 |
| 会議費 | 2,150,000 | 2,057,186 | △92,814 | 全国理事会、常任理事会費 |
| 役員活動費 | 122,500 | 119,000 | △3,500 | 3,500×34名 |
| ブロック活動費 | 1,400,000 | 1,400,000 | 0 | 7ブロック |
| 渉外費(旅費) | 400,000 | 348,204 | △51,796 | |
| 表彰費 | 370,000 | 339,872 | △30,128 | 賞状副賞・活動費 |
| 学術部費 | 10,000 | 6,940 | △3,060 | 活動費 |
| 専門部費 | 30,000 | 0 | △30,000 | 活動費 |
| 財務部費 | 50,000 | 43,576 | △6,424 | 活動費 |
| 組織調査部費 | 10,000 | 0 | △10,000 | 活動費 |
| 広報部費 | 40,000 | 22,620 | △17,380 | 活動費 |
| IT推進部費 | 40,000 | 16,538 | △23,462 | 活動費 |
| 災害医療支援部費 | 500,000 | 477,135 | △22,865 | 活動費 |
| 事務局費 | 300,000 | 78,757 | △221,243 | 活動費・慶弔費 |
| 学術総会助成金 | 58,000 | 64,362 | 6,362 | |
| HP管理運営費 | 500,000 | 514,200 | 14,200 | 構築サーバー利用費、会誌更新費 |
| 基金積立費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 積立て基金へ繰り出し |
| 予備費 | 953,582 | 0 | △953,582 | |
| 合計 | 7,144,082 | 5,646,750 | △1,497,332 | |

(収入6,953,096－支出5,646,750＝残金1,306,346)

残金 1,306,346 円は次年度に繰越し

日本赤十字社診療放射線技師会 会 長 安 彦 茂

財務部 長瀬 光臣

3. 令和元年度日本赤十字社診療放射線技師会 特別積立基金決算報告書

令和元年度日本赤十字社診療放射線技師会
特別積立基金決算報告書

2020年3月31日現在

| 科目 | 金額 | 備考 |
|----------|-----------|------------|
| 前年度繰越金 | 950,667 | |
| 定期預金利息 | 83 | 令和元年度分 |
| 令和元年度積立金 | 100,000 | 一般会計より繰り入れ |
| 合計 | 1,050,750 | |

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

4. 令和元年度日本赤十字社診療放射線技師会 HP 特別積立基金決算報告書

令和元年度日本赤十字社診療放射線技師会
HP特別積立基金決算報告書

2020年3月31日現在

| 科目 | 金額 | 備考 |
|--------|-----------|--------|
| 前年度繰越金 | 2,000,321 | |
| 定期預金利息 | 172 | 令和元年度分 |
| 合計 | 2,000,493 | |

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

監査報告書

日本赤十字社診療放射線技師会会則第 15 条、26 条及び日本赤十字社診療放射線技師会基金運用規約第 7 条に基づき、令和 2 年 3 月 4 日～3 月 27 日までの期間にて財務担当理事等の関係役員収支報告書類を、令和元年度の監査をメール会議にて実施しました。

1. 総括

令和元年度は、役員新体制にて多くの事業を遂行されました。その中で、特に学術総会を初めて地方（大阪）にて開催予定されました。このことは、各ブロック業務研修会での会長講演や災害支援部そして専門部活動などの顔の見える関係構築の賜物と考えます。これらのことを更に進めるために、第二回施設代表者会議が令和 3 年 1 月 16 日・17 日に開催される予定となっています。世界が経験しえない新型コロナウイルスにより多くの予定実施が不可能となりました。これから如何なる災害が発生することが予想されます。日本赤十字社診療放射線技師会会員との絆をより一層深めて行かれることと思います。本会の運営が遂行されましたことに心より感謝申し上げます。

2. 事業

令和元年度事業は、専門部（治療）の活動が目覚しく本社医療事業部と各施設のご協力により講習会および研修会が開催されました。これには多くの会員の皆様が参加されました。近年、放射線障害防止法、医療法施行規則の規定改正が行われ各医療機関の大幅な変革期が開始となりました。また、新型コロナウイルスのパンデミックによる国内が混乱となり今尚、カオス状態です。これは新たな災害が我々の業務に付け加えられたことを意味します。大規模災害に感染災害が加えられ新たな対応を行うためにも、今まで以上に本社と連携しながら事業展開していただきたいと思ひます。次年度も引き続き赤十字事業の発展に寄与し、会員相互の親睦を図り目的達成に必要な事業活動を行ってほしいと共に会員諸氏も活動へのご理解を賜りたいと存じます。

3. 会計

会長、副会長、財務担当理事の関係役員立会の下、金銭出納簿、各種請求書及び領収書、預金通帳等を照らし合わせた結果、出納簿等関係書類が適正に処理されていることを確認いたしました。

令和 2 年 4 月 3 日

日本赤十字社診療放射線技師会

監事

磯田康範 

日本赤十字社診療放射線技師会

監事

戸田豊広 

【第二号議案】令和 2 年度事業計画案

総括

新型コロナウイルスの国内で確認された感染者数は、2020 年 3 月末の時点でクルーズ船の乗船者を除いて 2000 人を超えている。日本国内ではまだパンデミック状態ではないが、依然として感染拡大の危険性は高く予断の許さない状況が続いているだけでなく、終息宣言の時期が全く予測できないのが現状である。東京や大阪などの大都市圏では、クラスターが複数発生すると、あっという間にオーバーシュート状態となり、欧米で起きている医療崩壊が起きることが指摘されている。今後の感染者数の増加数によっては、感染症指定病院以外の病院でも感染患者の受け入れを求められる可能性もあるだろう。

各施設とも、院内感染対策をしながら通常診療を行うのに精いっぱいと思われるが、日赤グループ病院の経営改善は急務であり、日赤本社も今後人件費抑制など様々な対策をグループ全体の財務状況を改善する目的で計画するだろう。こういった中、本会も昨年度に引き続き本社が計画している放射線機器の共同購入に協力を行っていきたいと考えている。また、本年 4 月医療法施行規則の改正が施行され、医療放射線の安全管理が各施設に義務付けられた。本会では、各施設が行っている医療被曝の管理・記録体制について、施設代表者会議等で情報交換を行っていきたいと考えている。

本年度は、6 月 12 日（金）13 日（土）にメルパルク大阪で初めて東京以外で学術総会を開催する他、例年同様、各ブロックの研修会、専門部の活動、ホームページを利用した活動が主たるものとなっている。学術総会は、メインテーマを「災害・救急医療を考える」とし開催を予定している。全国 7 ブロックで開催を予定している研修会では、各ブロックとも工夫した企画を計画しており、施設間の情報共有も含めて活発な活動になると期待している。専門部の活動は、主にホームページを利用した情報発信が主なものとなっているが、災害支援部や各専門部の研修会開催などをサポートしていきたい。また、チーム医療については、昨年度に引き続き学術総会で各施設の取り組みの紹介を行う他、本社が開催しているチーム医療の推進に関する検討部会の事業に協力していく予定である。

また、本年度は第 2 回施設代表者会議を 2021 年 1 月 16 日（土）17 日（日）に本社で開催を予定しており、医療放射線の安全管理の運用や教育体制等について情報交換を行う予定である。

新型コロナウイルスの影響で、学術総会や研修会等の開催が予定通りに実施できない可能性があるが、連年通り適宜にホームページ上で情報発信を行うと共に会の運営状況についてもお伝えしながら活動を行う予定である。本会の活動は、会員の皆様だけではなく日本赤十字社の各部門や企業の皆様のご厚情に支えられていることをご理解いただき、今後ともより一層のご協力をお願いしたい。

以上、2020 年度事業計画案の総括とする。

各部事業家計画案

1. 総務部活動計画案

(1) 令和 2 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会および第 67 回定期総会

令和 2 年学術総会を令和 2 年 6 月 12 日（金）、6 月 13 日（土）の 2 日間にわたってメルパルク大阪カンナレで開催。第 67 回定期総会は令和 2 年 6 月 12 日（金）同会場で、また同日に情報交換会を、同ホテルのラ・シェノウにて開催する。

来年の学術総会の開催会場については、東京国際フォーラムでの開催を予定している。

(2) 令和 2 年学術定期総会予算案

令和元年度理事会において、令和 2 年学術定期総会予算案が審議され全会一致で可決された。それについては第五号議案の項、特別会計にて報告する。

(3) 令和 2 年度の日本赤十字社診療放射線技師会 常任理事会および理事会

常任理事会を 3 回および理事会を 1 回開催し、各部の活動報告および検討事項については審議を行う。その内容については、議事録を作成し速やかにホームページに掲載する。なお、必要があれば会長の指示のもと臨時常任理事会を、管理メーリングリストまた Web で開催する。

- 第 1 回常任理事会 令和 2 年 7 月初旬 Web 会議
- 第 2 回常任理事会 令和 2 年 11 月 20 日（金）高知赤十字病院
- 第 3 回常任理事会 令和 3 年 1 月 17 日（日）日赤本社別館 PMO 会議室
- 理事会 令和 3 年 4 月初旬 日赤本社
- 臨時常任理事会 必要時に Web またはメール会議を開催

(4) 第 2 回施設代表者会議および意見交換会

第 1 回施設代表者会議の開催アンケート結果を基に、2 年毎に開催する事となった。会議の検討事項やプログラム等について常任理事会で検討する。

- 令和 3 年 1 月 16 日（土）・17 日（日）日赤本社別館 PMO 会議室

(5) 日赤本社医療安全対策部会

診療放射線技師の立場で参加し、他職種と日赤医療安全全体の事柄について協議する。

- 第 1 回医療安全対策部会
令和 2 年 6 月開催予定 日赤本社
- 第 2 回医療安全対策部会
令和 2 年 12 月開催予定 日赤本社

2. 福利厚生

会員に祝電の申請をしていただけるように広報していく。

3. 学術部活動計画案

(1) 令和 2 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会の開催

令和 2 年 6 月 12 日（金）・13 日（土）の 2 日間、ホテルメルパルク大阪にて開催予定である。テーマは「災害・救急医療を考える」とし、主な内容は本社講演、学術講演、教育講演、会員研究発表等を予定している。

4. 専門部活動計画案

(1) 各専門部活動計画案

1. 放射線治療専門部

- ① 会員 SNS 利用促進を進め、会員間の情報交換および専門部からの情報発信を行う。
- ② 学術総会やブロック大会に積極的に参画し、専門部より広報活動を行う。
- ③ 放射線関連学会と協力し会員に有益な情報を発信する。
- ④ 障害防止法改正に係る放射線障害予防規程変更の提出などの手続きなどのサポートを継続して行う。
- ⑤ 治療専門部会主催の研修会の開催
- ⑥ 放射線治療における品質管理体制強化のサポートおよび品質管理業務に従事する医学物理士などの職種への待遇改善を働きかける

2. MRI 専門部

- ① 2019 年度実施のアンケートの回答数が伸び悩んでいるため、実施期間を延長して回答数を増やし、結果集計を行いたい。（こちらに目を通された方の施設で、回答されていない場合は、ぜひ回答をよろしくお願い致します。）
- ② 可能であれば頭部以外の部位についてもアンケートの作成を行っていく。

3. 核医学専門部

- ① 核医学診療施設入退出時の管理区域用（RI 専用）スリッパ等の履き替えの見直し。

4. 乳房専門部

- ①（開催要請があれば）マンモグラフィポジショニング研修会の開催。

5. CT 専門部

- ① CT 担当者メーリングリストの継続更新
- ② DRL s 2020 の日赤グループデータのアンケート調査実地
- ③ CT 部門交流会の企画
- ④ CT 業務に関する質問対応

6. 医療情報専門部

- ① 放射線管理システムの導入・運用に関する情報発信

- ②医療情報に関する情報発信
- ③情報交換体制の確立
- ④システムマップのメンテナンス

5. 災害医療支援部活動計画案

- (1) ブロック研修会での講演（継続事業）
各ブロック研修会からの要請に応じて災害医療に関する講演を継続して行う。
- (2) 募集型診療放射線技師向け救護班研修の開催
国内災害が多くみられる昨今、自ブロックで生じた災害に対応できる技師の育成が必要である。各施設のキーパーソンとなる技師の養成を行うべく募集型の救護班研修会を開催する。
- (3) 国内災害時の災害用照射録作成
日本赤十字社として、統一した照射録を運用できるように検討する。
- (4) 国内災害発生時の放射線業務への受援体制構築
ベンチマークを活用しながら、施設間の情報を共有し、自施設が被災した際の受援体制を構築していく為の啓発を行う。
- (5) メーカーとの災害協定
国内災害発生時における可搬型 X 線装置の借用について、メーカーと協議を進め協定が結べるよう活動する。

6. 広報部活動計画案

- (1) 電子会誌 12 号の作成

【会誌内容】

- ①特集テーマ 未定
- ②施設紹介 未定（2～3 施設）
- ③技師長最終年総括
- ④チーム医療の取組
- ⑤本会の動き
 - ・令和 2 年度 日本赤十字社診療放射線技師会学術総会
 - ・令和 2 年度 日本赤十字社診療放射線技師会定期総会 議事録
 - ・各ブロック業務研修会報告
 - ・専門部活動報告

7. IT 推進部活動計画案

- (1) ホームページの変更および更新作業。
 - ①会員登録・退会申請作業。

②会員 SNS のメーリングリスト整備。

③会員 SNS の共有ホルダー整理。

画面構成の維持管理作業。

(2) ML の更新作業。

(3) 2021 年のホームページ契約更新に伴い、次期ホームページの見直しと準備。

8. チーム医療活動計画案

(1) 令和 2 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会において、チーム医療活動報告を実施する。

(2) 令和 2 年度チーム医療の推進に関する研修会に出席する。

(3) 日本赤十字社チーム医療の推進に関するガイドライン第 2 版を、施設の放射線部門においても共有できるよう、ホームページ等を活用する。

(4) ガイドライン第 2 版に則した各施設のチーム医療の活動を、全国の施設間で共有、展開を推進すべく、ホームページ等を活用し紹介する。

9. 教育部活動計画案

(1) 提示していただいた教育プログラムを、分類、整理、集約等行い、汎用性のある形式のプログラムを作成し情報発信する。

10. 組織調査部活動計画案

(1) 新入会（予定）会員、退会会員、会員数等を調査し会員台帳の情報更新を行う。

(2) 年間を通じて会員動向の把握に努める。

(3) 技師長・課長メーリングリスト（ホットクロス ML）の登録情報について調査および管理を行う。

(4) 令和 2 年 日本赤十字社診療放射線技師学術総会にて、総会に関するアンケート調査を実施する。

(5) 令和 2 年度ベンチマーク調査を実施する。

(6) 第 2 回施設代表者会議にて、施設代表者会議に関するアンケート調査を実施する。

11. 表彰部活動計画案

(1) 日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程に則り、会員からの推薦および学術部との連携により本会に功績のあった会員および施設等の表彰を行う。

会員皆様の情報が重要ですので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

12. ブロック活動計画案

(1) 北海道ブロック

1. 令和 2 年度北海道ブロック技師長・課長・職務代行者会議
日 時：令和 2 年 5 月 9 日（土）
場 所：日本赤十字社 北海道支部 看護大学サテライト室
2. 日本赤十字社診療放射線技師学術総会へ会長並びに会員派遣予定
日 時：令和 2 年 6 月 12 日（金）～6 月 13 日（土）
場 所：大阪府 ホテルメルパルク大阪
3. 第 30 回総会並びに業務研修会
日 時：令和 2 年 10 月 3 日（土）～4 日（日）
場 所：日本赤十字社北海道支部内会議室

(2) 東北ブロック

1. 令和 2 年度 東北ブロック施設代表者会議
日 時：令和 2 年 10 月 開催予定
会 場：盛岡赤十字病院
2. 令和 2 年度 東北ブロック業務研修会
日 時：令和 2 年 9 月 開催予定
当番病院：盛岡赤十字病院

(3) 東部ブロック

1. 令和 2 年度第 1 回東部ブロック施設代表者会議
日 時：令和 2 年 4 月 24 日（金）
会 場：さいたま赤十字病院
2. 第 33 回東部ブロック業務研修会・令和 2 年度第 2 回東部ブロック施設代表者会議
日 時：令和 2 年 11 月頃
当番病院：前橋赤十字病院・原町赤十字病院
会 場：前橋赤十字病院
研修内容：中堅技師を対象としたプログラムを実施予定

(4) 中部ブロック

1. 第 11 回中部ブロック業務研修会
日 時：令和 2 年 9 月 12 日（土）13：00～13 日（日）13：00 開催予定
当番病院：諏訪赤十字病院

会 場：RAKO 華乃井ホテル

内 容：未定

2. 令和 2 年度第 7 回中部ブロック施設代表者会議

日 時：令和 2 年 11 月 12 日（木）～11 月 12 日（金）開催予定

会 場：1 日目 名古屋第一赤十字病院

2 日目 ホテルホテルサンルートプラザ名古屋

内 容：未定

(5) 近畿ブロック

1. 令和 2 年度第 1 回近畿ブロック施設代表者会議

日 時：開催日未定（9 月ごろ予定）

会 場：京都第二赤十字病院

2. 第 29 回近畿ブロック業務研修会・令和 2 年度第 2 回近畿ブロック施設代表者会議

日 時：開催日未定（2 月ごろ予定）

当番病院：京都第一赤十字病院

(6) 中四国ブロック

1. 令和 2 年度中国・四国ブロック施設代表者会議

日 時：未定

会 場：山口赤十字病院

2. 第 10 回中国・四国ブロック業務研修会

日 時：未定

当番病院：山口赤十字病院

(7) 九州ブロック

1. 令和 2 年度九州ブロック施設代表者会議

日 時：令和 2 年 9 月下旬開催予定（業務研修会時）

会 場：福岡赤十字病院

2. 第 21 回九州ブロック業務研修会

日 程：令和 2 年 9 月下旬開催予定

会 場：福岡赤十字病院

当番病院：嘉麻赤十字病院・今津赤十字病院・鹿児島赤十字病院

令和2年度予算案

1. 令和2年学術定期総会予算（案）

特別会計

令和2年 日本赤十字社診療放射線技師会学術総会 収支予算案

期間：自 令和2年6月12日（金）

至 令和2年6月13日（土）

会場：メルパルク大阪

【収入の部】

金額（円）

| 項目 | 予算額 | 備考 |
|--------------|-----------|-------------|
| 参加登録費 | 1,040,000 | 8,000円×130名 |
| 会員情報交換会参加費 | 230,000 | 2,000円×115名 |
| 協賛企業情報交換会参加費 | 150,000 | 10,000円×15名 |
| 計 | 1,420,000 | |

【支出の部】

金額（円）

| 項目 | 予算額 | 備考 |
|--------|-----------|--------------------|
| 会場費 | 74,480 | メルパルク大阪カナーレ、備品使用料含 |
| 情報交換会費 | 769,120 | メルパルク大阪カナーレ |
| 運営費 | 312,000 | ランチョンセミナー（会員お弁当代） |
| 招聘費 | 70,000 | 講師宿泊・交通費 |
| 講師謝金 | 100,000 | |
| 学術発表賞費 | 20,000 | 副賞 |
| 会議費 | 5,000 | 座長謝礼1,000円×5名 |
| 諸経費 | 19,400 | 備品 |
| 雑費 | 50,000 | 郵送費等 |
| 計 | 1,420,000 | |

(セミナー企業の支払い予定分75万円を除く)

2. 令和2年度予算(案)

令和2年度一般会計予算(案)

金額(円)

| 収 入 の 部 | | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 科目 | 令和元年度予算額 | 令和2年度予算案 | 増減 | 備考 |
| 会費 | 4,689,000 | 4,833,000 | 144,000 | 3,000×1,611名 |
| 入会金 | 98,000 | 90,000 | △ 8,000 | 1,000×90名 |
| HP広告収入 | 1,300,000 | 1,150,000 | △ 150,000 | 広告協賛 |
| 雑収入 | 2,000 | 2,000 | 0 | |
| 前年度繰越金 | 1,055,082 | 1,306,346 | 251,264 | |
| | | | | |
| | | | | |
| 合計 | 7,144,082 | 7,381,346 | 237,264 | |

| 支 出 の 部 | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------------|
| 科目 | 令和元年度予算額 | 令和2年度予算案 | 増減 | 備考 |
| 総会費 | 110,000 | 100,000 | △ 10,000 | 総会運営費 |
| 会議費 | 2,150,000 | 2,150,000 | 0 | 常任理事会, 施設代表者会議 |
| 役員活動費 | 122,500 | 0 | △ 122,500 | |
| ブロック活動費 | 1,400,000 | 1,400,000 | 0 | 200,000×7ブロック |
| 渉外費(旅費) | 400,000 | 450,000 | 50,000 | 本社、ブロック関連、その他 |
| 表彰費 | 370,000 | 270,000 | △ 100,000 | 賞状副賞・活動費 |
| 学術部費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 活動費 |
| 専門部費 | 30,000 | 30,000 | 0 | 活動費 |
| 財務部費 | 50,000 | 50,000 | 0 | 活動費 |
| 組織調査部費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 活動費 |
| 広報部費 | 40,000 | 40,000 | 0 | 活動費 |
| IT 推進部費 | 40,000 | 40,000 | 0 | 活動費 |
| 災害医療支援部費 | 500,000 | 500,000 | 0 | 活動費 |
| 事務局費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 活動費・慶弔費 |
| 学術総会助成金 | 58,000 | 0 | △ 58,000 | 学術総会運営費の不足分 |
| HP管理運営費 | 500,000 | 520,000 | 20,000 | サーバー利用費、年間保守 |
| 基金積立費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 予備費 | 953,582 | 1,411,346 | 457,764 | |
| 合計 | 7,144,082 | 7,381,346 | 237,264 | |

以上、日本赤十字社診療放射線技師会 令和2年度予算(案)を報告します

日本赤十字社診療放射線技師会 会 長 安 彦 茂

財 務 部 長 瀬 光 臣

日本赤十字社診療放射線技師会 第 67 回定期総会の採決結果について

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

新型コロナウイルス感染拡大により日本赤十字社診療放射線技師会 第 67 回定期総会開催が中止となったため、総会の議案について電磁的投票を実施いたしました。

議案

1. 令和元年度事業報告・決算報告
2. 令和2年度事業計画・予算案

投票期間

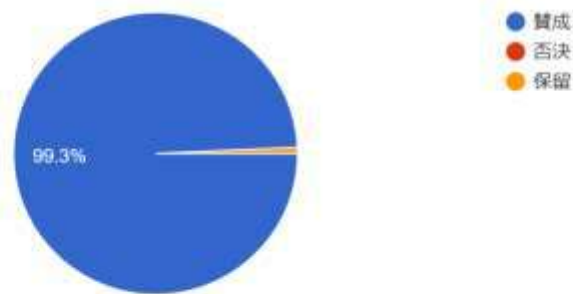
令和2年6月1日（月）～15日（月）

採決の結果

第一号議案 令和元年度事業報告・決算報告
724 件の回答



第二号議案 令和2年度事業計画案・予算案
724 件の回答



採決結果について、本会の監事に採決の確認をして頂き、理事会で承認されました。

定期総会

令和3年度



第 68 回定期総会資料

表 彰 議 事

- 【第一号議案】 令和 2 年度事業経過報告
- 【第二号議案】 令和 2 年度決算報告
- 【第三号議案】 令和 2 年度監査報告
- 【第四号議案】 令和 3 年度事業計画（案）
- 【第五号議案】 令和 3 年度予算（案）
- 【第六号議案】 その他

日本赤十字社診療放射線技師会

表 彰

会員各位

日本赤十字社診療放射線技師会

会 長 安彦 茂

表彰委員長 中山 進

日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程により、顕著な功績があったので表彰します。

令和 3 年功労書被表彰者

(表彰規程第 2 条の 1)

| | |
|-----------------|--------|
| 伊達赤十字病院 | 藤部 英俊 |
| 浦河赤十字病院 | 三浦 康成 |
| 函館赤十字病院 | 高田 礼二 |
| 仙台赤十字病院 | 安彦 茂 |
| 石巻赤十字病院 | 及川 順一 |
| 水戸赤十字病院 | 大貫 信也 |
| 那須赤十字病院 | 山下 明 |
| 原町赤十字病院 | 萩原 健 |
| さいたま赤十字病院 | 尾形 智幸 |
| 深谷赤十字病院 | 中山 進 |
| 大森赤十字病院 | 五十嵐 豊 |
| 福井赤十字病院 | 山崎 亮一 |
| 浜松赤十字病院 | 佐藤 幸夫 |
| 名古屋第一赤十字病院 | 大野 正美 |
| 長浜赤十字病院 | 奥出 隆夫 |
| 日本赤十字社和歌山医療センター | 口井 信孝 |
| 益田赤十字病院 | 河野 俊史 |
| 三原赤十字病院 | 福本 秀和 |
| 三原赤十字病院 | 岡田 秀美 |
| 嘉麻赤十字病院 | 嶋田 三賀佐 |
| 大分赤十字病院 | 戸口 豊宏 |

(敬称略、順不同)

令和 3 年奨励賞被表彰者および被表彰施設

(表彰規程第 2 条の 2)

個人表彰の部

該当なし

施設表彰の部

該当なし

令和 3 年感謝状被贈呈者および感謝状被贈呈施設・企業
(表彰規程第 2 条の 3)

該当なし

【第一号議案】令和 2 年度事業経過報告

総括

令和 2 年 6 月に大阪市で開催される予定だった日本赤十字社診療放射線技師学術総会は、COVID-19 感染拡大のため急遽中止となった。また、その後も感染拡大が終息せず、会の各ブロック研修会や施設代表者会議等の様々な行事が中止となった。こういった中、会の会議については、事業計画時より Web 会議を実施する方向で準備していたため、滞りなく 3 回の会議を全て Web 上で実施した。今年度は、本社の様々な会議についても Web で実施しており、今後は会議だけでなく研修会についても Web を利用した開催が必要と感じた。また、次年度に予定しているホームページ更新に向け、現 Web 制作会社と HP の仕様について検討を開始した。

また、本会では日赤のスケールメリットを生かした取り組みの一つとして、本社医療支援部と協働で放射線機器の共同購入に対し協力してきたが、令和 2 年度に国立病院機構・JCHO・労災病院で実施している共同購入に加わり初めて入札を実施した。本会では、この共同購入事業に対しアドバイザーとして協力しているが、参加施設がまだ多くないため、今後より多くの赤十字病院に参加していただけるように各施設の皆様のご意見を聞きながら事業を進めていきたいと考えている。

各部の活動については各担当より説明させていただくこととするが、例年より本会の活動にご支援をいただいている日本赤十字本社、物心両面にて支援をいただいている各メーカーに深謝し、令和 2 年度の総括とする。

令和 2 年度 会長・副会長行動録

会 長 安 彦 茂

令和 2 年 6 月 11 日

令和 2 年度大型医療機器共同入札評価基準検討会 (Web 開催)

令和 2 年 7 月 17 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (Web 開催)

令和 2 年 8 月 25 日

令和 2 年度大型医療機器共同入札技術審査委員会 (Web 開催)

令和 2 年 10 月 6 日

大型医療機器共同入札にかかる日赤本社会議 (Web 開催)

令和 2 年 11 月 18 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (Web 開催)

令和 2 年 11 月 26 日

第 6 回中部ブロック技師長・責任者会議 (Web 開催)

令和 2 年 11 月 28 日

日本診療放射線技師会 診療放射線技師養成機関・職域団体懇談会 (Web 開催)

令和 2 年 12 月 1 日

令和 2 年度第 1 回日本赤十字社 医療の質向上委員会 (Web 開催)

令和 2 年 12 月 6 日

令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる製品説明会 (Web 開催)

令和 2 年 12 月 10 日

令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる製品説明会 (Web 開催)

令和 2 年 12 月 21 日

令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる共同入札検討会 (Web 開催)

令和 3 年 2 月 9 日

大型医療機器共同入札にかかる日赤本社会議 (Web 開催)

令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる評価基準検討会 (Web 開催)

令和 3 年 3 月 22 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 3 回常任理事会 (Web 開催)

令和 3 年 3 月 23 日

令和 2 年度第 2 回日本赤十字社 医療の質向上委員会 (Web 開催)

副会長 正者 智昭

令和 2 年 6 月 11 日

令和 2 年度大型医療機器共同入札評価基準検討会 (Web 開催)

令和 2 年 7 月 17 日

- 日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (Web 開催)
令和 2 年 8 月 25 日
令和 2 年度大型医療機器共同入札技術審査委員会 (Web 開催)
令和 2 年 10 月 6 日
大型医療機器共同入札にかかる日赤本社会議 (Web 開催)
令和 2 年 11 月 18 日
日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (Web 開催)
令和 2 年 11 月 28 日
診療放射線技師養成機関・職域団体との懇談会 (Web 開催)
令和 2 年 12 月 6 日
令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる製品説明会 (Web 開催)
令和 2 年 12 月 10 日
令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる製品説明会 (Web 開催)
令和 2 年 12 月 21 日
令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる共同入札検討会 (Web 開催)
令和 3 年 2 月 1 日
令和 2 年度災害医療支援部会 (Web 開催)
令和 3 年 2 月 9 日
大型医療機器共同入札にかかる日赤本社会議 (Web 開催)
令和 3 年度大型医療機器共同入札にかかる評価基準検討会 (Web 開催)
令和 3 年 3 月 22 日
日本赤十字社診療放射線技師会 第 3 回常任理事会 (Web 開催)

副会長 竹安 直行

- 令和 2 年 7 月 17 日
日本赤十字社診療放射線技師会 第 1 回常任理事会 (Web 開催)
令和 2 年 11 月 18 日
日本赤十字社診療放射線技師会 第 2 回常任理事会 (Web 開催)
令和 3 年 2 月 10 日 (Web 開催)
ホームページの不具合に関する検討会
令和 3 年 3 月 9 日 (Web 開催)
ホームページの不具合に関する検討会
令和 3 年 3 月 22 日
日本赤十字社診療放射線技師会 第 3 回常任理事会 (Web 開催)
令和 3 年 3 月 30 日 (Web 開催)
ホームページの不具合に関する検討会

副会長 荒井 一正

令和 2 年 7 月 17 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (Web 開催)

令和 2 年 10 月 20 日

第 1 回チーム医療の推進に関する検討部会 (Web 開催)

令和 2 年 11 月 18 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (Web 開催)

令和 2 年 12 月 10 日

チーム医療の推進に関する検討部会 研修会講演リハーサル (Web 開催)

令和 2 年 12 月 18 日

令和 2 年度チーム医療の推進に関する研修会 講演 (Web 開催)

令和 3 年 3 月 1 日

第 2 回チーム医療の推進に関する検討部会 (Web 開催)

令和 3 年 3 月 22 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 3 回常任理事会 (Web 開催)

各部事業経過報告

1. 総務部報告

(1) 第67回日本赤十字社診療放射線技師会定期総会の中止および電磁

令和2年6月12日（金）15：30～17：00、ホテルメルパルク大阪で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により定期総会が中止となった。

審議予定であった議案については会員による電磁的投票を実施した。その採決結果について本会監事が確認し理事会で審議し承認された。

※功労賞被表彰者 23名

（順不同、敬称略）

| | | |
|-----------|----------------|-------------|
| （釧路）相山 幸紀 | （仙台）横山 高広 | （足利）久保田 健夫 |
| （深谷）笠井 久幸 | （日赤医療センター）竹内 宏 | （大森）樋口 新一 |
| （長岡）鈴木 光男 | （長野）大塚 亨 | （名一）大滝 司 |
| （名二）亀谷 健一 | （大津）森田 光正 | （大津志賀）猪飼 正夫 |
| （京一）福田 勤也 | （京二）河本 勲則 | （鳥取）池原 準 |
| （松江）磯田 康範 | （益田）増野 利政 | （岡山）有森 秀夫 |
| （広島）田中 久善 | （高松）安部 一成 | （松山）水口 司 |
| （松山）池本 俊成 | （松山）久 武 | |

※奨励賞被表彰者 3名

（深谷）高柳 幸恵 （武蔵野）小川 亮 （和歌山医療センター）石原 佳知

(2) 常任理事会、理事会の開催及び議事録の作成

常任理事会を2回以下のとおりに開催した。検討事項及び提案事項について審議決議し、それらについて全て議事録を作成そして速やかにホームページに掲載した。

- 第1回常任理事会
令和2年7月17日（金）20：00～21：00
- 第2回常任理事会
令和2年11月18日（金）16：00～17：00
- 第3回常任理事会
令和3年3月22日（月）16：00～17：00
- 理事会
令和3年4月16日（金）15：00～17：00

（全てWeb開催）

2. 会員動向（令和3年3月4日現在）

会員数 1521名

新入会会員数 72名（新入会予定者含む）

退会会員数 50名

組織率 97.3%

3. 福利厚生報告

慶弔規程に基づいて電報を送った。(順不同、敬称略)

結婚式祝電 1名

弔電 1名

4. 学術部報告

(1) 令和2年日本赤十字社診療放射線技師学術総会「災害・救急医療を考える」を6月12日(金)13日(土)に大阪市にて開催予定であったが、コロナ禍の影響により中止とした。

5. 専門部報告

【核医学専門部】

今年度は活動を行えず。

【乳房画像専門部】

「がんの放射線治療後の免疫力低下について」を日本赤十字社診療放射線技師会 HP の会員 SNS に掲載。

【医療情報専門部】

医療被ばく線量管理システムの導入に関するアンケートの実施。結果の解析と公開。

【MRI 専門部】

今年度は、新型コロナウイルスの影響により通常業務が多忙となるなど影響が大きく、MRI 専門部としての活動をほとんど行うことができなかった。

【CT 専門部】

令和2年度 CT 専門部会の活動は、コロナ感染患者の拡大防止や主要都市での緊急事態宣言も発令されたために、CT 部門の交流会や親睦会につきましては残念ながら開催を断念せざるを得ませんでした。また、CT 専門部会委員も業務でコロナ感染患者の画像診断で CT 検査を行い、現況では患者への対策に日々労力を費やされえていたことからアンケート調査の準備もできませんでした。さらには、CT 業務に関する会員からの質問もありませんでした。ただCT担当者のメーリングリストの継続更新には取り組んでいました。令和2年度は、コロナ禍の中、計画通りの活動ができておりません大変申し訳ありませんでした。令和2年度の活動計画を令和3年度に継続することをお願いいたします。

【治療専門部】

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により学術総会および各ブロック研修会が中止となり、専門部としての活動も制限される状況となりました。関連学会では新たな環境に適応したオンラインセミナーや学術大会が実施されており、各世話人が今後の専門部運営について模索してきました。Web を活用した赤十字病院スタッフ間の関係構築のため、専門部世話人による Web 会議開催に向けた準備を進めています。また、これまで会員 SNS

を利用した専門部活動を継続してきた結果として、このような状況下においても会員 SNS への投稿が定期的に行われており、会員 SNS の利用価値が示されていると考えます。

6. 災害医療支援部報告

今年度は学術総会、各ブロック研修会がすべて中止となり、「災害」に関する講演を行うことができなかった。

【原子力災害】

(1) 令和 2 年 12 月 11 日（金）17:00～18:00 第 1 回原子力災害医療アドバイザー会議に参加。「Teams」による Web 会議

そこで「原子力災害関連事業の今後の方針」が示された。

★規模を縮小するも人材育成の継続は行うこと

3 回/年の実施 → 1 回/年の実施 30 人/回を養成

★原子力災害時の助言体制を確保するため、原子力災害医療アドバイザーによる会議を継続すること

2 回/年の実施 → 1 回/年の実施 現体制の維持

また、日赤救護員の育成にかかる体系整理（案）が示される。

★救護の基礎部分である共通課程を研修して専門課程にステップアップする際に「原子力災害医療基礎研修」を取り入れる。その際、基本 Web 研修とするが、対面研修の必要性について問われ、線量計の使用方法については必要であるとの意見を挙げてある。

(2) 令和 3 年 2 月 17 日（水）16:30～17:30 第 2 回原子力災害医療アドバイザー会議に参加。「Teams」による Web 会議

前回示された「原子力災害医療基礎研修会」と「日本赤十字社原子力災害対応基礎研修会」との研修内容比較が提示され、意見交換を行った。最後に各自の意見をアンケートで取りまとめることとなった。

【国内災害】

新型コロナウイルスの影響により今年度の活動は特に無し。

【国際災害】

新型コロナウイルスの影響により今年度の活動は特に無し。

7. 広報部報告

(1) 電子会誌 12 号の作成

【会誌内容】

①特集テーマ：「装置メーカーの感染対策」メーカー・6 題

：「読影補助」大分赤十字病院・1 題

②施設紹介 3 施設（福島赤十字病院、芳賀赤十字病院、前橋赤十字病院）

- ③技師長最終年総括 1 題（小川赤十字病院・小林技師長）
- ④本会の動き（未定）
- ⑤ホームページへの掲載（4 月中旬予定）
- ⑥名誉会員への CDR 送付（4 月下旬予定）

8. IT 推進部報告

- (1) ホームページの管理運営
 - ・入会・退会・お問い合わせへの返信
- (2) ホームページの変更および更新作業
 - ・会員 SNS のメーリングリスト整備
 - ・会員 SNS の共有ホルダー整理
 - ・面構成の維持管理作業
- (3) メーリングリストの更新作業
 - ・施設代表者・専門部など
- (4) 次期ホームページの準備
- (5) ホームページ登録会員数
 - ・登録会員数 1393 名
 - ・登録会員比率 92%

9. チーム医療部報告

- (1) 令和 2 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会において、チーム医療活動報告を予定していたが、コロナ禍の影響により学術総会が中止となった。
- (2) 令和 2 年度第 1 回チーム医療の推進に関する検討部会（Web 会議）
開催日：令和 2 年 10 月 20 日（火）
令和 2 年度第 2 回チーム医療の推進に関する検討部会（Web 会議）
開催日：令和 3 年 3 月 1 日（月）部会委員として荒井副会長が出席した。
- (3) 令和 2 年度第 1 回チーム医療の推進に関する研修会（Web 開催）
開催日：令和 2 年 12 月 18 日（金）荒井副会長が講演を行った。
- (4) 日本赤十字社チーム医療の推進に関するガイドライン第 2 版を、本会ホームページに掲載した。

10. 教育部報告

- (1) 提示していただいた教育プログラムを、分類、整理、集約等行っている。次年度も継続する。

11. 組織調査部報告

(1) 令和 2 年度 4 月 1 日より全国赤十字施設代表宛に年度初頭の会員調査を実施し、新年度の新入会会員（予定者）・退会会員および施設毎の会員と会員数の把握を行い会員台帳にまとめた。

(2) 事務局および IT 推進部と連携し、年間を通じて会員の入退会状況の確認作業を行い本会会員動向の把握に努めた。

(3) 技師長・課長メーリングリスト（ホットクロス ML）の登録情報について調査を行った。

(4) 令和 2 年 10 月 8 日よりベンチマーク調査を実施し、結果を令和 3 年 2 月 26 日に全国赤十字施設代表宛に配信した。

12. 表彰部報告

(1) 令和元年度理事会にて、令和 2 年功労賞（表彰規程 2 条 1）被表彰者 23 名、奨励賞（同 2 条 2）個人の部・被表彰者 3 名を決定した。

(2) 令和 2 年 6 月 12 日第 67 回定期総会（開催予定日）の日付にて表彰状・記念品の発送を令和 2 年 10 月 1 日に完了した。

(3) 令和 2 年 11 月 19 日から令和 3 年 2 月 26 日にかけて、令和 2 年功労賞被表彰者および感謝状被贈呈者の推薦を募集した。

13. ブロック活動報告

(1) 北海道ブロック

① 令和 2 年度北海道ブロック技師長・課長・職務代行者会議

開催日：令和 2 年 6 月 30 日（水）

開催方法：メール会議

参加施設：10 施設 10 名

② 第 30 回北海道ブロック業務研修会並びに総会

・コロナ禍のため中止

(2) 東北ブロック

① 東北ブロック施設代表者会議

・コロナ禍のため中止

② 東北ブロック業務研修会

・コロナ禍のため中止

(3) 東部ブロック

① 令和 2 年度第 1 回東部ブロック施設代表者会議

- ・コロナ禍のため中止
- ②東部ブロック業務研修会・令和 2 年度第 2 回東部ブロック施設代表者会議
 - ・コロナ禍のため中止

(4) 中部ブロック

- ①中部ブロック業務研修会
 - ・コロナ禍のため中止
- ②施設代表者会議
 - ・コロナ禍のため中止
- ③中部ブロック事前連絡会議

開催日：令和 2 年 11 月 26 日（木）16:30～17:30 迄

開催方法：Zoom を使用した Web 会議

担当施設：安曇野赤十字病院

- 議題：①次年度中部ブロック事業案について
- ②中部ブロック役員改選報告および任期について
 - ③施設の近況報告
 - ④本部報告（安彦会長）

- ④中部ブロック代表者会議

開催日：令和 3 年 3 月吉日 開催予定

開催方法：Zoom を使用した Web 会議

担当施設：名古屋第二赤十字病院

(5) 近畿ブロック

- ①近畿ブロック業務研修会
 - ・コロナ禍のため中止
- ②令和 2 年度第 1 回近畿ブロック施設代表者会議

開催日：2020 年 9 月 7 日（月）17:00～18:30

開催方法：Web 会議

担当施設：舞鶴赤十字病院

- 議題：1) 日本赤十字社診療放射線技師会本部報告
- 2) 近畿ブロック規約の改定について
 - 3) 討議事項について
 - 3-1 討議事項⑯ブロック研修会施設代表者会議の開催時期について
 - 3-2 討議事項⑰技師会ベンチマーク調査
 - 4) その他 ブロック担当表の変更について
- ③令和 2 年度第 2 回近畿ブロック施設代表者会議

開催日：令和 3 年 3 月 9 日（火）17：00～17：50

開催方法：Web 会議

担当施設：舞鶴赤十字病院

議 題：1) 日本赤十字社診療放射線技師会本部報告

2) 検査着について

3) 次年度事業計画案について

3-1 ブロック研修会について

開催日：10 月 23 日（土）を予定

開催方法：web もしくは Hybrid

その他：情報交換会はなしで日帰り

医学会総会が 10 月 21、22 日に福岡にて開催予定である。合わせて感染状況をみて開催を検討する。

3-2 ブロック活動費について

3-3 施設代表者会議について

4) その他

4-1 4 月の横浜学会の参加について

4-2 神戸赤十字病院の古東技師長定年退職の報告

(6) 中四国ブロック

①令和 2 年度中四国ブロック施設代表者会議

・コロナ禍のため中止

②中国四国ブロック業務研修会

・コロナ禍のため中止

(7) 九州ブロック

①九州ブロック業務研修会

・コロナ禍のため中止

②施設代表者会議

・コロナ禍のため中止

【第二号議案】令和2年度決算報告

1. 令和2年度学術定期総会収支報告

令和2年度の学術定期総会は中止により収支報告なし

2. 令和2年度一般会計決算報告書

令和2年度一般会計決算報告書

2021年3月31日現在 金額(円)

| 収 入 の 部 | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|--------------|
| 科目 | 令和2年度予算額 | 令和2年度決算額 | 増減 | 備考 |
| 会費 | 4,833,000 | 4,815,000 | △ 18,000 | 3,000×1,605名 |
| 入会金 | 90,000 | 68,000 | △ 22,000 | 1,000×68名 |
| HP広告収入 | 1,150,000 | 1,100,000 | △ 50,000 | 広告協賛 |
| 雑収入 | 2,000 | 35 | △ 1,965 | |
| 前年度繰越金 | 1,306,346 | 1,306,346 | 0 | |
| | | | | |
| 合計 | 7,381,346 | 7,289,381 | △ 91,965 | |

| 支 出 の 部 | | | | |
|----------|-----------|-----------|-------------|---------------------|
| 科目 | 令和2年度予算額 | 令和2年度決算額 | 増減 | 備考 |
| 総会費 | 100,000 | 0 | △ 100,000 | |
| 会議費 | 2,150,000 | 22,110 | △ 2,127,890 | web会議用アプリケーション年間契約費 |
| ブロック活動費 | 1,400,000 | 0 | △ 1,400,000 | |
| 渉外費(旅費) | 450,000 | 0 | △ 450,000 | |
| 表彰費 | 270,000 | 271,948 | 1,948 | 賞状副賞・活動費 |
| 学術部費 | 10,000 | 0 | △ 10,000 | 活動費 |
| 専門部費 | 30,000 | 0 | △ 30,000 | 活動費 |
| 財務部費 | 50,000 | 36,728 | △ 13,272 | 活動費 |
| 組織調査部費 | 10,000 | 0 | △ 10,000 | 活動費 |
| 広報部費 | 40,000 | 17,940 | △ 22,060 | 活動費 |
| IT推進部費 | 40,000 | 8,558 | △ 31,442 | 活動費 |
| 災害医療支援部費 | 500,000 | 0 | △ 500,000 | 活動費 |
| 事務局費 | 300,000 | 18,800 | △ 281,200 | 活動費・慶弔費 |
| 学術総会助成金 | 0 | 0 | 0 | |
| HP管理運営費 | 520,000 | 495,000 | △ 25,000 | 構築サーバー利用費、会誌更新費 |
| HP特別積立金 | 0 | 3,000,000 | | |
| 基金積立費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 積立て基金へ繰り出し |
| 予備費 | 1,411,346 | 0 | △ 1,411,346 | |
| 合計 | 7,381,346 | 3,971,084 | △ 6,410,262 | |

(収入7,289,381－支出3,971,084＝残金3,318,297)

残金 3,318,297 円は次年度に繰越し

日本赤十字社診療放射線技師会 会 長 安 彦 茂

財務部 長瀬 光臣

3. 令和2年度日本赤十字社診療放射線技師会 特別積立基金決算報告書

令和2年度日本赤十字社診療放射線技師会
特別積立基金決算報告書

2021年3月31日現在

| 科目 | 金額 | 備考 |
|----------|-----------|------------|
| 前年度繰越金 | 1,050,750 | |
| 定期預金利息 | 92 | 令和2年度分 |
| 令和2年度積立金 | 100,000 | 一般会計より繰り入れ |
| 合計 | 1,150,842 | |

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

4. 令和2年度日本赤十字社診療放射線技師会 HP 特別積立基金決算報告書

令和2年度日本赤十字社診療放射線技師会
HP特別積立基金決算報告書

2021年3月31日現在

| 科目 | 金額 | 備考 |
|----------|-----------|--------|
| 前年度繰越金 | 2,000,493 | |
| 定期預金利息 | 172 | 令和2年度分 |
| 令和2年度積立金 | 3,000,000 | |
| 合計 | 5,000,665 | |

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

監事報告

日本赤十字社診療放射線技師会会則 15 条、第 26 条、及び日本赤十字社診療放射線技師会基金運用規約 7 条に基づき、令和 3 年 3 月 24 日～30 日にかけて、会長、副会長、財務担当等役員の下、令和 2 年度の Web での監査を実施しました。

1、総括

会員の皆様方におかれましては、昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大によりコロナ患者対応等で感染に細心の注意をはらい、業務を行っていることと思います。これにより、活動自粛での総会・ブロック研修会などが開催できず、誠に残念に思います。会員の皆様方の顔が見えない活動が昨年度より引き続き、令和 2 年度も寂しい活動状況でした。これからも暫くこの影響は続くものと予想されます。新型コロナの感染動向次第では、会務・研修会・総会の開催方法（Web 開催）の検討を行う必要があります。本会は赤十字本社の活動方針に従い試行錯誤の状況で会議開催や各専門部への支援などに苦渋されて参りました。役員の皆様大変感謝申し上げます。今後は大変な時期を迎えますが、この新型コロナによる社会的な変化により、本会の新たな発想の展開が生まれることを祈念いたします。

新型コロナが早期収束し通常の業務・活動ができることを願い、そして会員の皆様方には感染に注意を払い、ご健康には十分留意をお願いいたします。

2、事業

令和 3 年度は、計画していました事業が新型コロナウイルスの感染拡大によって行われませんでした。昨年度の総会及び常任理事会においても Web 開催となり会員の皆様方には申し訳なく思います。今年 6 月に仙台で行われる総会に関しましても、赤十字本社の方針も御座いますが、やむなく会員の皆様を憂慮し、中止とさせていただきます。今後は、Zoom 等を用い開催できるよう IT を整備する必要があると思います。

3、会計

会長、副会長、財務担当等関係役員の下、金銭出納簿、各種請求書及び領収書、預金通帳等を照らし合わせた結果、出納簿等関係書類が適正に処理されていることを確認いたしました。

令和 3 年 3 月 31 日

日本赤十字社診療放射線技師会

監事

磯田康範



日本赤十字社診療放射線技師会

監事

中口豊良



【第四号議案】令和 3 年度事業計画案

総括

本年 1 月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大により、2 度目の非常事態宣言が発令された。以前から冬になると感染が拡大するだろうと危惧されていたが、残念なことにこの予想は当たり、1 月初めには COVID-19 感染者の数が一日当たり全国で 7,000 人を超えるようになった。COVID-19 のワクチン接種が開始されたことが希望の光であるが、国民全体が接種するまでに時間がかかることに加え、どのくらいの期間ワクチンによって防御免疫が維持できるかという免疫持続性についての評価がまだできていないため、今年の冬もこの感染症が再拡大する可能性も考慮しなければならない。この COVID-19 は、人と人との接触を介して感染拡大する。しかし、人と人との接触なしに社会は成り立たない、この矛盾する課題にどう対応するか、人類の進化が問われているのである。

このような感染拡大に対して、国の医療制度改革に大きな変化はなく、2020 年 7 月 17 日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）2020」の中で、COVID-19 を踏まえた「新たな日常」に対応した医療提供体制の構築の方針が盛り込まれた。その内容は、「COVID-19 の対応を着実にいながら、人口構造が変化する 2040 年に向け、医療施設の最適配置、働き方改革、医師偏在対策の 3 つの改革を同時に進めていく」である。しかし、感染症対策の拡充は必要であり、今後の地域医療計画にも大きく影響すると考えている。

令和 3 年度の本会の事業は、新型コロナウイルスの影響で、予定通りに実施できない可能性があるが、学術総会や施設代表者会議、各ブロックの研修会を予定している。開催形式については、現地開催だけではなく、ハイブリッド方式（現地開催および Web 開催の併用）や Web 開催も含めて検討したいと考えている。また、放射線機器の共同購入に対しは本社医療支援部にアドバイザーとして協力を行っていきたいと考えている。

本会の活動は、連年通り適宜にホームページ上で情報発信を行うと共に会の運営状況についてもお伝えしながら活動を行う予定である。本会の活動は、会員の皆様だけではなく日本赤十字社の各部門や企業の皆様のご厚情に支えられていることをご理解いただき、今後ともより一層のご協力をお願いしたい。

以上、令和 3 年度事業計画案の総括とする。

各部事業計画案

1. 総務部活動計画案

- (1) 令和 3 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会および第 68 回定期総会
令和 3 年学術総会を令和 3 年 6 月 4 日（金）、6 月 5 日（土）2 日間にわたって、仙台国際センターで開催との案があるが、コロナ感染状況によって開催について不透明である。
- (2) 令和 3 年学術定期総会予算案
開催できるか不明であるため、予算について検討できていない。
- (3) 令和 3 年度の日本赤十字社診療放射線技師会 常任理事会および理事会
常任理事会を 3 回および理事会を 1 回開催し、各部の活動報告および検討事項については審議を行う。その内容については、議事録を作成し速やかにホームページに掲載する。なお、必要があれば会長の指示のもと臨時常任理事会を開催する。コロナの感染状況によっては Web 開催となる。
- 第 1 回常任理事会 令和 3 年 7 月 Web 会議
 - 第 2 回常任理事会 令和 3 年 10 月 Web 会議もしくは高知赤十字病院
 - 第 3 回常任理事会 令和 4 年 1 月 16 日（日）日赤本社 201 会議室
 - 理事会 令和 4 年 4 月 日赤本社
 - 臨時常任理事会 必要時に Web またはメール会議を開催
- (4) 第 2 回施設代表者会議および意見交換会
- 令和 4 年 1 月 15 日（土）・16 日（日）日赤本社 101・201 会議室
- (5) 日赤本社医療安全対策部会
未定

2. 福利厚生

会員に祝電の申請をしていただけるように広報していく。

3. 学術部活動計画案

- (1) 令和3年日本赤十字社診療放射線技師学術総会の開催
令和3年日本赤十字社診療放射線技師学術総会を6月に仙台市にて開催予定であるが、感染状況を考慮した形式を検討中である。

4. 専門部活動計画案

【核医学専門部】

- (1) 核医学診療施設入退出時の管理区域用（RI 専用）スリッパ等の履き替えの見直し。
(2) タスクシフトについて情報収集を行い、情報発信をおこなう。

【乳房画像専門部】

- (1) web による研修を検討中

【医療情報専門部】

(1) 医療被ばく線量管理システムの導入に関するアンケート結果から、追加のアンケートおよびシステム導入事例報告など。アンケートにつきまして、回答数は 53 施設です。アンケートの結果を各施設にとって有益な情報に繋げたいと思います。

【MRI 専門部】

(1) 令和 2 年度に行うことができなかった活動を、今年度の活動予定としたい。
 (2) 実施していたアンケートの結果集計を行い、技師会 SNS 等で報告していきたいと考えている。可能であれば頭部以外の部位についてもアンケートの作成を行っていききたい。

【CT 専門部】

- (1) CT 担当者メーリングリストの継続更新
- (2) DRL s 2020 の日赤グループデータのアンケート調査実地
- (3) 地区での CT 部門交流会の企画
(オンラインでの交流会を検討します)
- (4) CT 業務に関する質問対応

【治療専門部】

- (1) 会員 SNS 利用促進を進め、会員間の情報交換および専門部からの情報発信を行う。
- (2) オンラインをよる専門部世話人会議の開催、オンラインをよる専門部活動を想定した準備を進める。
- (3) 学術総会やブロック大会に積極的に参画し、専門部より広報活動を行う。
- (4) 放射線関連学会と協力し会員に有益な情報を発信する。
- (5) 治療専門部会主催の研修会の開催
- (6) 放射線治療における品質管理体制強化のサポートおよび品質管理業務に従事する医学物理士などの職種への待遇改善を働きかける

5. 災害医療支援部活動計画案**【原子力災害】**

- (1) 令和 3 年度 原子力災害医療アドバイザー会議出席
 - ・日赤救護員の育成研修にかかる体系整理（案）が示されている
これに関して話し合いを進めていきたい。
- (2) 令和 3 年度 原子力災害対応基礎研修会
 - ・どのような形になるか未定ではあるが協力していきたい

【国内災害】

- (1) 今年度開催予定であった集合型研修会を来年度は Web で行いたい
 - ・開催時期、時間、内容に関しては今後部会で決めていきたい

【国際災害】

未定

6. 広報部活動計画案

- (1) 電子会誌 13 号の作成

【会誌内容】

- ①特集テーマ（未定）
- ②施設紹介（2～3 施設）
- ③技師長最終年総括
- ④本会の動き
- ⑤その他

7. IT 推進部活動計画案

- (1) ホームページの変更および更新作業
 - ・会員 SNS のメーリングリスト整備
 - ・会員 SNS の共有ホルダー整理
 - ・画面構成の維持管理作業
- (2) 会員管理システムの更新作業
 - ・会員登録・退会申請作業
- (3) メーリングリストの維持管理
- (4) 次期ホームページの見直しと準備

8. チーム医療活動計画案

- (1) 診療放射線技師が関わるチーム医療活動について調査する。
- (2) 令和 3 年度チーム医療の推進に関する検討会に出席する。

9. 教育部活動計画案

- (1) 令和 2 年度から継続して、提示していただいた教育プログラムを、分類、整理、集約等行う。その後、汎用性のある形式のプログラムを作成し情報発信する。

10. 組織調査部活動計画案

- (1) 新入会（予定）会員、退会会員、会員数等を調査し会員台帳の情報更新を行う。
- (2) 年間を通じて会員動向の把握に努める。
- (3) 技師長・課長メーリングリスト（ホットクロス ML）の登録情報について調査および管理を行う。
- (4) 令和 3 年 日本赤十字社診療放射線技師学術総会にて、総会に関するアンケート調査を実施する。
- (5) 令和 2 年度実施したベンチマーク調査に対するアンケート調査を実施する。

11. 表彰部活動計画案

日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程に則り、会員からの推薦および学術部との連携により本会に功績のあった会員および施設等の表彰を行う。
会員皆様の情報が重要ですので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

12. ブロック活動計画案

(1) 北海道ブロック

①令和 3 年度北海道ブロック技師長・課長・職務代行者会議

開催日：未定

開催方法：Web 会議

②日本赤十字社診療放射線技師学術総会へ会長並び会員派遣予定

③北海道ブロック業務研修会並びに総会

開催日：令和 3 年 10 月 2 日（土）～3 日（日）

会場：日本赤十字社北海道支部内会議室もしくは Web 会議（※Web の場合は日時未定）

(2) 東北ブロック

①令和 3 年度東北ブロック施設代表者会議

例年ブロック業務研修会と同時開催予定であるが、COVID-19 の状況を鑑み Web 開催も検討する

②東北ブロック業務研修会

COVID-19 の感染状況によるが、例年通り 10 月を目途に Web 開催も踏まえ各施設代表者と相談し決定する。

(3) 東部ブロック

①令和 3 年度第 1 回東部ブロック施設代表者会議

②東部ブロック業務研修会・令和 3 年度第 2 回東部ブロック施設代表者会議

(4) 中部ブロック

①中部ブロック業務研修会

担当施設：諏訪赤十字病院

開催日：未定

開催方法：メディア配信

②中部ブロック施設代表者会議

担当施設：名古屋第一赤十字病院

開催日：未定

開催方法：未定

(5) 近畿ブロック

①近畿ブロック業務研修会（案）

開催日：令和 3 年 10 月 23 日（土）（予定）

開催方法：web もしくは Hybrid 開催（予定）

担当施設：京都第一赤十字病院

②近畿ブロック施設代表者会議（案）

開催日：令和 3 年 10 月頃（詳細は未定）

開催方法：Web 会議（詳細は未定）

(6) 中四国ブロック

①中四国ブロック業務研修会

開催日：令和 3 年 11 月

会場：山口県（詳細未定）または、Web 開催

②中四国ブロック施設代表者会議

日時：令和 3 年 11 月

会場：山口県（詳細未定）または、Web 開催

(7) 九州ブロック

①九州ブロック業務研修会

②九州ブロック施設代表者会議

担当施設：（鹿児島、嘉麻、今津）により 11 月～12 月頃、実施に向けて検討中。

会場：福岡市内予定

【第五号議案】

1. 令和3年学術定期総会予算案

令和3年度の学術定期総会は中止により予算案なし

2. 令和3年度予算（案）

令和3年度一般会計予算（案）

金額（円）

| 収 入 の 部 | | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 科目 | 令和2年度予算額 | 令和3年度予算案 | 増減 | 備考 |
| 会費 | 4,833,000 | 4,764,000 | △ 69,000 | 3,000×1,588名 |
| 入会金 | 90,000 | 60,000 | △ 30,000 | 1,000×60名 |
| HP広告収入 | 1,150,000 | 1,000,000 | △ 150,000 | 広告協賛 |
| 雑収入 | 2,000 | 2,000 | 0 | |
| 前年度繰越金 | 1,306,346 | 3,318,297 | 2,011,951 | |
| | | | | |
| 合計 | 7,381,346 | 9,144,297 | 1,762,951 | |

| 支 出 の 部 | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|---------------|
| 科目 | 令和2年度予算額 | 令和3年度予算案 | 増減 | 備考 |
| 総会費 | 100,000 | 0 | △ 100,000 | 総会運営費 |
| 会議費 | 2,150,000 | 2,000,000 | △ 150,000 | 常任理事会、施設代表者会議 |
| ブロック活動費 | 1,400,000 | 1,400,000 | 0 | 200,000×7ブロック |
| 渉外費(旅費) | 450,000 | 400,000 | △ 50,000 | 本社、ブロック関連、その他 |
| 表彰費 | 270,000 | 250,000 | △ 20,000 | 賞状副賞・活動費 |
| 学術部費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 活動費 |
| 専門部費 | 30,000 | 30,000 | 0 | 活動費 |
| 財務部費 | 50,000 | 50,000 | 0 | 活動費 |
| 組織調査部費 | 10,000 | 0 | △ 10,000 | 活動費 |
| 広報部費 | 40,000 | 40,000 | 0 | 活動費 |
| IT 推進部費 | 40,000 | 40,000 | 0 | 活動費 |
| 災害医療支援部費 | 500,000 | 500,000 | 0 | 活動費 |
| 事務局費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 活動費・慶弔費 |
| 学術総会助成金 | 0 | 0 | 0 | |
| HP管理運営費 | 520,000 | 520,000 | 0 | サーバー利用費、年間保守 |
| 基金積立費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 予備費 | 1,411,346 | 3,504,297 | 2,092,951 | |
| 合計 | 7,381,346 | 9,144,297 | 1,762,951 | |

以上、日本赤十字社診療放射線技師会 令和3年度予算（案）を報告します

日本赤十字社診療放射線技師会 会 長 安 彦 茂

財 務 部 長 瀬 光 臣

【第六号議案】その他

1. 選挙管理委員会報告

日本赤十字社診療放射線技師会令和 3・4 年度役員選挙 審査報告書

開催日時： 令和 3 年 3 月 18 日（木）

開催方法： Zoom による Web 会議

出席者： 選挙管理委員長

山下 明（那須赤十字病院）

選挙管理委員

佐々木 昌俊（浜松赤十字病院）・萩原 健（原町赤十字病院）

野澤 哲也（水戸赤十字病院）・室井 康（成田赤十字病院）

事務局

大竹 覚（成田赤十字病院）

報告日： 令和 3 年 3 月 19 日（金）

報告者： 山下 明

審査内容： 1) 立候補・推薦者届の確認

立候補者・推薦者は下記の 6 名であった。

記

| | | | |
|-----|-------|----------------|-----|
| 会長 | 正者 智昭 | （京都第二赤十字病院） | 立候補 |
| 副会長 | 竹安 直行 | （日本赤十字社医療センター） | 立候補 |
| 副会長 | 荒井 一正 | （武蔵野赤十字病院） | 立候補 |
| 副会長 | 浅妻 厚 | （神戸赤十字病院） | 推薦 |
| 監事 | 松井 久男 | （長浜赤十字病院） | 立候補 |
| 監事 | 渡邊 寿徳 | （前橋赤十字病院） | 立候補 |

立候補届の確認、推薦者届における候補者の同意を確認した。役員選挙規定第 5 章 12 条の会費完納確認については事務局で行い全て問題なかった。

2) 当選の確認

立候補者及び推薦者が定数を超えなかった為、役員選挙規定第 4 章第 11 条により、上記の 6 名を当選とする。

以上

2. 日本赤十字社診療放射線技師会旅費規程の一部改定について

令和 3 年 4 月 16 日（金）に開催された理事会（Web 開催）において、日本赤十字社診療放射線技師会旅費規程（以下規程）第 4 条に基づき規程の一部改定について審議が行われ、提出された改定案が議決されたので以下に報告します。

(1) 改定の内容

- ① オンラインシステムを利用した会議等について規定を追加した
- ② 規定の適用除外について追加した

(2) 規程改定新旧対照表

| 改定後 | 現行 |
|---|--|
| <p>(目的)</p> <p>第 1 条 この規程（以下本規程という）は会の役員または会員が会務のため出張する場合に支給する旅費について必要な事項を定める。</p> <p>(適用の範囲)</p> <p>第 2 条 <u>本規程に適用する会務は次の各号のいずれかに該当するものをいう</u></p> <p>(1)理事会</p> <p>(2)常任理事会</p> <p>(3)会長が本規程の適用を認めた会議及び会務活動</p> <p>(4)前各号においてオンラインシステムを利用したもの</p> <p>(出張命令)</p> <p>第 3 条会長は会務のため役員または会員に出張を命ずることができる。</p> <p>(旅費)</p> <p>第 4 条 前条により出張する場合は次の旅費を支給する。</p> <p>(1)交通費 実費</p> <p>(2)宿泊料 実費、ただし一泊 12,000 円を上限とする。</p> <p>(3)日当 3,000 円</p> <p>2 <u>移動を伴わないオンラインシステムによる会議については日当として 1,000 円を支給する。</u></p> | <p>(目的)</p> <p>第 1 条 この規程は会の役員または会員が公務のため出張する場合に支給する旅費について必要な事項を定める。</p> <p>(出張命令)</p> <p>第 2 条 会長は会務のため役員または会員に出張を命ずることができる。</p> <p>(旅費)</p> <p>第 3 条 前条により出張する場合は、次の旅費を支給する。</p> <p>交通費 実費 日当 3,000 円 宿泊料 12,000 円（上限）</p> |

| | |
|--|--|
| <p><u>3.特別な事由による出張の場合は第1項の規定にかかわらず会長の決裁を経て必要な旅費を支給することができる。</u></p> <p><u>4.当会以外から旅費が支給される場合は前各項について適用されず旅費は支給しない。</u></p> <p>(改 廃)</p> <p><u>第5条</u>本規程の改廃は理事会の議決によるものとする。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は昭和 28 年 11 月 15 日より施行する。</p> <p>昭和 42 年 10 月 26 日改正 昭和 44 年 11 月 7 日改正 昭和 47 年 11 月 28 日改正 昭和 52 年 11 月 17 日改正 昭和 62 年 8 月 27 日改正 平成 2 年 4 月 5 日改正 平成 10 年 5 月 27 日改正 平成 26 年 4 月 4 日改正 平成 28 年 4 月 8 日改正 <u>令和 3 年 4 月 16 日改正</u></p> | <p>2.特別な事由による出張の場合は、前項の規定にかかわらず会長の決裁を経て、必要な旅費を支給することができる。</p> <p>(改 廃)</p> <p>第 4 条 この規程の改廃は理事会の議決によるものとする。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は昭和 28 年 11 月 15 日より施行する。</p> <p>昭和 42 年 10 月 26 日改正 昭和 44 年 11 月 7 日改正 昭和 47 年 11 月 28 日改正 昭和 52 年 11 月 17 日改正 昭和 62 年 8 月 27 日改正 平成 2 年 4 月 5 日改正 平成 10 年 5 月 27 日改正 平成 26 年 4 月 4 日改正 平成 28 年 4 月 8 日改正</p> |
|--|--|

3. 名誉会員の選考について

令和3年4月16日（金）に開催された理事会（Web開催）において、日本赤十字社診療放射線技師会会則第5条第1項2号に基づき名誉会員について審議が行われ、安彦 茂（仙台）・磯田 康範（松江）・戸口 豊宏（大分）の3名が名誉会員に推挙されたので報告します。

令和3年6月21日

日本赤十字社診療放射線技師会
会員各位

第68回定期総会(WEB)結果について

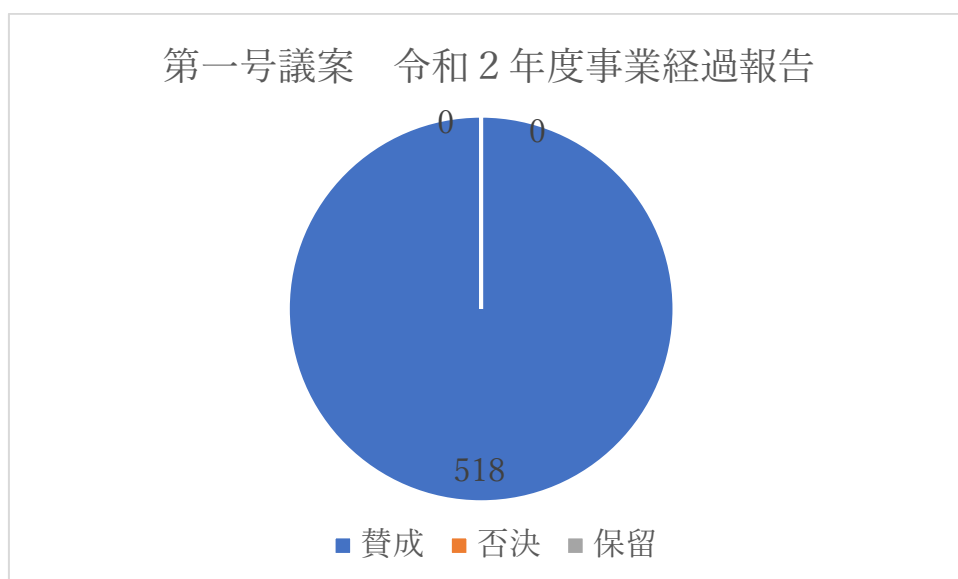
日本赤十字社診療放射線技師会
会長 安彦 茂

平素より本会の運営に多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

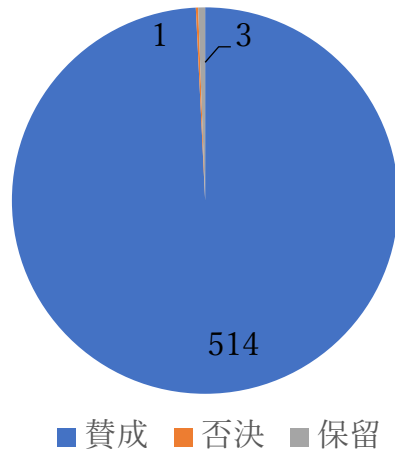
さて、令和3年6月11日(金)・12日(土)に仙台市で開催を予定しておりました令和3年日本赤十字社診療放射線技師学術総会の中止に伴い第68回定期総会を電磁的採決(Web投票)により実施いたしました。

第68回定期総会のWeb投票の結果を下記のご報告いたします。

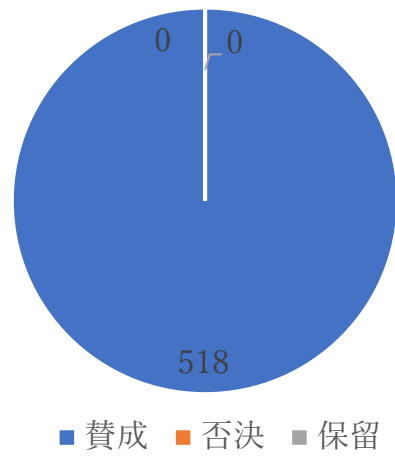
| | 賛成 | 否決 | 保留 |
|--------------------|-----|----|----|
| 第一号議案 令和2年度事業経過報告 | 518 | 0 | 0 |
| 第二号議案 令和2年決算報告 | 514 | 1 | 3 |
| 第三号議案 令和2年度監査報告 | 518 | 0 | 0 |
| 第四号議案 令和3年度事業計画(案) | 515 | 0 | 3 |
| 第五号議案 令和3年度予算(案) | 512 | 1 | 5 |
| 第六議案 その他 | 514 | 0 | 4 |



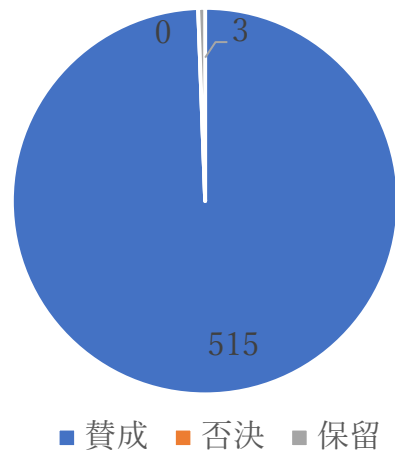
第二号議案 令和2年決算報告



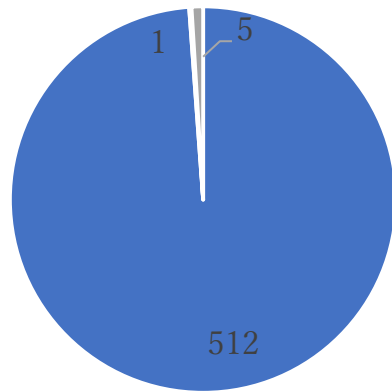
第三号議案 令和2年度監査報告



第四号議案 令和3年度事業計画 (案)

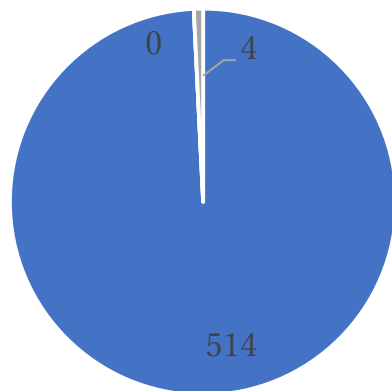


第五号議案 令和3年度予算（案）



■ 賛成 ■ 否決 ■ 保留

第六議案 その他



■ 賛成 ■ 否決 ■ 保留

定期総会

令和4年度



第 69 回定期総会資料

日 時：令和 4 年 6 月 3 日（金）14：40～15：50
場 所：東京国際フォーラム ホール D-5

総会次第

開会の辞

会長挨拶

表彰

総会議事運営報告

議長選出

議事録署名人選出

議 事

【第一号議案】令和 3 年度事業経過報告

【第二号議案】令和 3 年度決算報告

【第三号議案】令和 3 年度監査報告

【第四号議案】令和 4 年度事業計画（案）

【第五号議案】令和 4 年度予算（案）

【第六号議案】その他

1. 日本赤十字社診療放射線技師会旅費規程について
2. 日本赤十字社診療放射線技師会専門部規程について

議長解任

閉会の辞

日本赤十字社診療放射線技師会

表 彰

会員各位

日本赤十字社診療放射線技師会

会 長 正者 智昭

表彰委員長 富田 欣治

日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程により、顕著な功績があったので表彰します。

令和 4 年功労賞被表彰者 (表彰規程第 2 条の 1)

| | |
|------------------------|--------|
| 旭川赤十字病院 | 野村 和弘 |
| 足利赤十字病院 | 簾谷 和男 |
| 深谷赤十字病院 | 飯島 秀信 |
| 日本赤十字社医療センター | 佐藤 登 |
| 日本赤十字社医療センター | 須長 敏也 |
| 長岡赤十字病院 | 田村 厚司 |
| 長岡赤十字病院 | 鈴木 一夫 |
| 富山赤十字病院 | 四十九 一嘉 |
| 福井赤十字病院 | 秋田 直昭 |
| 飯山赤十字病院 | 佐藤 文彦 |
| 高山赤十字病院 | 岩佐 成彦 |
| 浜松赤十字病院 | 佐々木 昌俊 |
| 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 | 伊藤 哲朗 |
| 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 | 日置 竹志 |
| 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 | 石川 芳信 |
| 伊勢赤十字病院 | 松月 俊晴 |
| 伊勢赤十字病院 | 岡田 和正 |
| 長浜赤十字病院 | 松井 久男 |
| 大阪赤十字病院 | 福田 浩士 |
| 姫路赤十字病院 | 井手 充浩 |
| 姫路赤十字病院 | 塩崎 勝久 |
| 松江赤十字病院 | 森脇 武志 |
| 益田赤十字病院 | 原田 真範 |
| 松山赤十字病院 | 小笠原 俊祐 |
| 松山赤十字病院 | 樋口 恵吾 |
| 福岡赤十字病院 | 八波 誠一 |
| 長崎原爆諫早病院 | 宮本 憲一 |
| 熊本赤十字病院 | 菊川 証一 |

(敬称略、順不同)

令和 4 年奨励賞被表彰者および被表彰施設 (表彰規程第 2 条の 2)

個人表彰の部

該当なし

施設表彰の部

該当なし

令和 4 年感謝状被贈呈者および感謝状被贈呈施設・企業 (表彰規程第 2 条の 3)

該当なし

【第一号議案】令和 3 年度事業経過報告

総括

令和 3 年 6 月に仙台市で開催される予定だった日本赤十字社診療放射線技師学術総会は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大のためやむなく中止となった。

第 2 回施設代表者会議については令和 4 年 1 月に集合形式で 2 日間の開催を準備していたが、昨年 10 月に、本社より新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて全国または広域での会議・行事等についての開催は引き続き原則見合わせる旨の通知があり、開催の是非について改めて検討を行った。その結果、昨年も中止されたことで前回開催から 3 年が経過しており何よりも開催を継続させることが重要と考え、急遽全国を対象とした本会の行事としては初めて Web 会議ツールを用いオンラインにて開催した。しかし事業計画案に挙げていた、法令改正に伴う医療放射線の安全管理において各施設が行っている医療被ばくの管理・記録体制等に関する情報交換は実施することはできなかった。

昨年度中止が相次いだ各ブロックの研修会や施設代表者会議等の様々な行事については、Web の積極的な活用によりその多くが開催された。ブロック活動の再開にご尽力いただいた会員の皆様には深く感謝の念を申し上げたい。

常任理事会の会議については、今年度も Web を利用して 3 回の定例会議を全て滞りなく開催することができた。本社の様々な会議についても Web で実施されており、今後は新型コロナウイルス感染症の状況に関係なく会議・行事等について Web の活用がさらに進むものと思われる。しかし、対面や Web で行う会議にはそれぞれメリット・デメリットがあり、その特徴を把握して効果的に使い分けて開催することも重要であろう。

今年度に予定していたホームページ更新については、より良いホームページとしてリニューアルできるよう Web 制作会社と仕様等について検討を継続しているところであり、次年度の更新を目指している。

放射線機器を対象にした大型医療機器共同購入事業については参加方針が一部改正され、全ての施設において参加を強く推奨する基本方針に加えて重点支援病院・本部管理病院は原則共同入札へ参加することとなった。共同購入事業への参加は 2 年目であり参加施設はまだ多くはないが、第 2 回施設代表者会議における本社からの事業に対する説明や共同購入参加施設の経験等の情報共有、および昨年度から引き続き技術アドバイザーとして取り組みへ参画する等で協力を行った。

各部の活動についてはそれぞれの担当より説明させていただくが、例年本会の活動に対しご支援をいただいている日本赤十字本社、そして物心両面にて支援をいただいている各メーカーに深謝し令和 3 年度の総括とする。

令和 3 年度 会長・副会長行動録

会 長 正者 智昭

令和 3 年 6 月 17 日

令和 3 年度医療機器共同入札評価基準検討会 (Web 開催)

令和 3 年 7 月 27 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回常任理事会 (Web 開催)

令和 3 年 8 月 30 日

令和 3 年度医療機器共同入札技術審査委員会 (Web 開催)

令和 3 年 9 月

日本赤十字社診療放射線技師会第 11 回中部ブロック業務研修会 (研修 DVD 配布)

令和 3 年 9 月 25 日

日本診療放射線技師会 診療放射線技師養成機関・職域団体懇談会 (Web 開催)

令和 3 年 10 月 8 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 2 回常任理事会 (Web 開催)

令和 3 年 11 月 8 日

令和 3 年度第 1 回日本赤十字社医療の質向上委員会 (Web 開催)

令和 3 年 11 月 11 日

第 7 回 日本赤十字社中部ブロック診療放射線技師 技師長・責任者会議 (Web 開催)

令和 3 年 11 月 20 日

第 10 回日本赤十字社診療放射線技師会中国・四国ブロック研修会 (Web 開催)

令和 3 年 12 月 6 日

令和 4 年度大型医療機器共同入札にかかる製品説明会 (Web 開催)

令和 3 年 12 月 8 日

令和 4 年度大型医療機器共同入札にかかる製品説明会 (Web 開催)

令和 3 年 12 月 9 日

令和 3 年度 日本赤十字社診療放射線技師会第 1 回臨時常任理事会 (Web 開催)

令和 3 年 12 月 24 日

令和 4 年度医療機器共同入札検討会 (Web 開催)

令和 4 年 1 月 15 日

日本赤十字社日本診療放射線技師会第 2 回施設代表者会議 (Web 開催)

令和 4 年 1 月 28 日

第 21 回日本赤十字社診療放射線技師会九州ブロック研修会 (Web 開催)

令和 4 年 2 月 15 日

日本赤十字社診療放射線技師会第 3 回常任理事会 (Web 開催)

令和 4 年 2 月 26 日

令和 3 年度日本赤十字社診療放射線技師会東北ブロック研修会 (Web 開催)

令和 4 年 3 月 12 日

令和 3 年度災害医療支援部災害医療受援研修会 (Web 開催)

令和 4 年 3 月 18 日

令和 3 年度第 2 回日本赤十字社医療の質向上委員会 (Web 開催)

副会長 浅妻 厚

令和 3 年 8 月 26 日

災害医療支援部会議 (Web 開催)

令和 3 年 10 月 8 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 2 回常任理事会 (Web 開催)

令和 3 年 11 月 8 日

HP 対策会議 (Web 開催)

令和 3 年 12 月 9 日

日本赤十字社診療放射線技師会 臨時常任理事会 (Web 開催)

令和 4 年 1 月 15 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 2 回施設代表者会議 (Web 開催)

令和 4 年 2 月 1 日

災害支援部会議 (Web 開催)

令和 4 年 2 月 15 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 3 回常任理事会 (Web 開催)

令和 4 年 3 月 12 日

令和 3 年度災害医療支援部災害医療受援研修会 (Web 開催)

副会長 竹安 直行

2021 年 7 月 27 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 1 回常任理事会 (Web 開催)

2021 年 10 月 8 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 2 回常任理事会 (Web 開催)

2021 年 10 月 19 日

第 1 回ホームページ更新ワーキングチーム会議 (Web 開催)

2021 年 11 月 8 日

第 1 回全理事ホームページ更新会議 (Web 開催)

2021 年 12 月 9 日

日本赤十字社診療放射線技師会 臨時常任理事会 (Web 開催)

2022 年 1 月 10 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 2 回施設代表者会議テスト (本社にて)

2022 年 1 月 15 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 2 回施設代表者会議 (Web 開催)

2022 年 2 月 5 日

第 2 回ホームページ更新ワーキングチーム会議 (Web 開催)

2022 年 2 月 10 日

第 3 回ホームページ更新ワーキングチーム会議 ベンダー業者合同 (Web 開催)

2022 年 2 月 15 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 3 回常任理事会 (Web 開催)

2022 年 3 月 2 日

第 2 回全理事ホームページ更新会議 (Web 開催)

副会長 荒井 一正

令和 3 年 6 月 30 日

第 1 回 チーム医療の推進に関する検討部会 (Web 開催)

令和 3 年 7 月 27 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 1 回常任理事会 (Web 開催)

令和 3 年 10 月 8 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 2 回常任理事会 (Web 開催)

令和 3 年 12 月 9 日

日本赤十字社診療放射線技師会 臨時常任理事会 (Web 開催)

令和 4 年 1 月 15 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 2 回施設代表者会議 (Web 開催)

令和 4 年 1 月 30 日

第 2 回 チーム医療の推進に関する検討部会 (Web 開催)

令和 4 年 2 月 15 日

日本赤十字社診療放射線技師会 第 3 回常任理事会 (Web 開催)

各部事業経過報告

1. 総務部活動報告

(1) 第68回日本赤十字社診療放射線技師会定期総会の中止および議案電磁的採決令和3年6月4日(金)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により定期総会が中止となった。審議予定であった議案について会員による電磁的投票を実施した。その採決結果について本会監事が監査確認を行い、理事会で審議され承認となった。

被表彰者については21名が推薦そして承認され定期総会資料に掲載された。

※功労賞被表彰者 21名 (順不同、敬称略)

| | | |
|-------------------|---------------|--------------|
| (釧路) 藤部 英俊 | (浦河) 三浦 康成 | (函館) 高田 礼二 |
| (仙台) 安彦 茂 | (石巻) 及川 順一 | (水戸) 大貫 信也 |
| (那須) 山下 明 | (原町) 萩原 健 | (さいたま) 尾形 智幸 |
| (深谷) 中山 進 | (大森) 五十嵐 豊 | (福井) 山崎 亮一 |
| (浜松) 佐藤 幸夫 | (名古屋第一) 大野 正美 | (長浜) 奥出 隆夫 |
| (和歌山医療センター) 口井 信孝 | | (益田) 河野 俊史 |
| (三原) 福本 秀和 | (三原) 岡田 秀美 | (嘉麻) 嶋田 三賀佐 |
| (大分) 戸口 豊宏 | | |

※奨励賞被表彰者および被表彰施設

該当なし

※感謝状被贈呈者および感謝状被贈呈施設・企業

該当なし

(2) 常任理事会、理事会の開催及び議事録の作成

常任理事会を3回と理事会2回(臨時含む)を以下の日程で開催した。報告事項及び審議事項について検討し、それらについて全て議事録を作成そして速やかにホームページに掲載した。

| | |
|---------------------|--------------------------------|
| ○第1回常任理事会 (Web会議) | 令和3年7月27日 (火) 16:00~18:00 |
| ○第2回常任理事会 (Web会議) | 令和3年10月8日 (金) 16:00~19:00 |
| ○第1回臨時理事会 (メール会議) | 令和3年10月14日 (木) ~令和3年10月30日 (土) |
| ○第1回臨時常任理事会 (Web会議) | 令和3年12月9日 (木) 18:00~19:30 |
| ○第3回常任理事会 (Web会議) | 令和4年2月15日 (火) 16:00~18:00 |
| ○理事会 (Web会議) | 令和4年4月8日 (金) 14:00~17:00 |

(3) 医療安全対策部会

本社医療事業部医療安全課管轄の医療安全対策部会開催は、COVID-19感染症の影響で開催されなかった。

(4) 第2回施設代表者会議の開催

令和4年1月15日（土）、第1回開催から3年の期間において第2回施設代表者会議がWeb開催された。今回は施設から代表者1名ではなく、管理者複数名参加の開催方式をとり、数多くの参加者となった。

プログラム内容は全国赤十字病院におけるタスクシフト・シェアに関するアンケート報告、そして人材育成や共同購入について本社講演が企画され会員から多くの質問が寄せられ盛会であった。

2. 会員動向（令和4年3月2日現在）

会員数 1559 名

新入会会員数 88 名（新入会予定者含む）

退会会員数 74 名

組織率 96.7%

3. 福利厚生報告

慶弔規程に基づいて電報を送った。

弔電 3名

4. 学術部報告

(1) 令和3年日本赤十字社診療放射線技師学術総会を開催予定であったが、コロナ禍の影響により中止とした。

5. 専門部報告

(1) CT 専門部会

コロナ禍で活動できず、今年度の CT 専門部会は「活動なし」として報告します。

(2) MRI 専門部会

今年度の活動についてですが、心臓デバイスの緊急時でのアンケートの作成や、前年度に行った頭部プロトコルについてのアンケート結果のまとめなどの準備していました。しかしながら、コロナ禍で集計活動できず、今年度は活動報告できる結果がありません。したがって、残念ではありますが、今年度の MRI 専門部会は「活動なし」として報告します。

(3) 医療情報専門部会

①医療被ばく線量管理システムの導入に関するアンケートの結果を一般会員に公開した。

②同アンケート結果をもとに疑問点などを抽出し、導入済み施設への再アンケートの準備を行った。

(4) 核医学専門部会

会員より、「小児核医学検査の鎮静時の対応について」日赤放射線技師会のポータルサイ

トにてアンケート調査の依頼があった。

(5) 乳房画像専門部会

残念ながら「活動なし」で報告いたします。web を利用しての活動を模索いたしましたが、実現には至っておりません。今後も世話人と話し合いを継続したいと思っております。

(6) 放射線治療専門部会

2021 年度、放射線関連学会などの学術大会やセミナーは新型コロナウイルスの感染状況に対応するため、現地とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催が本格化した。治療専門部においてもオンラインを利用した専門部活動を検討するため世話人によるオンライン会議を実施、各地区でのオンライン環境の利用状況をヒアリングした。これまでの会員 SNS を利用した情報発信および情報共有に加え、オンラインを利用したイベントを実施することにより、より赤十字病院スタッフのつながりを強くすることができることを確認した。

6. 災害医療支援部報告

【災害医療支援部会】

(1) 令和3年度 第1回災害医療支援部会

2021年8月26日 16:00～17:15 WEBにて開催

- ・国際救援担当欠員の補充
- ・本年度開催予定『災害医療受援研修会に』に関して。
- ・可搬型 X 線装置運用に関して。
- ・人的支援に関して。

(2) 令和3年度 第2回災害医療支援部会

2022年2月1日 17:30～18:15 WEBにて開催

- ・『災害医療受援研修会』に関して具体的な話を協議した。

(3) 令和3年度 第3回災害医療支援部会

2022年3月17日 17:30～18:15 WEBにて開催

- ・災害医療受援研修会アンケート報告
- ・本年度の活動報告、反省と来年度の活動予定を協議した。

【国内災害】

(1) 可搬型 X 線装置の災害時運用に関してメーカーとの災害時支援協定等も視野に入れ本社救護・福祉部に申し入れをおこなった。本社としては災害現場での X 線撮影の必要性の検討、資機材の準備、マニュアル改訂、救護研修への落とし込みなどが必要であるとの回答。本社の中で検討をしていただけたとの回答を得た。

(2) 2022年3月12日 『災害医療受援研修会』WEBにて開催

受講者 22名

内容 講義1災害医療概論

講義2災害医療活動スキル

講義3災害医療における放射線業務の現状

実習1GW災害時対応シミュレーション1

実習2GW災害時対応シミュレーション2

【国際救援】

(1) 9月に欠員補充の為 本年度活動無し

【原子力災害】

(1) 本社原子力災害医療アドバイザー会議 出席（松井、坂井、高本、及川）

2021年10月6日15時00分～17時00分 WEB

・総合課程の研修プログラムについて

*日本赤十字社の国内における救護に関する救護員育成体系の見直しが行われ、原子力災害対応についても「総合課程」→「専門課程」のプログラムが組み込まれることとなった。内容については今後議論を深めることとする。

・講師の日赤の原子力災害対応にかかる研修会のオンラインによる展開について

*日赤としては今後オンライン研修を推奨していくが、今まで行ってきた原子力災害対応基礎研修会（今後名称変更あり）についてオンラインでできるかの意見交換が行われた。

・令和3年度原子力災害対応基礎研修会について

*夫々の機関で行われた研修会の進捗が示された。日赤関係では福島と長浜が研修会を行った。

(2) 本社原子力災害医療アドバイザー会議 出席（松井、坂井、高本、及川）

2021年12月8日15時00分～17時00分 WEB

・令和3年度原子力災害対応基礎研修会について

*今回の研修会は従来通りの集合研修とする。参加講師については参加出来る者の中から地域性と今後を見据えて本社の方で決定する。

原子力災害対応にかかる研修作業部会（松井、坂井）

*前回の内容を踏まえ、「総合課程」「専門課程」のプログラム作成に当たり作業部会を立ち上げる。

(3) 原子力災害対応にかかる研修作業部会（松井、坂井）

日時：令和4年1月20日（木）16時00分～17時00分 WEB

・内容：総合課程（救護班要員研修）のプログラムについて

(4) 令和3年度本社原子力災害対応基礎研修会（坂井）

日時：令和4年2月19日（土）13時00分～2月20日（日）12時50分

会場：福島赤十字病院 多目的ホール

* 今回の基礎研修会は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い集合研修は中止となった

(5) 本社原子力災害医療アドバイザー会議 出席 (松井、坂井、高本、及川)

2022年3月16日16時00分～17時30分 WEB

・ 令和3年度第3回救護員育成検討委員会における「原子力災害救護研修プログラム検討部会」に関する報告

・ 赤十字看護管理研修Ⅲにおける原子力災害対応グループワーク実施に関する報告

* パワーポイントにて 坂井報告

・ 令和4年度原子力基礎研修会の実施要項検討

7. 広報部報告

(1) 電子会誌13号の作成

【会誌内容】

① 特集テーマ 「コロナ禍での各メーカーの対応」

② 施設紹介 2施設 (東京かつしか赤十字母子医療センター、姫路赤十字病院)

③ 技師長最終年総括 2題

④ 本会の動き

ホームページへの掲載は4月下旬予定

名誉会員へのCDR送付は4月下旬予定

8. IT 推進部報告

(1) ホームページの管理運営

・ 入会・退会・お問い合わせへの返信

(2) ホームページの変更および更新作業

・ 会員SNS のメーリングリスト整備

・ 会員 SNS の共有ホルダー整理

・ 面構成の維持管理作業

(3) メーリングリストの更新作業

・ 施設代表者・専門部など

(4) 次期ホームページの準備

(5) ホームページ登録会員数

・ 登録会員数 1559 名

・ 登録会員比率 86.5%

9. チーム医療部報告

(1) 本会 2 度目となるチーム医療活動調査を行った

期間：令和3年9月2日～10月3日

12 施設からご報告いただいた

(2) 令和 3 年度第 1 回チーム医療の推進に関する検討部会 (Web 会議)

開催日：令和 3 年 6 月 30 日 (水)

令和 3 年度第 2 回チーム医療の推進に関する検討部会 (Web 会議)

開催日：令和 4 年 1 月 31 日 (月)

部会委員として荒井副会長が出席した。

10. 教育部報告

(1) キャリアアップ指標の作成を行っている。次年度も継続する。

11. 組織調査部報告

(1) 令和 3 年 4 月 1 日より全国赤十字技師長・課長宛に年度初頭の会員調査を実施し、新年度の新入会会員 (予定者)・退会会員および施設毎の会員と会員数の把握を行い会員台帳にまとめた。

(2) 事務局および IT 推進部と連携し、年間を通じて会員の入退会状況の確認作業を行い本会会員動向の把握に努めた。

(3) 令和 4 年 3 月 1 日より第 2 回施設代表者会議に対するアンケート調査を実施し、結果を令和 4 年 3 月 6 日にホームページに掲載した。

(4) 令和 3 年 10 月 21 日より昨年実施したベンチマーク調査に対してのアンケート調査を実施し、結果を令和 4 年 3 月 6 日にホームページに掲載した。

(5) 令和 4 年 3 月 1 日より施設代表者の登録情報について調査を行った。

12. 表彰部報告

(1) 令和 2 年度理事会にて、令和 3 年功労賞 (表彰規程 2 条 1) 被表彰者 21 名を決定した。

(2) 令和 3 年 6 月 4 日第 68 回定期総会 (開催予定日) の日付にて表彰状・記念品の発送を令和 3 年 7 月 13 日に完了した。

(3) 令和 3 年 10 月 11 日から令和 3 年 12 月 24 日にかけて、令和 3 年功労賞被表彰者および感謝状被贈呈者の推薦を募集した。

13. ブロック活動報告

(1) 北海道ブロック

① 令和 3 年度第 1 回北海道ブロック代表者会議 ※オンライン開催

【日 時】 2021 年 5 月 12 日 (水) 19 時 00 分～21 時 00 分

【出席者】 10 名/10 施設

② 令和 3 年度第 2 回北海道ブロック代表者会議 ※オンライン開催

【日 時】 2021 年 9 月 9 日 (木) 19 時 00 分～21 時 00 分

【出席者】 9 名/10 施設

③第 31 回北海道ブロック総会

【期 間】 2021 年 9 月 13 日（月）～17 日（金）まで

※メールなどを利用した紙面上での開催

④第 31 回北海道ブロック研修会

【日 時】 2021 年 10 月 2 日（土）14 時 00 分～17 時 00 分

【開催方式】 オンライン開催

【出席者】 54 名/10 施設

【概 要】 ①会員研究発表 一般演題 4 題

②技術情報交流（各施設からの報告）

1) 発熱患者および新型コロナ患者に対する検査対応について 5 施設

2) 医療放射線安全管理についての各施設の対応 5 施設

⑤令和 3 年度第 3 回北海道ブロック代表者会議 ※オンライン開催

【日 時】 2022 年 1 月 25 日（火）19 時 00 分～21 時 00 分

【出席者】 9 名/10 施設

(2) 東北ブロック

①令和 3 年度東北ブロック施設代表者会議

【日 時】 令和 3 年 8 月 27 日(金) 17:00～

【方 法】 ZOOM による Web 会議

【出席者】 6 施設

【内 容】 ①今年度の東北ブロック研修会の開催方法について

②来年度の東北ブロック研修会の開催方法について

③理事担当病院の順番確認

④今年度の研修会の開催日時と内容について

②令和 3 年度（第 10 回）東北ブロック研修会

【日 時】 令和 4 年 2 月 26 日（土）13 時 00 分～15 時 50 分

【方 法】 Web 開催（担当：八戸赤十字病院）

【出席者】 会長・6 施設関係者

【概 要】 ①会長講演

②一般演題発表（4 題）

③共同テーマ発表（新型コロナウイルス感染への対応：各施設からの発表）

④特別講演（眼の水晶体の等価線量の実態と被ばく低減について）

(3) 東部ブロック

- ①令和 3 年度 第 1 回東部ブロック施設代表者会議・・・COVID-19 感染を考慮して中止
- ②令和 3 年度 第 2 回東部ブロック施設代表者会議・・・COVID-19 感染を考慮して中止
- ③第 33 回 東部ブロック業務研修会・・・COVID-19 感染を考慮して中止

*東部ブロックは COVID-19 感染症の影響を強く受けており、思うように活動ができない状況です。(次期研修会開催施設 再度検討が必要)

(4) 中部ブロック

- ①第 11 回中部ブロック業務研修会

【担当病院】諏訪赤十字病院

【開催方法】録画 DVD 配布、視聴形式は各施設に委任

【開催期間】9 月上旬視聴開始、質問受付締切 9 月末日

【概 要】①会長講演『日本赤十字社診療放射線技師会の取り組み』

日本赤十字社診療放射線技師会会長 正者 智昭

②話題提供『日本赤十字社における放射線技師の国際医療救援活動』

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 堀部 良美

③会員発表

④特別講演 I 『偶発所見と見逃しの問題 ～診療放射線技師の参画を求む』

諏訪赤十字病院 放射線診断科部長 山下 公仁彦 先生

⑤特別講演 II 『診療放射線技師から大学診療放射線技師養成の教員への道』

新潟医療福祉大学 診療放射線学科 准教授 前島 偉 先生

- ②第 7 回施設代表者会議

【担当病院】日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

【開催方法】講演 DVD 配布および ZOOM を使用した WEB 会議

【開催日時】11 月初旬視聴開始、11 月 11 日 (木) 14:00~17:00

【概 要】①当番病院 院長挨拶

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院院長 錦見尚道

②討論 診療放射線技師法改正による業務拡大について

③アンケート結果報告 名古屋第一 大野正美

④新規技師長・責任者より各施設報告

⑤講演内容 質疑応答

『うつ病からのサイン～早期発見のために～』

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 心療相談センター長 太田達朗

『今後の医療における電子化～with & after COVID19～』

量子科学技術研究開発機構 情報基盤部長 奥田保男

(5) 近畿ブロック

①令和 3 年度第 1 回近畿ブロック代表者会議 Web (ZOOM)

【日 時】2021 年 5 月 19 日 (水) 18 時 20 分～19 時 00 分

【出席者】9 名/12 施設

②令和 3 年度第 2 回近畿ブロック代表者会議 Web (ZOOM)

【日 時】2021 年 7 月 21 日 (木) 17 時 00 分～18 時 30 分

【出席者】11 名/12 施設

③令和 3 年度第 1 回近畿ブロック施設代表者会議 Web (ZOOM)

【日 時】2021 年 10 月 7 日 (木) 17 時 00 分～18 時 15 分

【出席者】12 名/12 施設

④令和 3 年度第 2 回近畿ブロック施設代表者会議 Web (ZOOM)

【日 時】2022 年 3 月 2 日 (水) 17 時 00 分～17 時 30 分

【出席者】11/12 施設

⑤第 29 回日本赤十字社診療放射線技師会近畿ブロック研修会

【日 時】2021 年 10 月 23 日 (土) 13 時 00 分～17 時 00 分

【開催方式】Web 開催

【出席者】132 名/12 施設

【当番病院】京都第一赤十字病院

【研修概要】①開催挨拶 京都第一赤十字病院 放射線科部 技師長 加藤 良美

②開催施設代表挨拶 京都第一赤十字病院 院長 池田 栄

③特別講演 (基幹災害拠点病院としての役割からコロナ対応に至るまで)

講師 京都第一赤十字病院 院長特任補佐 高階 謙一郎

④ディスカッション タスクシフトに関して etc

⑤研究発表 8 演題

⑥閉会式 次回開催施設挨拶 大津赤十字病院 技師長 武田 宣秋

閉会挨拶 京都第一赤十字病院 技師長 加藤 良美

(6) 中四国ブロック

①令和 3 年度中国・四国ブロック施設代表者会議

【日 時】令和 3 年 11 月 20 日 (土) 10 : 30～11 : 30

【開催方法】Web 会議

【担当施設】山口赤十字病院

②令和 3 年度中国・四国ブロック業務研修会

【日 程】令和 3 年 11 月 20 日（土） 13：00～16：30

【開催方法】Web 開催

【開催施設】山口赤十字病院

【参加者】117 名

【概 要】①開催施設代表挨拶 山口赤十字病院 放射線科部 技師長 土井 博志

②会長講演『日本赤十字社診療放射線技師会の取り組み』

日本赤十字社診療放射線技師会会長 正者 智昭

③特別講演『新型コロナウイルス感染対策の変遷と現在の考え方』

福岡赤十字病院 副院長 兼 感染防止対策室長 石丸 敏

④パネルディスカッション『COVID-19患者などの感染対策について』

1) 『高松赤十字病院カテ室におけるCOVID-19対応』

高松赤十字病院 榎殿 元誉

2) 『COVID-19感染患者の受け入れ時の対応について（仮）』

鳥取赤十字病院 足立 奈々恵

3) 『当院のCOVID-19患者に対する受け入れ及び感染対策の実施方法』

松山赤十字病院 瀧田 拓也

4) 『当院のCOVID-19対応について』

山口赤十字病院 河野 拓也

(7) 九州ブロック

①令和 3 年度九州ブロック代表者 WEB 会議

【日 時】2021 年 5 月 14 日（金）18：00～19：10

【出席者】10 名/10 施設

②第 21 回九州ブロック会研修会

【日 時】2022 年 1 月 28 日（金）17：30～18：30

【開催方式】オンライン開催

【出席者】99 名/10 施設

【担当施設】嘉麻、今津、鹿児島

【概 要】①開会挨拶 鹿児島赤十字病院 吉見 公作

熊本健康管理センター 宮田 貞司

②会長講演『日本赤十字社診療放射線技師会の取り組み』

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 正者 智昭

③情報提供『災害救護研修会 情報提供』 唐津赤十字病院 坂井 征一郎

④次期開催施設挨拶 熊本赤十字病院 西小野 昭人

3. 令和3年度九州ブロック代表者WEB会議

【日時】2022年1月28日（金）18時40分～19時40分

【出席者】10名/10施設

【第二号議案】令和3年度決算報告

1. 令和3年度学術定期総会収支報告

令和3年度の学術定期総会は中止により収支報告なし

2. 令和3年度一般会計決算報告書

令和3年度一般会計決算報告書

2022年3月31日現在 金額(円)

| 収入の部 | | | | |
|--------|-----------|-----------|---------|--------------|
| 科目 | 令和3年度予算額 | 令和3年度決算額 | 増減 | 備考 |
| 会費 | 4,764,000 | 4,911,000 | 147,000 | 3,000×1,637名 |
| 入会金 | 60,000 | 88,000 | 28,000 | 1,000×88名 |
| HP広告収入 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 広告協賛 |
| 雑収入 | 2,000 | 43 | △ 1,957 | |
| 前年度繰越金 | 3,318,297 | 3,318,297 | 0 | |
| | | | | |
| 合計 | 9,144,297 | 9,317,340 | 173,043 | |

| 支出の部 | | | | |
|----------|-----------|-----------|-------------|---------------------|
| 科目 | 令和3年度予算額 | 令和3年度決算額 | 増減 | 備考 |
| 総会費 | 0 | 0 | 0 | |
| 会議費 | 2,000,000 | 324,220 | △ 1,675,780 | web会議用アプリケーション年間契約費 |
| ブロック活動費 | 1,400,000 | 953,406 | △ 446,594 | |
| 渉外費(旅費) | 400,000 | 8,132 | △ 391,868 | |
| 表彰費 | 250,000 | 240,210 | △ 9,790 | 賞状副賞・活動費 |
| 学術部費 | 10,000 | 0 | △ 10,000 | 活動費 |
| 専門部費 | 30,000 | 0 | △ 30,000 | 活動費 |
| 財務部費 | 50,000 | 45,544 | △ 4,456 | 活動費 |
| 広報部費 | 40,000 | 13,960 | △ 26,040 | 活動費 |
| IT推進部費 | 40,000 | 24,658 | △ 15,342 | 活動費 |
| 災害医療支援部費 | 500,000 | 58,595 | △ 441,405 | 活動費 |
| 事務局費 | 300,000 | 38,623 | △ 261,377 | 活動費・慶弔費 |
| 学術総会助成金 | 0 | 0 | 0 | |
| HP管理運営費 | 520,000 | 918,500 | 398,500 | 構築サーバー利用費、会誌更新費 |
| HP特別積立金 | 0 | 2,000,000 | 2,000,000 | |
| 基金積立費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 積立て基金へ繰り出し |
| 予備費 | 3,504,297 | 550,000 | △ 2,954,297 | 来年度の学術総会会場費の前金 |
| 合計 | 9,144,297 | 5,275,848 | △ 3,868,449 | |

(収入9,317,340－支出5,275,848＝残金4,041,492)

残金 4,041,492円は次年度に繰越し

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 正者 智昭

財務部 長瀬 光臣

3. 令和3年度日本赤十字社診療放射線技師会 特別積立基金決算報告書

令和3年度日本赤十字社診療放射線技師会
特別積立基金決算報告書

2022年3月31日現在

| 科目 | 金額 | 備考 |
|----------|-----------|------------|
| 前年度繰越金 | 1,150,842 | |
| 定期預金利息 | 22 | 令和3年度分 |
| 令和3年度積立金 | 100,000 | 一般会計より繰り入れ |
| 合計 | 1,250,864 | |

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 正者 智昭

4. 令和3年度日本赤十字社診療放射線技師会 HP 特別積立基金決算報告書

令和3年度日本赤十字社診療放射線技師会
HP特別積立基金決算報告書

2022年3月31日現在

| 科目 | 金額 | 備考 |
|----------|-----------|------------|
| 前年度繰越金 | 5,000,665 | |
| 定期預金利息 | 63 | 令和3年度分 |
| 令和3年度積立金 | 2,000,000 | 一般会計より繰り入れ |
| 合計 | 7,000,728 | |

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 正者 智昭

【第三号議案】
令和 3 年度監査報告

令和3年度 監査報告書

私たち監事は、令和3年度における本会理事の職務および財務の執行状況について、日本赤十字社診療放射線技師会会則第15条、第26条、及び日本赤十字社診療放射線技師会基金運用規定第7条に基づき監査を行った。その方法および結果について、次のとおり報告する。

1. 監査の方法および内容

各監事は、常任理事等と意思疎通を図り、情報の収集および監査環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し理事からその職務の執行状況について報告を受けた。令和4年3月30日と4月4日に会長、副会長、財務担当理事役員の下、Webも交えて令和3年度の主要な事業報告を受け、重要な決裁書類を閲覧し、業務および財産の状況を調査し監査を行ったので、その結果につき以下の通り報告する。

2. 監査の意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、定款に従い本会の状況を正しく示しているものと認める。
- 二 理事の職務の執行に関する不正行為または定款に違反する重大な事実は認められない。

(2) 計算書類および附属明細書ならびに財産目録の監査結果

金銭出納簿、各種請求書および領収書、預金通帳等を照らし合わせた結果、本会の財産および損益の状況をすべての重要な点において健全な財務管理がなされていることを認める。

- (3) 今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、従来型の集合研修会は開催されなかったが、代わりに Web を活用した事業の展開が行われたことは、本会の今後の発展に大きく寄与すると思われる。さらなる事業展開を期待したい。

令和4年4月4日

日本赤十字社診療放射線技師会 監事 松井久男 

日本赤十字社診療放射線技師会 監事 渡邊寿徳 

【第四号議案】令和 4 年度事業計画案

総括

2019 年の年末に中国の武漢市から報告された新型コロナウイルス感染症の拡大は、変異とそれに伴う感染拡大と減少を繰り返しながら 3 年目を迎える。世界保健機関（WHO）のテドロス事務局長は 2021 年末に新年へ向けた声明として、新型コロナウイルスの感染抑制に各国が協力することを前提に 2022 年でのパンデミック終息に期待感を示した。声明の中ではワクチン接種の世界的目標（全世界の人の 70% が 7 月までにワクチンを受ける）の達成の必要等々が述べられているが、我々については引き続き場面場所に応じた感染防止策の強化・徹底を行い、役割に応じた医療供給体制の維持に努力することが求められるだろう。いまだ先の見えない状況ではあるが、会員の皆様には心身ともに過度な負担がかからないように留意しながら感染症医療にご活躍いただけるよう祈念申し上げたい。

さて、今年度の事業計画についてであるが、日赤グループが推し進める大型医療機器共同の取り組みについては、事業計画目標である「個別病院の購買力強化と共同購入による費用削減」の達成に向けて、技術アドバイザーとしてあるいは必要な情報共有を行うなど引き続き協力を行っていく。

また、人材育成の取り組みとして、会員のキャリア自律と各施設の人材育成計画支援に活用いただけるようなキャリアアップ指標の作成を目標とする。

学術総会について一昨年は大阪、昨年は仙台と、本会としては初めて東京以外の開催を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。今年度は地方開催を一旦白紙に戻し、6 月 3 日（金）4 日（土）に東京国際フォーラムにて開催を予定している。テーマは「災害医療アップデート」とし、東日本大震災から 11 年が経過した現在までの災害医療の取り組みを振り返り、今後のありかたについて会員の皆様と共に考えていきたいと思う。

その他事業計画としては、例年同様に各ブロックの研修会や会議、災害支援部および専門部の活動、ホームページを利用した活動が主たるものとなっている。昨年度は研修会や会議などにおいて Web が多く利用されたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況に関わらず、今年度もその利用はさらに加速すると予想する。Web 開催のメリット・デメリットを理解しながらその利用で本会の活動がさらに活発化することを期待したい。

ホームページは利用しているオープンソースのサポート終了によりセキュリティリスクが高くなっていることもあり更新を行う。ホームページでは例年通り会の運営状況をはじめとした様々な情報の発信と情報共有を行っていくが、グループウェアとしての機能を活用することで会員相互の交流をさらに深め本会の活性化に利用できればと考える。

最後に、本会の活動は会員の皆様だけではなく日本赤十字社の各部門や企業の皆様のご厚情に支えられていることをご理解いただき、今後ともより一層のご協力をお願い申し上げます。令和 4 年度事業計画案の総括とする。

各部事業計画案

1. 総務部活動計画案

(1) 令和4年日本赤十字社診療放射線技師学術総会および第69回定期総会

令和4年学術総会を令和4年6月3日（金）、6月4日（土）の2日間、併せて第69回定期総会を6月3日（金）東京国際フォーラムにて開催する。今回はコロナ禍により情報交換会については開催しない。

来年の学術総会の開催会場については、COVID-19感染症の状況を見ながら地方開催が可能であるか検討していく。

(2) 令和4年学術定期総会予算案

令和3年度理事会において、令和4年学術定期総会予算案が審議され全会一致で可決された。それについては第五号議案の項 特別会計にて報告する。

(3) 令和4年度の日本赤十字社診療放射線技師会 常任理事会および理事会

常任理事会を3回および理事会を1回開催し、各部の活動報告および検討事項については審議を行う。その内容については、議事録を作成し速やかにホームページに掲載する。なお、必要があれば会長の指示のもと臨時常任理事会及び臨時理事会を開催する。

- 第1回常任理事会 令和4年7月初旬Web会議
- 第2回常任理事会 令和4年10月21日（金）未定
- 第3回常任理事会 令和5年2月10日（日）日赤本社502会議室
- 理事会 令和5年4月初旬 日赤本社
- 臨時常任理事会 必要時にWebまたはメール会議を開催

(4) 日赤本社医療安全対策部会

開催されるか未定である。

2. 福利厚生

会員に祝電の申請をしていただけるように広報していく。

3. 学術部活動計画案

(1) 令和4年日本赤十字社診療放射線技師学術総会の開催

令和4年日本赤十字社診療放射線技師学術総会を6月に東京国際フォーラムで開催予定である。

4. 専門部活動計画案

(1) CT専門部会

活動計画・・・未定

(2) MRI専門部会

活動計画・・・未定

(3) 医療情報専門部会

①医療被ばく線量管理システムの導入に関するアンケートをもとに、掘り下げた調査を行い公開する。

②オンラインによる情報交換を試みたい。

(4) 核医学専門部会

活動計画・・・未定

(5) 乳房画像専門部会

活動計画・・・未定

(6) 放射線治療専門部会

①会員 SNS を利用し、専門部からの情報発信と会員間の情報共有を実施する。

②オンラインによる専門部世話人会議の開催、オンラインによる専門部活動の検討。

③学術総会やブロック大会に積極的に参画し、専門部より広報活動を行う。

④放射線関連学会と協力し会員に有益な情報を発信する。

⑤治療専門部会主催の研修会の開催。

⑥放射線治療における品質管理体制強化のサポートおよび品質管理業務に従事する医学物理士などの職種への待遇改善を働きかける。

5. 災害医療支援部活動計画案

【災害医療支援部会】

(1) 第 1 回災害医療支援部会 本年度活動に関して (6 月開催予定)

(2) 第 2 回災害医療支援部会 本年度活動報告、来年度活動計画に関して (2 月開催予定)

上記以外は必要に応じ随時開催する。

【国内災害】

(1) 昨年に引き続き『災害医療受援研修会』の開催。開催日未定、WEB 研修とする。

(2) 各病院の災害医療担当者の配置

(3) 放射線部門における BCP のひな形の作成

(4) 発災時 被災地でのポータブル撮影運用に関して

・ニーズ抽出⇒災害医療担当理事⇒会長、副会長協議

以上の流れでポータブル装置貸与を試みる。

(5) 発災時 放射線技師の人的支援に関して

・ニーズの抽出⇒災害医療担当理事⇒会長、副会長⇒本社への情報伝達

以上の流れで人的支援を試みる。

【国際救援】

- (1) 国際支援要員登録に向けた PR をホームページに掲載。
- (2) ブロック業務研修会での講演 (WEB)
ブロック理事より災害医療に関する講演要請があれば協力したい。

【原子力災害】

- (1) 本社原子力災害医療アドバイザー会議参加協力
年 2 回予定
- (2) 原子力災害対応にかかる研修作業部会参加協力
開催回数 開催日時等 未定
- (3) 本社原子力災害対応基礎研修会講師等参加協力
年 2 回 (東日本ブロック、西日本ブロック) 予定

6. 広報部活動計画案

- (1) 電子会誌14号の作成

【会誌内容】

- ①特集テーマ 未定
- ②施設紹介 未定 (2~3施設)
- ③技師長最終年総括
- ④本会の動き

7. IT 推進部活動計画案

- (1) ホームページの変更および更新作業
 - ・会員 SNS のメーリングリスト整備
 - ・会員 SNS の共有ホルダー整理
 - ・画面構成の維持管理作業
- (2) 会員管理システムの更新作業
 - ・会員登録・退会申請作業
- (3) メーリングリストの維持管理
- (4) 次期ホームページの見直しと準備

8. チーム医療部活動計画案

- (1) 令和 3 年度に行ったチーム医療活動調査において、ご報告いただいた事例を HP 等を用いて紹介する。
- (2) チーム医療に関する会員発表の場を企画する。
- (3) 令和 4 年度チーム医療の推進に関する検討会に出席する。

9. 教育部活動計画案

- (1) キャリアアップ指標を完成させ、発信する。
- (2) 指標を軸に、具体的な手段を体系化し教育プログラムとして汎用性のあるものを作成する。

10. 組織調査部活動計画案

- (1) 新入会（予定）会員、退会会員、会員数等を調査し会員台帳の情報更新を行う。
- (2) 年間を通じて会員動向の把握に努める。
- (3) 技師長・課長メーリングリスト（ホットクロス ML）の登録情報について調査および管理を行う。
- (4) 令和 4 年 日本赤十字社診療放射線技師学術総会にて、総会に関するアンケート調査を実施する。
- (5) 令和 4 年度ベンチマーク調査を実施する。

11. 表彰部活動計画案

- (1) 日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程に則り、会員からの推薦および学術部との連携により本会に功績のあった会員および施設等の表彰を行う。
会員皆様の情報が重要ですので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

12. ブロック活動計画案

(1) 北海道ブロック

- ①令和 4 年度北海道ブロック第 1 回代表者会議
【日 時】：令和 4 年 4 月中※オンライン開催
- ②第 32 回北海道ブロック総会
【日 時】：令和 4 年 5 月中※オンライン開催
- ③令和 4 年度北海道ブロック第 2 回代表者会議
【日 時】：令和 4 年 9 月中※オンライン開催
- ④第 32 回北海道ブロック業務研修会
【日 時】：令和 4 年 9 月～10 月※オンライン開催
- ⑤令和 4 年度北海道ブロック第 3 回代表者会議
【日 時】：令和 5 年 1 月中※オンライン開催

(2) 東北ブロック

- ①令和 4 年度（第 11 回）東北ブロック研修会の開催
【場 所】宮城県内にて開催予定
- ②東北ブロック施設代表者会議

【日 時】未定、Web 会議を予定

(3) 東部ブロック

①令和 4 年度 第 1 回東部ブロック施設代表者会議（4 月開催で予定）

- 【内 容】1) 今後の運営方法を検討について
2) 研修会の開催方法
3) 東部ブロック施設代表者会議の開催方法

②令和 4 年度 第 2 回東部ブロック施設代表者会議

③第 33 回東部ブロック業務研修会（会場・開催方法：未定）

(4) 中部ブロック

①第 12 回中部ブロック業務研修会

- 【担当病院】福井赤十字病院
【日 時】令和 4 年 9 月 3 日、4 日
【開催方法】未定

②第 8 回施設代表者会議

- 【担当病院】伊勢赤十字病院
【日 時】未定
【開催方法】Teams を使用した WEB 会議

(5) 近畿ブロック

①令和 4 年度近畿ブロック施設代表者会議 Web（ZOOM）

- 【日 時】令和 4 年 6 月前後
②令和 4 年度近畿ブロック施設代表者会議 Web（ZOOM）
【日 時】令和 4 年 9 月～10 月前後
③令和 4 年度近畿ブロック施設代表者会議 Web（ZOOM）
【日 時】令和 5 年 2 月～3 月前後
④第 30 回日本赤十字社診療放射線技師会近畿ブロック研修会 Web
【日 時】令和 4 年 10 月 29 日（土）
【担当施設】大津赤十字病院・大津赤十字志賀病院

(6) 中四国ブロック

①令和 4 年度中国・四国ブロック施設代表者会議

- 【日 時】令和 4 年 11 月頃
【開催方法】愛媛県または、Web 会議

【担当施設】松山赤十字病院

②令和 4 年度中国・四国ブロック業務研修会

【日 程】令和 4 年 11 月頃

【開催方法】愛媛県または、Web 開催

【担当施設】松山赤十字病院

(7) 九州ブロック

①第 22 回九州ブロック会研修会

【日 時】未定

【開催方式】未定

【担当施設】熊本赤十字病院

②令和 4 年度九州ブロック代表者会議

【日 時】ブロック研修会と同日開催予定

【第五号議案】

1. 令和 4 年学術定期総会予算案

| 特別会計 | | |
|-----------------------------------|-----------|---------------------|
| 令和 4 年 日本赤十字社診療放射線技師会学術総会 収支予算(案) | | |
| | | 期間 : 自 令和4年6月3日 (金) |
| | | 至 令和4年6月4日 (土) |
| | | 会場 : 東京国際フォーラム |
| 【収入の部】 | | 金額 (円) |
| 項目 | 予算額 | 備考 |
| 学術総会助成金 | 1,351,800 | |
| 計 | 1,351,800 | |
| 【支出の部】 | | 金額 (円) |
| 項目 | 予算額 | 備考 |
| 会場費 | 770,000 | 会場、前日リハーサル会場 |
| 付帯サービス、備品借用料等 | 323,400 | |
| 回線使用料 | 100,000 | |
| オンライン配信費 | 25,000 | |
| 講師謝金 | 50,000 | 源泉所得税含む |
| 講師招聘費 | 400 | 交通費 |
| 講師品代 | 18,000 | 3,000円×6名 |
| 学術発表賞費 | 25,000 | 副賞 |
| 諸経費 | 25,000 | 備品 |
| 雑費 | 15,000 | 郵送費等 |
| 計 | 1,351,800 | |

2. 令和4年度予算（案）

令和4年度一般会計予算（案）

金額（円）

| 収 入 の 部 | | | | |
|---------|-----------|-----------|-------------|---------------------------|
| 科目 | 令和3年度予算額 | 令和4年度予算案 | 増減 | 備考 |
| 会費 | 4,764,000 | 3,284,000 | △ 1,480,000 | 2,000×1,642名 *今年度のみ2,000円 |
| 入会金 | 60,000 | 70,000 | 10,000 | 1,000×70名 |
| HP広告収入 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 広告協賛 |
| 雑収入 | 2,000 | 2,000 | 0 | |
| 前年度繰越金 | 3,318,297 | 4,041,492 | 723,195 | |
| | | | | |
| | | | | |
| 合計 | 9,144,297 | 8,397,492 | △ 746,805 | |

| 支 出 の 部 | | | | |
|----------|-----------|-----------|-------------|----------------|
| 科目 | 令和3年度予算額 | 令和4年度予算案 | 増減 | 備考 |
| 総会費 | 0 | 100,000 | 100,000 | 総会運営費 |
| 会議費 | 2,000,000 | 1,700,000 | △ 300,000 | 常任理事会, 施設代表者会議 |
| ブロック活動費 | 1,400,000 | 1,400,000 | 0 | 200,000×7ブロック |
| 渉外費(旅費) | 400,000 | 400,000 | 0 | 本社、ブロック関連、その他 |
| 表彰費 | 250,000 | 280,000 | 30,000 | 賞状副賞・活動費 |
| 学術部費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 活動費 |
| 専門部費 | 30,000 | 30,000 | 0 | 活動費 |
| 財務部費 | 50,000 | 50,000 | 0 | 活動費 |
| 広報部費 | 40,000 | 40,000 | 0 | 活動費 |
| IT 推進部費 | 40,000 | 50,000 | 10,000 | 活動費 |
| 災害医療支援部費 | 500,000 | 500,000 | 0 | 活動費 |
| 事務局費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 活動費・慶弔費 |
| 学術総会助成金 | 0 | 1,351,800 | 1,351,800 | 会場費、会場備品等 |
| HP管理運営費 | 520,000 | 600,000 | 80,000 | サーバー利用費、年間保守 |
| 基金積立費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 予備費 | 3,504,297 | 1,485,692 | △ 2,018,605 | |
| 合計 | 9,144,297 | 8,397,492 | △ 746,805 | |

以上、日本赤十字社診療放射線技師会 令和4年度予算（案）を報告します

日本赤十字社診療放射線技師会 会 長 正者 智昭

財 務 部 長 瀬 光臣

【第六号議案】 その他

1. 日本赤十字社診療放射線技師会 旅費規程について

・令和 4 年 4 月 8 日（金）に開催された理事会（Web 開催）において、日本赤十字社診療放射線技師会旅費規程の一部改定について審議が行われ、提出された改定案が議決されたので以下に報告します。

| 現行 | 改定後 |
|---|--|
| <p>(旅 費)</p> <p>第 4 条 前条により出張する場合は次の旅費を支給する。</p> <p>(1)交通費 実費</p> <p>(2)宿泊料 実費、ただし一泊 12,000 円を上限とする。</p> <p>(3)日当 3,000 円</p> <p>2 移動を伴わないオンラインシステムによる会議については日当として 1,000 円を支給する。</p> <p>3 特別な事由による出張の場合は第 1 項の規定にかかわらず会長の決裁を経て必要な旅費を支給することができる。</p> <p>4 当会以外から旅費が支給される場合は前各項について適用されず旅費は支給しない。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は昭和 28 年 11 月 15 日より施行する。</p> <p>昭和 42 年 10 月 26 日改正</p> <p>昭和 44 年 11 月 7 日改正</p> <p>昭和 47 年 11 月 28 日改正</p> <p>昭和 52 年 11 月 17 日改正</p> <p>昭和 62 年 8 月 27 日改正</p> <p>平成 2 年 4 月 5 日改正</p> <p>平成 10 年 5 月 27 日改正</p> <p>平成 26 年 4 月 4 日改正</p> <p>平成 28 年 4 月 8 日改正</p> <p>令和 3 年 4 月 16 日改正</p> | <p>(旅 費)</p> <p>第 4 条 前条により出張する場合は次の旅費を支給する。</p> <p>(1)交通費 実費</p> <p>(2)宿泊料 実費、ただし一泊 12,000 円を上限とする。</p> <p>(3)日当 3,000 円</p> <p>2 移動を伴わないオンラインシステムによる会議については 1,000 円・研修会主催等については 3,000 円を日当として支給する。</p> <p>3.特別な事由による出張の場合は、前項の規定にかかわらず会長の決裁を経て、必要な旅費を支給することができる。</p> <p>4 当会以外から旅費が支給される場合は前各項について適用されず旅費は支給しない。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は昭和 28 年 11 月 15 日より施行する。</p> <p>昭和 42 年 10 月 26 日改正</p> <p>昭和 44 年 11 月 7 日改正</p> <p>昭和 47 年 11 月 28 日改正</p> <p>昭和 52 年 11 月 17 日改正</p> <p>昭和 62 年 8 月 27 日改正</p> <p>平成 2 年 4 月 5 日改正</p> <p>平成 10 年 5 月 27 日改正</p> <p>平成 26 年 4 月 4 日改正</p> <p>平成 28 年 4 月 8 日改正</p> <p>令和 3 年 4 月 16 日改正</p> <p>令和 4 年 4 月 8 日改正</p> |

2. 日本赤十字社診療放射線技師会 専門部規程について

・令和 4 年 4 月 8 日（金）に開催された理事会（Web 開催）において、日本赤十字社診療放射線技師会専門部規程の一部改定について審議が行われ、提出された改定案が議決されたので以下に報告します。

| 現行 | 改定後 |
|--|--|
| <p>（組 織）</p> <p>第 3 条 本会の全会員を各々の専門部の会員とする。</p> <p>2. 各部会の会員の中から、世話人数名を選出する。</p> <p>3. 世話人の中から、代表世話人を選出する。</p> <p>4. 代表世話人は、各部会を代表し活動を統括する。</p> <p>（世話人の任期）</p> <p>第 4 条 世話人の任期は、選出された年の 4 月 1 日から翌々年の 3 月 31 日までの 2 ヶ年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は昭和 28 年 11 月 15 日より施行する。</p> <p>昭和 42 年 10 月 26 日改正</p> <p>昭和 44 年 11 月 7 日改正</p> <p>昭和 47 年 11 月 28 日改正</p> <p>昭和 52 年 11 月 17 日改正</p> <p>昭和 62 年 8 月 27 日改正</p> <p>平成 2 年 4 月 5 日改正</p> <p>平成 10 年 5 月 27 日改正</p> <p>平成 26 年 4 月 4 日改正</p> <p>平成 28 年 4 月 8 日改正</p> <p>令和 3 年 4 月 16 日改正</p> | <p>（組 織）</p> <p>第 3 条 本会の全会員を各々の専門部の会員とする。</p> <p>2. 各部会の会員の中から、世話人数名を選出する。</p> <p>3. 世話人の中から、代表世話人を選出し、理事会に報告する。</p> <p>4. 代表世話人は、各部会を代表し活動を統括する。</p> <p>（世話人の任期）</p> <p>第 4 条 世話人の任期は、選出された年の 4 月 1 日から翌々年の 3 月 31 日までの 2 ヶ年とする。ただし、再任を妨げない。諸般の理由により任期途中で退任する場合は、理事会に報告ののち退任する。又代表世話人が途中退任する場合は、部内にて代表代行者を指名し理事会に報告する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は昭和 28 年 11 月 15 日より施行する。</p> <p>昭和 42 年 10 月 26 日改正</p> <p>昭和 44 年 11 月 7 日改正</p> <p>昭和 47 年 11 月 28 日改正</p> <p>昭和 52 年 11 月 17 日改正</p> <p>昭和 62 年 8 月 27 日改正</p> <p>平成 2 年 4 月 5 日改正</p> <p>平成 10 年 5 月 27 日改正</p> <p>平成 26 年 4 月 4 日改正</p> <p>平成 28 年 4 月 8 日改正</p> <p>令和 3 年 4 月 16 日改正</p> <p>令和 4 年 4 月 8 日改正</p> |

以上

第 69 回日本赤十字社診療放射線技師会 定期総会議事録

1. 日 時：令和 4 年 6 月 3 日（金）14：40～15：50
2. 場 所：〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1 東京国際フォーラム ホール D-5
(Zoom による Web 開催)
3. 出席者：日本赤十字社診療放射線技師会 会員 Web 参加
4. 議事録作成人 総務部常任理事 山本 晃司

5. 総会次第

- (1) 開会の辞
- (2) 会長挨拶
- (3) 表 彰
- (4) 総会議事運営報告
- (5) 議長選出
- (6) 議事録署名人選出
- (7) 議事

| | |
|-------|----------------|
| 第一号議案 | 令和 3 年度事業経過報告 |
| 第二号議案 | 令和 3 年年度決算報告 |
| 第三号議案 | 令和 3 年度監査報告 |
| 第四号議案 | 令和 4 年度事業計画（案） |
| 第五号議案 | 令和 4 年度予算計画（案） |
| 第六号議案 | その他 |

1. 日本赤十字社診療放射線技師会旅費規程について
2. 日本赤十字社診療放射線技師会専門部規程について

- (8) 議長解任
- (9) 閉会の辞

- ・ 総会次第に基づいて開会の辞のあと、正者会長の挨拶のあと議事審議へと続いた。表彰式は委員長の高田理事により執り行われ、功労賞 28 名が表彰された。奨励賞の個人部門および施設部門については該当なし。

※功労賞被表彰者 28 名

(敬称略、順不同)

| | | |
|-----------------|------------------|--------------|
| (旭 川) 野村 和弘 | (足 利) 簾谷 和男 | (深 谷) 飯島 秀信 |
| (日赤医療センター) 佐藤 登 | (日赤医療センター) 須長 敏也 | (長 岡) 田村 厚司 |
| (長 岡) 鈴木 一夫 | (富 山) 四十九 一嘉 | (福 井) 秋田 直昭 |
| (飯 山) 佐藤 文彦 | (高 山) 岩佐 成彦 | (浜 松) 佐々木 昌俊 |
| (名 一) 伊藤 哲朗 | (名 二) 日置 竹志 | (名 二) 石川 芳信 |

| | | |
|------------|------------|----------------|
| (伊勢) 松月 俊晴 | (伊勢) 岡田 和正 | (長浜) 松井 久男 |
| (大阪) 福田 浩士 | (姫路) 井手 充浩 | (姫路) 塩崎 勝久 |
| (松江) 森脇 武志 | (益田) 原田 真範 | (松山) 小笠原 俊祐 |
| (松山) 樋口 恵吾 | (福岡) 八波 誠一 | (長崎原爆諫早) 宮本 憲一 |
| (熊本) 菊川 証一 | | |

- ・ 総会議事運営報告（資格審査報告）
事務局の大竹理事より、電磁的方法によって議決権を行使した会員 251 名、委任状提出者 1,120 名、合計 1,371 名の総会構成者を確認し会則第 20 条に基づき本総会は成立と報告された。
- ・ 総会議長の選出
議長についてコロナ禍での Web 総会との事があり、執行部から小川赤十字病院 田中 達也氏、相原赤十字病院 大澤 耕一郎氏の 2 名を選任した。
- ・ 議事録署名人の選出
議事録署名人についても同様に、秦野赤十字病院 黒崎 大輔氏、さいたま赤十字病院 山田 智子氏の 2 名を選任した。
- ・ 議事
議長田中 氏の進行により議事に入った。（第一号議案から第三号議案）
 1. 第一号議案から第三号議案まで一括して執行部より報告
報告後、質疑応答に入った。
質疑なし、議長の進行により採決に入った。
※第一号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 251) 第一号議案は全会一致で可決された。
委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,371)
 - ※第二号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 251) 第二号議案は全会一致で可決された。
委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,371)
 - ※第三号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 251) 第三号議案は全会一致で可決された。
委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1,371)
 議長を大澤氏に交代し議事を進めた。（第四号議案から第六号議案）
 2. 第四号議案および第五号議案について執行部より報告
報告後、質疑応答に入った。
質疑なし、議長の進行により採決に入った。
※第四号議案の採決結果(否決 0、保留 1、賛成 250) 第四号議案は賛成多数で可決された。
委任状を換算(否決 0、保留 1、賛成 1,370)

※第五号議案の採決結果(否決 0、保留 1、賛成 250) 第五号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 1、賛成 1,370)

3. 第六号議案について浅妻副会長より報告

旅費規程改正および専門部規程改正について、一部誤植の訂正を行った上でその報告がなされた。改正案については令和 3 年度理事会にて議決されており、それぞれの規程に基づき理事会開催日の令和 4 年 4 月 8 日をもって改正となっている。

以上にて議事を全て終了し議長は解任され、閉会の辞のあと総会は終了となった。

以上

議事の経過概要並びに結果を明確にするため本議事録を作成し、議事録署名人及び議長は次のとおり署名押印する。

令和 4 年 6 月 17 日

議事録署名人

黒崎 大輔



山田 智子



定期総会議長

田中 達也



大澤 耕一郎

